

年報 33（令和 2 年度版）

千葉県立中央博物館

NATURAL HISTORY MUSEUM AND INSTITUTE, CHIBA

目次

令和2年度1年間のあゆみ	1	3 企画展	58
令和2年度のトピック	2	4 季節展	58
千葉県立中央博物館概要	3	5 生態園トピックス展	59
新型コロナウイルス感染拡大防止対策	5	6 トピックス展	60
		7 ミニトピックス展	60
		8 その他の展示	62
		9 出前展示	62
I 資料収集・整理保存		第2 大利根分館	
第1 本館		1 企画展	63
1 資料の登録	8	2 テーマ展示	63
2 資料の収集	9	3 出前展示	64
3 資料の寄託・仮保管・借用	9	第3 大多喜城分館	
4 資料の利用	12	1 常設展示	64
5 保存環境の整備等	16	2 企画展	65
6 図書の利用	17	3 テーマ展示	66
第2 大利根分館		第4 分館海の博物館	
1 資料の登録	17	1 常設展示	66
2 資料の収集	17	2 マリンサイエンスギャラリー	66
3 資料の寄託・借用	17	3 収蔵資料展	67
4 資料の利用	18		
第3 大多喜城分館		IV 教育普及	
1 資料の登録	19	第1 本館	
2 資料の収集	19	1 展示観覧支援	68
3 資料の寄託・借用	19	2 講座・観察会等の開催	69
4 資料の利用	21	3 アウトリーチ支援	73
第4 分館海の博物館		4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・ 教員研修等	74
1 資料の登録	23	5 市民参画	74
2 資料の収集	23	6 外部機関との協定	74
3 資料の借用	23	第2 大利根分館	
4 資料の利用	24	1 展示観覧支援	75
5 保存環境の整備等	25	2 講座・観察会等の開催	75
		3 アウトリーチ支援	75
		第3 大多喜城分館	
		1 展示観覧支援	76
		2 講座・観察会等の開催	76
		3 アウトリーチ支援	76
		4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・ 教員研修等	77
		5 市民参画	77
		第4 分館海の博物館	
		1 展示観覧支援	77
		2 講座・観察会等の開催	77
		3 アウトリーチ支援	79
		4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・ 教員研修等	79
II 調査研究		V 情報発信	
第1 本館		1 出版物・印刷物の発行	80
1 研究課題	26	2 インターネットによる情報発信	81
2 外部資金等による研究	37	3 マスコミ等を通じた情報発信	83
3 研究成果の公表・周知	39	4 郵メンバ	90
4 研究員の執筆・研究発表	39		
5 研究交流	47		
第2 大利根分館		VI 施設維持保守	
1 研究課題	50	1 施設維持保守工事	91
2 研究員の執筆・研究発表	50		
3 研究交流	50		
第3 大多喜城分館			
1 研究課題	51		
2 研究員の執筆・研究発表	51		
第4 分館海の博物館			
1 研究課題	51		
2 外部資金等による研究	53		
3 研究成果の公表・周知	53		
4 研究員の執筆・研究発表	53		
5 研究交流	54		
III 展示			
第1 本館			
1 常設展示	56		
2 野外展示 (生態園)	57		

Ⅶ 千葉県立博物館ネットワーク

- 1 千葉県立博物館情報システム —————92
- 2 千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」 —————92

Ⅷ 入館者状況

- 1 月別入館者数 —————93
- 2 団体入館状況 —————95
- 3 団体の種類・地域内訳 —————96

Ⅸ 組織・運営

- 1 千葉県博物館協議会 —————98
- 2 職員 —————98
- 3 分掌 —————99
- 4 運営推進チーム・委員会 —————99
- 5 利用方法 —————100

令和2年度1年間のあゆみ

(令和元年度から継続)

トピックス展「チバニアン正式決定！」(～12月27日)【本館】
生態園トピックス展「生態園の外来哺乳類」(～7月5日)【本館(生態園)】
令和元年度春の展示「うめ・もも・さくら」(～6月28日)【本館】
マリンサイエンスギャラリー「超深海 Hadal World—水深6,000m以深の世界—」(～5月10日)
臨時休館により、令和2年度開催期間は中止 【分館海の博物館】

令和2(2020)年

4月1日(木) 3月3日より新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館、講座・観察会等の中止【全館】
(～5月24日)【本館】(～5月31日)【大利根分館・大多喜城分館・分館海の博物館】
5月26日(火) ミニトピックス展「『千葉の地層10選』の紹介」(～9月13日)【本館】
5月30日(土) 企画展「ちばらき ー千葉県と茨城県の境ー」(～6月28日)
臨時休館のため次年度へ延期【大利根分館】
6月2日(火) トピックス展「振り子が刻んだ時の記憶」(～7月12日)【大利根分館】
6月15日(月) 施設無料開放(千葉県民の日)
6月30日(火) 出前展示「出張写真展 古写真にみる佐原の大祭」(～7月31日、9月16日～10月15日)
【大利根分館/会場 道の駅・川の駅 水の郷さわら佐原ホール】
7月7日(火) ミニトピックス展「疫病退散ーコロナ禍の収束を祈ってー」(～10月25日)【本館】
7月9日(木) 収蔵資料展「大多喜城の弓」(～10月18日)【大多喜城分館】
7月14日(火) 生態園トピックス展「タネの大冒険」(～1月31日)【本館(生態園)】
7月18日(土) ミニトピックス展「房総の海の遊び 絵はがきを中心に」(～8月31日)【本館】
7月18日(土) 夏休み展示「カミツキガメ」(～8月30日)【大利根分館】
7月18日(土) 収蔵資料展「大収蔵資料展 海博・お宝大集合！」(～9月27日)【分館海の博物館】
8月28日(金) 第1回千葉県博物館協議会【本館】
9月15日(土) 収蔵資料展「古い道具とむかしのくらし」(～3月5日)【大利根分館】
コーナー展示「昭和の名車大集合特設写真展」(～9月30日、11月3日)【大利根分館】
10月10日(土) 企画展「ちばの縄文ー貝塚からさぐる縄文人のくらしー」(～12月13日)【本館】
10月23日(金) 企画展「福を呼ぶ小袖と房総の万祝」(～12月6日)【大多喜城分館】
11月3日(火・祝) 施設無料開放(文化の日)
11月10日(火) ミニトピックス展「習志野隕石！」(～1月8日)【本館】
12月10日(木) 特別公開「重要文化財 大薙刀」(～2月7日)【大多喜城分館】
12月29日(土) ミニトピックス展「十二支にちなんでー丑年ー」(～1月8日)【本館】

令和3(2021)年

1月8日(金) 出前展示「出張写真展 水郷の原風景」
(～3月23日)【大利根分館/会場 道の駅・川の駅水の郷さわら】
1月9日(土) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館、講座・観察会等の中止(～3月21日)【全館】
1月9日(土) 出土遺物公開事業「北方交流録 北と繋がる五つの物語」(～2月14日)
臨時休館のため公開中止【本館】
2月18日(木) 生態園オリエンテーションハウス常設展示全面リニューアル完了【本館(生態園)】
2月25日(木) 第2回千葉県博物館協議会【本館】
3月23日(火) 収蔵資料展「ノスタルジック・ポストカード」(～5月30日)【本館】
3月23日(火) 春の展示「九十九里浜の自然誌」(～5月30日)【本館】
3月23日(火) ミニトピックス展「新鉱物『房総石』の発見」(～5月30日)【本館】
3月23日(火) ミニトピックス展「研究紹介「国内初記録の外来昆虫オオクロマダラナガカメムシ」」
(～6月27日)【本館】
3月23日(火) マリンサイエンスギャラリー「ウミカラー海の生きものの殻の話」
(～6月27日)【分館海の博物館】
3月23日(火) 第3回千葉県博物館協議会【本館】
3月25日(木) 千葉県立中央博物館研究報告特別号11 房総半島の海洋生物誌II
ー分館海の博物館の研究成果に基づいてー 発行 【分館海の博物館】
3月27日(土) 生態園トピックス展「身近なコケ」(～5月23日)【本館(生態園)】
3月29日(月) 生態園園路常設展示大幅リニューアル完了【本館(生態園)】

令和2年度のトピック

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度から引き続き全館が臨時休館の状態から新年度が始まった。本館は5月24日まで、大利根分館・大多喜城分館・分館海の博物館は5月31日まで臨時休館した。その後、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で再開したが、再び、新型コロナウイルスの感染拡大が起り、1月9日から3月21日まで再度臨時休館となり、講座・観察会も中止した。

本館では、企画展「ちばの縄文ー貝塚からさぐる縄文人のくらしー」（10月10日～12月13日）を開催した。100年ぶりの里帰りとなる「銚子市余山貝塚出土土偶」などの重要文化財3件をはじめ、土器や石器などを展示し、縄文人のくらしの様子を紹介した。季節展では、収蔵資料展として「ノスタルジック・ポストカード」（3月23日～5月30日）を開催し当館所蔵の故菱田忠義氏コレクションの絵はがきを中心に展示し、絵はがきの歴史やその役割の移り変わりについて紹介した。また、春の展示「九十九里浜の自然誌」（3月23日～5月30日）では、砂浜の動植物や浜の人とのかかわり、現在の九十九里浜に迫っている危機的な状況について、標本や写真を用いて紹介した。さらに、令和2年県政の10大ニュースでは、本館の職員が大きく関わった、令和2年1月の「『チバニアン』命名決定！地球史に新時代」が1位に、7月～11月の「『火球』として目撃された隕石を習志野市内で発見！～国際隕石学会が『習志野隕石』として登録～」が5位に選定された。本館では、トピックス展「チバニアン正式決定！」（令和2年1月18日～12月27日）やミニトピックス展「習志野隕石！」（令和2年11月10日～令和3年1月8日）を開催し、いち早く、県民に紹介した。

生態園では生態園トピックス展「生態園の外来哺乳類」（令和2年1月15日～7月5日）、「タネの大冒険」（令和2年7月14日～令和3年1月31日）、「身近なコケ」（令和3年3月27日～5月23日）を開催した。また、オリエンテーションハウス及び園路の常設展示を全面リニューアルした。房総の山のフィールド・ミュージアムでは、旧君津市立三島小学校で「三島小教室博物館」を延べ12日間開館したほか、10月17日～25日には君津市清和公民館特別展示会で出張展示を開催した。また、観察会「小糸川流域の地形を訪ねる」を開催した。

大利根分館では、6月2日の再開館後は、トピックス展「振り子が刻んだ時の記憶」（6月2日～7月12日）、夏休み展示「カミツキガメ」（7月18日～8月30日）などを館内で開催するとともに、道の駅・川の駅水の郷さわらでの出前展示として、「古写真にみる佐原の大祭」（6月30日～7月31日、9月16日～10月15日）、「水郷の原風景」（1月8日～3月23日）を行った。また、小学3年社会科の授業「昔の道具とくらし」にあわせた、館蔵資料による展示を館内及び県内の小学校で実施した。例年好評を博している「昭和の名車大集合」は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止し、「昭和の名車大集合特設写真展」として、館内でコーナー展示をした（9月15日～9月30日、11月3日）。企画展は次年度へ延期した。なお、大利根分館は10月～3月は予約のみ受付の見学期間となっている。

大多喜城分館では、収蔵資料展「大多喜城の弓」（7月9日～10月18日）、企画展「福を呼ぶ小袖と房総の万祝」（10月23日～12月6日）、特別公開「重要文化財 大薙刀」（12月10日～2月7日）、講演会「江戸文化の華ー小袖の歴史と美ー」（11月7日）を開催した。

分館海の博物館では、開館20周年の区切りとして、7月18日～9月27日に開催された収蔵資料展「大収蔵資料展 海博・お宝大集合！」で、これまでに収集・保管した大型標本やタイプ標本、希種など、話題性の高い資料を一般公開した。開館20周年記念として、3月25日には『房総半島の海洋生物誌 II-分館海の博物館の研究成果に基づいて-』のタイトルで学術論文集を出版し、分館海の博物館で収集した自然誌資料を材料とした植物学2編、動物学4編、環境科学2編の論文を公表した。年度末のマリンサイエンスギャラリーは「ウミカラーー海の生きものの殻の話ー」とし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館した関係で、当初の開催予定の2月20日から遅れて3月23日から開催した。

千葉県立中央博物館概要

1 使命

千葉県立中央博物館は、地域の市民と共に、自然と歴史に関わる資料・情報を収集・蓄積するとともに、基礎的・国際的視野に立つ科学研究により、その新たな価値を発見し、教育、展示、その他全ての博物館活動を通して県民や市民へ発信し、県民共有の知的資産として未来へ伝える。

また、千葉県の中核的综合博物館として、さまざまな市民の幅広い知的ニーズに応えつつ、双方向の交流を通して、その生涯学習拠点となる。

2 場所

本館	千葉市中央区青葉町 955-2 (県立青葉の森公園内)
大利根分館	香取市佐原ハ 4500
大多喜城分館	夷隅郡大多喜町大多喜 481
分館海の博物館	勝浦市吉尾 123

3 機関設置

本館	平成元年 1 月 11 日 (同年 2 月 7 日 一般公開)
大利根分館	平成 18 年 4 月 1 日分館化 (大利根博物館 昭和 54 年 4 月 1 日機関設置 同年 11 月 21 日一般公開)
大多喜城分館	平成 18 年 4 月 1 日分館化 (総南博物館 昭和 50 年 4 月 1 日機関設置 同年 9 月 10 日一般公開)
分館海の博物館	平成 11 年 3 月 12 日 (同日 一般公開)

4 施設

区分	敷地面積	建物延床面積
本館	13,178 m ²	15,254 m ² (展示室面積 4,291 m ² /収蔵庫面積 3,591 m ² /研究・管理部門 6,812 m ²)
生態園	66,000 m ²	758 m ²
大利根分館	13,195 m ²	1,751 m ² (展示室 535.66 m ² /収蔵庫 253.83 m ²)
大多喜城分館	5,673 m ²	1,952.93 m ² (展示室 656.60 m ² /収蔵庫 310.93 m ² /研修室 246.75 m ² 等)
分館海の博物館	7,161.01 m ²	7,696.13 m ² (本館棟 3,919 m ² /駐車場 3,694 m ² 等)

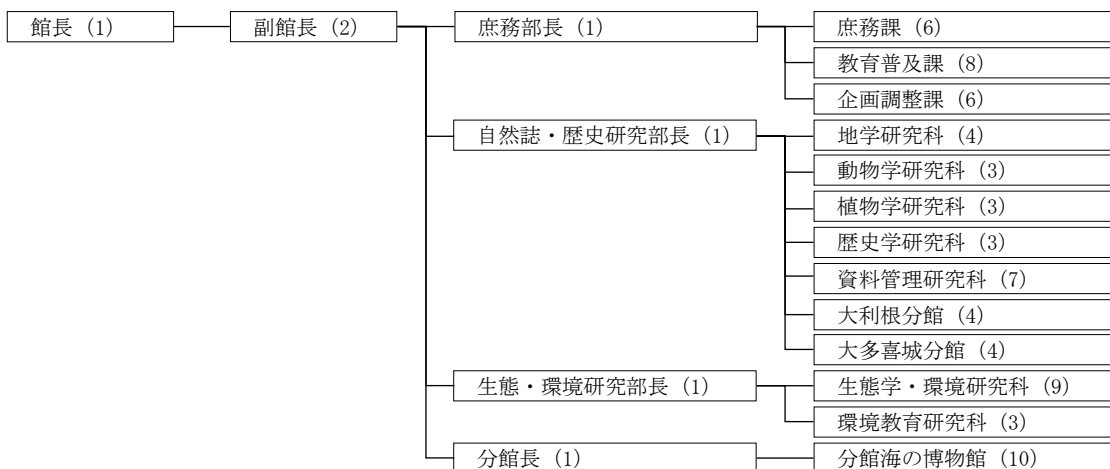
5 組織

(1) 職員数 84 名 (うち、再任用 22 名、体験交流員等 7 名)

区分	行政職	研究職	体験交流員等	合計
本館	11(1)名	47(15)名	4名	62名
大利根分館	1名	3(1)名	0名	4名
大多喜城分館	1(1)名	3名	0名	4名
分館海の博物館	3(2)名	8(2)名	3名	14名
計	16(4)名	61(18)名	7名	84名

(注) 環境生活部自然保護課千葉県生物多様性センター併任職員 2 名、教育庁教育振興部文化財課兼務職員 1 名を含む。
() 内は再任用。

(2) 組織図 () 内は所属人数



6 予算 303,528,000 円

本館	大利根分館	大多喜城分館	分館海の博物館
187,142,000	17,582,000	28,126,000	70,678,000

7 常設展示の構成

本館	房総の自然と人間、房総の自然誌（房総の地学、房総の生物、海洋、生物の分類、小動物展示室）、 房総の歴史、自然と人間のかかわり、体験学習室
生態園	房総の代表的自然を再現し、動植物の生態を身近に観察する野外施設
大利根分館	利根川の自然と歴史、千葉県農業
大多喜城分館	房総の城と城下町
分館海の博物館	房総半島の海の自然（房総の海、さまざまな海の姿、博物館をとりまく自然、海と遊ぼう）

8 収蔵資料 1,164,514 点

本館	大利根分館	大多喜城分館	分館海の博物館
1,071,601 点	18,548 点	2,019 点	72,345 点

9 入館者数 入館者数 131,357 人、入館料収入 12,360,350 円

区分	本館	大利根分館	大多喜城分館	分館海の博物館
入館者数	53,865 人	2,335 人	43,128 人	32,029 人
うち有料入館者数	11,838 人	837 人	19,700 人	18,569 人
入館料収入	4,291,590 円	165,200 円	4,372,000 円	3,589,760 円

新型コロナウイルス感染拡大防止対策

令和元年度末からの新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の流行に伴い、中央博物館では、国の方針に基づく千葉県及び千葉県教育委員会の指示並びに日本博物館協会が策定した「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を踏まえ、COVID-19 感染防止対策を施しながら施設の運営を行ってきた。

1 経過

年	国、県等の動向	月 日	中央博物館の状況	
令和2年	厚労省が中国武漢市での原因不明肺炎の発生について注意喚起	1月6日	感染防止対策の検討と実践 〈第1フェーズ〉	
	国内で初めて感染者を確認	1月15日		
	WHOが「国際的な緊急事態」を宣言	1月30日		
	WHOが「COVID-19」と命名	2月11日		
	政府が緊急対策をまとめる	2月13日		
	厚労省が受診、相談の目安を公表	2月17日		
		2月20日		以降のハイリスク展示・事業の制限、休止
	政府が感染拡大に備え基本方針を決定	2月25日		
	首相が全国全ての小中高校に休校要請の考えを表明	2月27日		
	県教委が3/3からの県立博物館の臨時休館を発表	2月28日		
		3月3日	臨時休館開始（期間は当面の間）	
	千葉県を含む1都7県に緊急事態宣言を発令	4月7日	↑ 臨時休館 ↓	
	緊急事態宣言発令を全国へ拡大	4月16日		
	緊急事態宣言の5/31までの延長を決定	5月4日		
	千葉県を除く39県で緊急事態宣言を解除	5月14日		
	日本博物館協会が「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を発表			
	関西で緊急事態宣言を解除	5月21日		
	県教委が5/26からの県立博物館の順次再開を発表	5月22日		
	全ての都道府県で緊急事態宣言を解除	5月25日		
		5月26日		展示見学に限って本館を再開(生態園は園路のみ開放)
	6月2日	展示見学に限って分館も再開		
県教委が、中止中の県立博物館事業のうち、感染防止対策が施せるものについて再開を許可。	7月10日	〈第2フェーズ〉		
	8月1日	生態園オリエンテーションハウス開舎(土日祝日限定)		
	8月14日	山のFM三島小教室博物館再開		
日本博物館協会が「ガイドライン」を改定	9月18日			
	10月16日	授乳室、コインロッカーの利用再開		
	11月26日	講堂・研修室貸出の限定的再開		
令和3年	千葉県を含む1都3県に2/7までの緊急事態宣言を発令	1月7日		
	県が1/9からの県立博物館の利用制限(休館)を発表			
		1月9日	臨時休館開始（期間は当面の間）	
	大阪府等7府県に緊急事態宣言を追加発令	1月13日	↑ 臨時休館 ↓	
	栃木県を除く10都府県の緊急事態宣言の3/7までの延長を決定	2月1日		
	首都圏の1都3県を除き、緊急事態宣言を解除	2月28日		
	1都3県の緊急事態宣言の2週間延長を決定	3月5日		
	県が3/22からの県立博物館の利用制限解除を発表	3月18日		
1都3県の緊急事態宣言を解除	3月21日			
	3月23日	本館、分館ともに、臨時休館前と同じ施設状況で再開		

2 感染防止対策の検討と実践

COVID-19の流行に際し、中央博物館では、令和元年度末から2年度にかけて、感染拡大防止に主眼を置いた第1フェーズとしての対策、流行が長期化する中で博物館事業を安全に実施していくための第2フェーズとしての対策を行った。

＜第1フェーズ＞ 令和2年2月から段階的に実施

第1フェーズにおいては、利用者および職員の感染防止を第一に、現状で感染防止対策が施せない施設や展示品等の利用を停止し、各種博物館事業は中止もしくは延期する対策を行った。並行して、停止や中止とした利用者サービスを安全に再開するための対策についても検討した。

(1) 職員間の感染防止対策

各職員には、自宅での毎日の検温と体調管理の徹底、テレワークによる執務、体調不良時の積極的な休暇の取得を指導するとともに、出勤時には、検温と手指消毒、マスクの着用を求めた。また、執務室での感染を回避するために、共有部分については日常的にアルコール消毒を行い、対面した机配置で勤務せざるを得ない職員間には飛沫シールドを設置した。一方、利用者と対面する業務に当たる職員は、マスクに加え、フェイスシールドと手袋も着用することとした。

(2) 施設の感染防止対策

一般入館者の出入口は、入口と出口を明確に分離するとともに、双方に手指消毒液を設置し、入口側の床面には社会的距離の目安となる表示を行った。また、受付など、入館者と職員が対面する場所には、飛沫防止シールドを設置し、入館者が触れる場所や物品については、消毒を行うようにした。一方、納品や営業などの業者の出入りは、業務用入り口に限定し、一般入館者の出入りと重ならないよう整理した。

展示室においては、接触による感染を防ぐために、ハンズオン展示を利用停止に、映像展示のボタン操作は禁止とし、展示に触れないよう立ち入り禁止区域の明示と注意喚起の掲示を行った。さらに、館内に複数設置しているベンチは数を減らし、残したベンチについても利用制限を行うとともに、体験学習室、生態園のオリエンテーションハウス・野鳥観察舎、山のフィールドミュージアム教室博物館は閉鎖とした。また、これらの他にも図書閲覧コーナー、スタンプコーナー、冷水器、休憩スペース(飲食スペース)等についても利用を停止とした。そして、展示室内の目立つ場所(複数カ所)へ手指消毒用アルコールを設置した。その上で、本館では、開館時刻を、9時から10時に変更し、毎日、開館前に職員による展示室の消毒清掃を行い、同時刻に入館できる人数を200人に制限した。各分館においては、施設の規模や形状がそれぞれ異なることから、本館での対策の趣旨を踏まえ、各施設の状況に応じた対応を行った。

(3) 入館者に求める感染防止対策

一般入館者には、入館時に検温と手指消毒、入館票(連絡先)の記入、マスクの着用をお願いした。また、発熱や体調不良の際の来館、団体での利用、展示室内での大きな声での会話を控えることや社会的距離の確保も加えてお願いした。これらの依頼については、ウェブページへの掲載や館の適所に掲示するとともに、館内放送や見回りの職員によって来館者へ直接伝えるなど、恒常的に利用者への周知を図っている。

(4) 感染防止対策としての事業の見直し

感染リスクが高いと考えられる講座、観察会、イベント、展示解説、講師派遣(出張講座)、対面による質問対応等の各事業は、期限を定めず休止若しくは延期とした。一方、感染リスクを伴わない電話や電子メールによる問い合わせへの対応は、通常通り行った。また、新たな試みとしてQRコードを用いた展示解説を導入するとともに、「おうちで中央博」のタイトルのもとにウェブページコンテンツの強化を図った。さらに休止もしくは延期とした各事業の再開に向けて、感染防止対策の検討を重ねた。

＜第2フェーズ＞ 令和2年7月から

第2フェーズにおいては、それまでに確立した感染防止対策を継続するとともに、第1フェーズにおいて利用停止や休止とした利用者サービスのうち、感染防止対策が施せるものについて、準備を整え、順次再開した。

(1) 施設の再開

生態園オリエンテーションハウスは、土日・祝日に限定し、8月1日から利用を再開した。再開に際しては、受付カウンターへの飛沫防止シールドの設置、見学路の一方通行化、ハンズオン展示の撤去、消毒清掃の強化等の対策を講じた。その上で、同時入場者を10名に制限し、入場者には、検温と入館確認票の記載、マスク着用等の協力をお願いした。また、同様の対策を講じて、8月14日からは山のフィールドミュージアム教室博物館も再開した。

一方、本館では、消毒清掃に加え、サーキュレーター増設による換気の強化や利用者の制限等の対策を施し、10月26日から授乳室(救護室)、コインロッカーの使用を再開した。また11月26日からは講堂と研修室についても、使用目的や使用者を限るなど、条件を満たした案件について、限定的に使用を認めることとした。

なお、一般利用を休止していた館内の飲料自動販売機については、熱中症対策として8月1日以降は使用を認めている。

(2) 教育普及事業の再開

講座・観察会を再開するために、日博協のガイドラインも踏まえ、①会場の消毒、②受付時の検温体制・参加者情報の把握(事前申込)、③参加者間の距離の確保(人数制限 室内1.5 m間隔、野外2 m)、④用具・資料・マイク等機材の共有の回避、⑤換気(窓・扉の開放。サーキュレーターの利用)、⑥昼食時をまたがない時間設定、⑦参加者と解説者の接触の回避、⑧野外の場合、移動時の距離の確保、の8項目を骨子とするコロナ禍での安全実施に向けたガイドラインを策定した。そして、これをベースにボランティア・市民研究員等の受け入れを再開するための活動ガイドラインも策定した。また、ボランティア・市民研究員等の活動再開においては、これらの方たちの活動の場となる収蔵庫・図書室についても、同時入室者数等を制限するなど、使用ガイドラインを策定した。その上で、これら2事業のうち、各ガイドラインの条件を満たせる個別事業については、再開することとした。

講座・観察会については、ガイドラインに基づく個別事業の仕分けを行い、10月1日以降の選抜事業について再開しており、これに伴い、11月17日からは、消毒の徹底を条件に、休止していた音声ガイダンスシステムの使用も再開した。また、ボランティア・市民研究員等の受け入れにおいては、8月7日から市民研究員と資料整理・調査研究ボランティアに限って、活動人数の制限等の対策を講じて、受け入れを再開している。一方、対面による質問対応については、展示室入口付近の一角に飛沫防止シールドを設置した相談場所を新たに設け、時間制限ありの事前予約制で、8月1日以降再開した。

3 影響

令和元年度末からの博物館活動は、臨時休館や一部施設の利用停止、各種事業の休止や延期、職員の在宅勤務や活動制限など、COVID-19の大きな影響を受けた(詳細はⅢ展示、Ⅳ教育普及、Ⅶ入館者状況参照)。

表. 入館者数の比較(平成30年度～令和2年度)

	中央博物館	大利根分館	大多喜城分館	分館海の博物館	COVID-19対策としての臨時休館
令和2年度	53,865	2,335	43,128	32,029	4/1～5/24(分館5/31)、1/9～3/21
令和元年度	108,751	11,275	62,419	49,868	3/3～3/31
平成30年度	154,482	12,320	77,362	51,188	無し

4 今後の課題

COVID-19の流行に伴い、令和2年度は、それまでとは異なる館運営を強いられた。この状況は、早急に解消されるとも考えられず、次年度以降は、感染防止対策のさらなる整備、改善を図り、ウィズコロナ時代の新たな博物館運営を確立していく必要がある。

(1) 感染防止対策の見直し

現在の感染防止対策、特にフェーズ1において立てた対策は、公益財団法人日本博物館協会が5月14日に公表した「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づくところが大きい。このガイドラインは、5月25日と9月18日に改定されており、同時入館者数制限などの基準も緩和されている。今後、各種事業の再開を検討する上では、規制緩和が必要となる事案もあるので、感染防止対策については、県教委とも調整を図りながら、最新の安全基準に合わせて随時見直す必要がある。

(2) COVID-19に係る日常業務の省力化

毎日の展示室消毒清掃や入館者の検温などは、新たに付加された業務であり、今後も継続の必要がある。しかし、このための時間的制約は、限られた業務時間の中で博物館活動を行う上で大きな負担となっている。また、現在休止している各種事業を再開するためには、さらなる時間が必要となる。このため、本来業務に充てるべき時間を確保するため、清掃や検温等の単純作業に割かれる時間を省力化するシステムや機器の検討・導入が必要である。

(3) 休止事業の再開

現在休止している団体受入や出張講座(講師派遣)については、利用者、特に学校団体からの再開要望が多く寄せられている。このため、県教委からの指示があり次第直ぐにでも再開できるよう、感染防止対策や受け入れ態勢の検討、整備を急ぐ必要がある。また、密集を回避する手立てが確立されていないために再開を見送っている展示解説や講座や観察会等については、インカムシステムなどの社会的距離を確保した上で解説が行える機器を導入するなど、感染防止対策を兼ね備えた実施手法を確立する必要がある。

(4) 社会のリモート化への対応

コロナ禍により社会のリモート化が大きく進行した。機を同じくして、小中学校においては、一人一台端末の整備が進行している。この様な社会情勢を踏まえ、令和2年度には、ウェブページコンテンツの強化を図ったが、オンラインでの博物館利用のニーズは、これからますます高まってくることが予想される。今後は、ウェブページコンテンツのさらなる整備はもちろんのこと、これまで対面で行ってきた各種事業のリモート開催など、社会情勢の変化に対応した新たな取り組みについても検討する必要がある。

I 資料収集・整理保存

第1 本館

1 資料の登録

(令和3年3月31日現在)

分野		年間増加	総登録点数	情報システム 総点数	
動物資料	哺乳類	8	5,430	685	
	鳥類	8	1,674	200	
	魚類	602	21,062	20,961	
	両生類・は虫類	0	2,057	0	
	昆虫	3,058	197,748	123,721	
	甲殻類	600	16,548	14,920	
	カブトガニ・ウミグモ・多足類	56	694	571	
	クモ類	5	1,392	237	
	軟体動物	1,633	80,735	1,847	
	多毛類	0	1,126	2	
	その他無脊椎動物	0	76	2	
		小計	5,970	328,542	163,146
植物・菌類資料	維管束植物	5,170	389,372	119,684	
	蘚苔類	1,171	42,659	6,899	
	藻類	0	6,110	3,484	
		植物資料小計	6,341	438,141	130,067
	地衣類	682	27,735	6,206	
	担子菌類	0	26,488	6,265	
	子囊菌類他	0	3,102	190	
	変形菌類	0	191	2	
		菌類資料小計	682	57,516	12,663
		小計	7,023	495,657	142,730
地学資料	岩石・鉱物※1	936	20,057	20,315	
	地層(はぎとりなど)	0	26	22	
	植物化石	90	205	205	
	軟体動物化石	154	6,632	6,632	
	その他無脊椎動物化石	136	3,637	2,109	
	微化石	72	72	72	
	脊椎動物化石	22	8,323	8,323	
	地学景観画像	0	219	219	
	その他	0	819	0	
		小計	1,410	39,989	37,897
	自然誌資料合計	14,403	864,188	343,773	
人文資料	小計	5,493	53,284	21,910	
生態・環境資料	生態・環境にかかわる生物音響資料	0	1,868	-	
	生態・環境にかかわる映像資料	0	2,042	-	
	環境教育資料	0	8	-	
	小計	0	3,918	0	
特殊資料・貴重書	リンネ関係レンスヨークコレクション	0	5,397	-	
	その他稀観本	0	50	-	
	小計	0	5,447	0	
図書資料	図書(冊数)	1,215	54,177	20,736	
	雑誌(冊数)	-284	90,587	-	
	雑誌(誌数)※2	-120	5,097	2	
	小計	931	144,764	20,738	
	合計	20,827	1,071,601	386,421	

※1 岩石・鉱物は、情報システム入力資料のうち、登録番号の枝番資料については、年間増加分・総登録点数には含まない。

※2 雑誌(誌数)は、年間増加分・総登録点数には含まない。

2 資料の収集

(1) 収集点数

種別	点数
購入	0
製作委託	0
寄附	11,051
保管換え	0

種別	点数
寄託	0
仮保管	0
借用（長期）	-1,527
館員による収集	13,635
合計	23,159

※一式は、1点と算出

※寄託・仮保管・借用は、新規受入・返却等の変更があったものを計上

(2) 内訳

ア 寄附

資料系	資料名	点数	寄付者
動物資料	故丸岡宏氏昆虫標本	9,520	個人
	アジアスイギュウ角、ミズオオトカゲはく製、タイマイはく製	3	個人
地学資料	秋田県尾去沢鉱山産鉱物標本	1	個人
	樽良平氏収集の五日市産十脚甲殻類化石コレクション	一式	個人
	モロッコ産化石含有大理石テーブル	1	個人
人文資料	石毛家文書	1,525	個人

イ 館員による収集等

資料系	資料名	点数	収集者
動物資料	哺乳類	6	館員
	鳥類	8	館員
	魚類	602	館員
	昆虫	3,058	館員
	甲殻類	600	館員
	カブトガニ・ウミグモ・多足類	56	館員
	クモ類	5	館員
	軟体動物	893	館員
植物・菌類資料	維管束植物	5,170	館員
	蘚苔類	1,171	館員
	地衣類	682	館員
地学資料	岩石・鉱物	934	館員
	植物化石	90	館員
	軟体動物化石	154	館員
	その他無脊椎動物化石	10	館員
	微化石	72	館員
	脊椎動物化石	18	館員
人文資料	人文資料	106	館員

3 資料の寄託・仮保管・借用

(1) 寄託(更新)

資料系	資料名	点数	寄託者
人文資料	神宮寺文書	554	神宮寺
	神崎神社文書	91	神崎神社
	九十九里町いわし博物館所蔵資料(伊能忠敬書簡ほか)	20	九十九里町
	大絵馬会津藩土遊泳 1点、木造菩薩半伽像 1点	2	三柱神社
	銅鑄鱗口 1点、銅鑄孔雀文磬 1点、銅鑄唐草文釣灯籠 1点	3	笠森寺
	板絵馬著色武者絵(弁慶) 1点、板絵馬著色武者絵(牛若) 1点	2	縣神社
	地引網絵馬 4点、揚繰網絵馬 1点	5	玉前神社
	板絵馬著色武者絵(昇亭北寿 文久二年) 1点、板絵馬著色伊勢参宮図(〃) 1点	2	大宮神社
	明治2年奥州出征絵巻物(ハーマン号事件に関する絵巻物)	1	勝浦市

(2) 仮保管(更新)

資料系	資料名	点数	寄託者
人文資料	千葉寺経塚出土資料	10	千葉県立千葉高等学校

(3) 常設展示資料の借用(返却)

展示室	資料名	点数	借用先
房総の歴史	村明細帳、年貢割付状	2	個人

(4) 常設展示資料の借用(更新)

展示室	資料名	点数	借用先
房総の地学	サンゴ岩体化石	1	とみうら元気倶楽部
	ナウマンゾウ臼歯化石ほか	23	個人
	ナウマンゾウ臼歯化石	1	個人
	ニホンジカ角化石	2	木更津市立中郷小学校
	銚子産化石・岩石	105	個人
	馬蹄石	1	個人
房総の生物	海岸漂着物	33	個人
房総の歴史	姥山貝塚出土縄文土器	9	慶應義塾大学
	城の腰遺跡出土石器ほか	95	千葉県立房総のむら
	農業要集・草木撰種録ほか	3	個人
	西広貝塚出土石剣ほか	17	市原市教育委員会
	三田遺跡出土赤彩土器ほか	40	芝山町教育委員会
	山田水呑遺跡出土墨書土器ほか	24	東金市教育委員会
	鳥浜貝塚出土クルミほか	11	福井県立若狭歴史博物館
	中山新田Ⅰ遺跡出土石器ほか	460	千葉県教育委員会
	地租改正の丈量器具	一式	富津市文化協会
	林跡遺跡出土木葉形尖頭器ほか	8	鎌ヶ谷市教育委員会
	大山台第36号墳出土須恵器ほか	24	木更津市教育委員会
	本名輪遺跡出土炭化米	一式	君津市教育委員会
	新坂1号墳出土円頭太刀ほか	60	山武市教育委員会
	飯山満東遺跡出土浅鉢	5	国立歴史民俗博物館
	宮内井戸作遺跡出土深鉢	13	佐倉市教育委員会
	鉄帽ほか	18	印西市立印旛歴史民俗資料館

(5) 調査等における資料の借用(変更) ※借用から寄附に変更となった。

資料名	点数	借用先
石毛嘉左衛門家文書	1,525	個人

(6) 調査等における資料の借用(更新)

資料名	点数	借用先
渋谷家資料	一式	個人
山岳鳥瞰図	一式	個人

(7) 企画展示資料の借用

ア 企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」

資料名	点数	借用先
銚子市余山貝塚出土土偶ほか	60	東京国立博物館
銚子市余山貝塚出土土偶画像ほか	4	東京国立博物館
銚子市余山貝塚出土人骨ほか	16	東京大学総合研究博物館
柏市岩井貝塚出土土器ほか	15	國學院大學博物館
柏市岩井貝塚出土土器画像	1	國學院大學博物館
佐倉市江原台遺跡出土土器ほか	5	明治大学博物館
銚子市余山貝塚出土土偶ほか	2	(公財)辰馬考古資料館
銚子市余山貝塚出土土偶画像	1	(公財)辰馬考古資料館
千葉市加曽利貝塚出土異形台付土器ほか	10	千葉市立加曽利貝塚博物館
千葉市加曽利貝塚空撮画像ほか	5	千葉市立加曽利貝塚博物館
市原市能満上小貝塚出土土偶ほか	6	市原市教育委員会
市川市堀之内貝塚出土注口土器ほか	6	市立市川考古博物館
船橋市小室上台遺跡出土土偶(複製)	1	船橋市飛ノ台史跡公園博物館
船橋市取掛西貝塚出土ツノガイ類製装飾品ほか	64	船橋市教育委員会
船橋市取掛西貝塚出土ツノガイ類製装飾品画像ほか	3	船橋市教育委員会
松戸市幸田貝塚出土土器ほか	31	松戸市
柏市林台遺跡出土土器ほか	2	柏市教育委員会
『観古帖』ほか	25	個人

資料名	点数	借用先
流山市三輪野山貝塚出土鳥面突起付土器	1	流山市教育委員会
野田市木野崎本郷遺跡出土耳飾ほか	4	野田市教育委員会
鎌ヶ谷市根郷貝塚出土土人骨ほか	7	鎌ヶ谷市教育委員会
鎌ヶ谷市根郷貝塚人骨出土状況画像ほか	3	鎌ヶ谷市教育委員会
佐倉市宮内井戸作遺跡出土釣手土器ほか	2	佐倉市教育委員会
成田市南羽鳥中岫第1遺跡出土人頭形土製品ほか	20	成田市教育委員会
成田市椎ノ木遺跡出土土器ほか	4	成田市教育委員会(成田市下総歴史民俗資料館)
八街市滝台地区出土土偶	1	八街市郷土資料館
印西市馬場遺跡第5地点出土独鈷石ほか	7	印西市教育委員会
印西市馬場遺跡第5地点出土耳飾画像	1	印西市教育委員会
印西市馬場遺跡第5地点出土石冠ほか	4	印西市教育委員会(印西市木下交流の杜歴史資料センター)
白井市向山II遺跡出土石棒	1	白井市郷土資料館
香取市良文貝塚出土香炉形顔面付土器ほか	2	貝塚史蹟保存会
銚子市粟島台遺跡出土琥珀剥片ほか	17	銚子市教育委員会
銚子市余山貝塚コロボックル石碑画像ほか	2	銚子市教育委員会
東金市鉢ヶ谷遺跡出土土器ほか	4	東金市教育委員会
東金市鉢ヶ谷遺跡遺物出土状況画像ほか	2	東金市教育委員会
山武市辻遺跡出土石棒	1	山武市教育委員会
大網白里市一本松遺跡出土土器	1	大網白里市教育委員会
芝山町小池台遺跡出土双口土器ほか	2	芝山町立芝山古墳・はにわ博物館
茂原市下太田貝塚出土人骨ほか	11	茂原市教育委員会
茂原市下太田貝塚人骨出土状況画像ほか	5	茂原市教育委員会
南房総市深名瀬島遺跡出土土器	1	南房総市教育委員会
君津市ノビル台遺跡出土土器	1	君津市教育委員会
富津市前三舟台遺跡出土土器ほか	13	富津市教育委員会
富津市前三舟台遺跡出土土器・石器画像	1	富津市教育委員会
袖ヶ浦市打越岱遺跡出土土偶	1	袖ヶ浦市郷土博物館
千葉市有吉北貝塚出土動物遺存体ほか	119	千葉県教育委員会
千葉市有吉北貝塚北斜面貝層断面画像ほか	21	千葉県教育委員会
市川市雷下遺跡出土丸木舟ほか	43	(公財)千葉県教育振興財団
東金市・大網白里市養安寺遺跡貝層剥取の記録映像ほか	17	(公財)千葉県教育振興財団
館山市大寺山洞穴出土銛ほか	24	千葉大学文学部考古学研究室
館山市大寺山洞穴出土骨角器画像	1	千葉大学文学部考古学研究室
映像情報 DVD ほか	2	新潟県立歴史博物館

イ 春の展示「九十九里浜の自然誌」

資料名	点数	借用先
ヤッサかご	1	九十九里町教育委員会
万祝	1	九十九里町教育委員会
ほしかさらい	1	九十九里町教育委員会
油樽	1	九十九里町教育委員会
九十九里浜ボーリングコア	5	関東天然瓦斯開発株式会社
九十九里浜ボーリングコアからの剥ぎ取り標本	22	(国研)産業技術総合研究所
九十九里浜沖の海底映像	1	(国研)産業技術総合研究所

ウ ミニトピックス展「疫病退散」

資料名	点数	借用先
祭礼写真	1	成田市

エ ミニトピックス展「習志野隕石！」

資料名	点数	借用先
習志野隕石(1号)	1	個人
習志野隕石(2号)(小破片を含む)	1	個人
芝山隕石	1	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
習志野隕石(1号)小破片	一式	国立科学博物館

資料名	点数	借用先
習志野隕石(2号)の落下により破損した屋根瓦	1	国立科学博物館
習志野隕石のガンマ線分析データ	2	国立科学博物館
習志野隕石岩石薄片写真	3	国立極地研究所

4 資料の利用

(1) 利用点数

利用方法	件数	点数
閲覧	1	1
撮影・複製	7	379
デジタル情報の複製	53	676
貸出	12	281

利用方法	件数	点数
研究用貸出	14	75
標本データの提供	2	197,680
館内利用	29	2,113
その他	2	12
合計	120	201,217

※一式を1点とカウントした。

(2) 閲覧・撮影・複製・デジタル情報の複製・貸出・その他

ア 動物資料

利用方法	資料名	点数	利用者
撮影	貝類標本 117 種	117	(株)誠文堂新光社
撮影・貸出	貝類標本 235 種	235	(株)山と溪谷社
デジタル情報の複製	シンカイエビ標本の画像	1	(株)学研プラス
貸出	ビワハゴロモ科昆虫標本	2	九州大学総合研究博物館

イ 植物・菌類資料

利用方法	資料名	点数	利用者
デジタル情報の複製	若名東一肖像写真(デジタルミュージアム)	1	山武市歴史民俗資料館(文書番号3)
デジタル情報の複製	若名東一肖像写真(デジタルミュージアム)	1	山武市歴史民俗資料館(文書番号207)
貸出	さく葉標本3点、果実乾燥標本1点、レプリカ2点	6	ミュージアムパーク茨城県自然博物館

ウ 地学資料

利用方法	資料名	点数	利用者
撮影	岩石標本(河川・海岸等の石ころ)	20	(株)福音館書店
デジタル情報の複製	ナウマンゾウ、キクメイシ、ヤマトシジミの画像	3	市原市教育センター
デジタル情報の複製	写真「屏風ヶ浦 南東から」ほか	6	(株)アッシュ
デジタル情報の複製	石英閃緑岩の標本写真	1	(株)日本入試センター
デジタル情報の複製	地学景観画像	1	ちば河川交流会
デジタル情報の複製	ナウマンゾウの画像(復元骨格レプリカ1点、頭骨レプリカ1点)	2	個人
貸出	コミナトダイオウグソクムシ化石	3	福井県立恐竜博物館
貸出	東京湾沿岸の埋没谷地形模型、鳥の眼からみた関東地方バナー印刷図、日本海拡大模型、富士山プロジェクトシモンマッピング地形模型一式	4	埼玉県立自然の博物館
貸出	タルボサウルス頭骨レプリカ	1	千葉市中央図書館

エ 人文資料

利用方法	資料名	点数	利用者
閲覧	荒海川表遺跡出土資料	一式	個人
撮影	焼夷弾、腕章(勤労学徒 千葉師範学校)	2	(株)毎日新聞社千葉支局
撮影	常陸国風土記、延喜式(複製)、海夫注文(複製) 各1点	3	千葉県立関宿城博物館
撮影	総州真景図藁	1	千葉市美術館
デジタル情報の複製	『日本博覧図千葉県初編』より「集成学校」画像	1	テレコムスタッフ(株)
デジタル情報の複製	『日本博覧図千葉県初編』より「東條喜惣治邸宅」画像	1	個人
デジタル情報の複製	『日本博覧図千葉県初編』より「浜口儀兵衛店」画像	1	帝国データバンク史料館
デジタル情報の複製	『日本博覧図千葉県初編』より「岩崎重次郎」画像、「樽を運ぶ高瀬船」画像	2	(株)ジャンプコーポレーション
デジタル情報の複製	『日本博覧図千葉県初編』より「田中玄蕃」画像	1	(株)オフィス303
デジタル情報の複製	林辰雄撮影写真	18	(株)いき出版

利用方法	資料名	点数	利用者
デジタル情報の複製	林辰雄撮影写真	2	東京新聞社
デジタル情報の複製	林辰雄撮影写真	1	千葉市立郷土博物館
デジタル情報の複製	林辰雄撮影写真	1	(株)ゴシック
デジタル情報の複製	林辰雄撮影写真	10	千葉市科学館
デジタル情報の複製	林辰雄撮影写真	5	千葉市
デジタル情報の複製	林辰雄撮影写真	1	千葉市教育委員会
デジタル情報の複製	林辰雄撮影写真	1	千葉市民ギャラリーいなげ
デジタル情報の複製	林辰雄撮影写真	2	個人
デジタル情報の複製	林辰雄撮影写真 37 点、吉野章郎氏撮影写真 57 点	94	(株)いき出版
デジタル情報の複製	林辰雄撮影写真	1	千葉市
デジタル情報の複製	林辰雄撮影写真	1	(株)HU
デジタル情報の複製	林辰雄撮影写真	1	個人
デジタル情報の複製	鹿野山神野寺絵はがき画像	10	神野寺表門設計監理事務所
デジタル情報の複製	菱田コレクション 3 点、吉野章郎氏撮影写真 1 点、吉澤貞一マッチラベルコレクション 1 点	5	葛南教育事務所
デジタル情報の複製	小金原鹿狩図屏風 画像	1	(独法)国立公文書館
デジタル情報の複製	干鯛(模型)画像	1	(株)借成社
デジタル情報の複製	山倉大神護符・札に関する写真	2	千葉県立房総のむら指定管理者(公財)千葉県教育振興財団房総のむら
デジタル情報の複製	野菜行商写真 5 点、イラスト 1 点(『おばちゃんたちの野菜行商』掲載)	6	(株)朝日新聞社柏支局
デジタル情報の複製	野菜行商写真(『おばちゃんたちの野菜行商』掲載)	1	(株)朝日新聞社柏支局
デジタル情報の複製	デジタルミュージアム『梵天にみる房総の出羽三山信仰』の「南生実町出羽三山講(千葉市)」内「完成した梵天」写真	1	千葉市教育委員会
デジタル情報の複製	『大日本物産図会』より「上総国鱈漁之図」画像	1	教育出版(株) 教育 ICT 事業局
デジタル情報の複製	杓(模型)画像	1	(株)清水書院
デジタル情報の複製	「職人尽絵貼りまぜ屏風」より「紙屋」画像	1	個人
デジタル情報の複製	富津市三柱神社寄託 絵馬「会津藩士水練の図」画像	1	雨城古文書同好会
デジタル情報の複製	上総国分寺(模型)画像	1	(有)オフィス・イディオム
デジタル情報の複製	上総国分寺(模型)画像	1	千葉市教育委員会
貸出	紙本着色『四州真景図』より「釜原」フィルム	1	松戸市立博物館
貸出	「常陸国風土記」、「延喜式(複製)」、「海夫注文(複製)」各 1 点	3	千葉県立関宿城博物館
貸出	「千葉県指定無形文化財記録映画 芝山象嵌 - 秋山逸生の技 -」DVD	1	(株)ネクサス
その他	上総国分寺(模型)	1	市原市教育委員会
その他	真忠組一件絵巻 画像	10	(有)岩田書院

オ 生態・環境資料

利用方法	資料名	点数	利用者
デジタル情報の複製	ヒナバタの成虫写真(デジタル)	1	北海道テレビ放送(株)
デジタル情報の複製	ヤドリギ寄生根断面写真(デジタル)	1	テレビ朝日映像(株)
デジタル情報の複製	生物音響資料 鳥類、両生類、昆虫など 100 種	239	(株)ポプラ社
デジタル情報の複製	生物音響資料 「千葉県市川市 丸浜漁場の南東隅の堤防」	1	江戸川区経営企画部広報課
デジタル情報の複製	生物音響資料「鳥の鳴き声音声資料」	11	千葉市科学館

カ 特殊資料・貴重書

利用方法	資料名	点数	利用者
デジタル情報の複製	大型菌類古典籍コレクション 10 点より図版画像	186	(株)パイ・インターナショナル
デジタル情報の複製	大型菌類古典籍コレクションより図版画像	20	(株)パイ・インターナショナル
デジタル情報の複製	植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画より画像	1	(株)日企
デジタル情報の複製	植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画より画像	1	(株)グラフィック社
その他	リンネ関係レンスコークコレクション 「Systema Naturae 12 版 Tom.1 Pars 2」(1767)の画像プリント	2	個人

キ その他

利用方法	資料名	点数	利用者
撮影	千葉県立中央博物館自然誌研究報告特別号 10 八木令子ほか論文 図 17 の画像	1	個人
デジタル情報の複製	きのご絵本解説パネルセット画像(パネル 14 点、 きのご双六 1 点)	15	宮崎県総合博物館
貸出	「オリンピック・パラリンピックと千葉のスポーツ 史」で使用した展示パネル	20	香取市生涯学習課
貸出	図書・沼田眞著作 3 冊	3	(株)学報社
貸出	巡回パネル展示「写真でつづる千葉の鉄道」 展示キット一式、絵はがき 1 点	2	横芝光町商工会

(3) 研究用貸出

資料系	資料名	点数	利用者名
動物資料	魚類	1	北九州市立博物館
動物資料	魚類	1	鹿児島大学
動物資料	魚類	2	鹿児島大学
動物資料	魚類	2	鹿児島大学
動物資料	昆虫	4	九州大学総合博物館
動物資料	昆虫	11	個人
動物資料	昆虫	10	九州大学
動物資料	貝類	15	個人
動物資料	貝類	3	個人
動物資料	貝類	1	栃木県立博物館
動物資料	貝類	1	市原市教育委員会
植物・菌類資料	菌類	15	国立科学博物館
植物・菌類資料	地衣類	8	広島大学
地学資料	化石	1	東京都市大学

(4) 標本データの提供

資料系	分野	科博 S-net・GBIF 提供件数	千葉県 GIS 提供件数
動物資料	哺乳類	0	685
	魚類	0	9,043
	昆虫	8,200	43,048
	甲殻類	0	390
	カブトガニ・ウミグモ・多足類	0	570
	クモ類	0	236
	軟体動物	0	7,450
	小計	8,200	61,422
植物・菌類資料	維管束植物	9,300	87,045
	蘚苔類	500	10,395
	藻類	0	3,378
	地衣類	0	6,204
	担子菌類	0	9,044
	微小菌類	0	190
	変形菌類	0	2
	小計	9,800	116,258
地学資料	古無脊椎動物	0	-
	古脊椎動物	2,000	-
	小計	2,000	-
合計		20,000	177,680

(5) 館内利用

ア 本館展示

①企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」

資料系	資料名	点数
動物資料	ヨモギハムシ標本ほか	8
動物資料	貝類標本(ツノガイ・キュウシュウクビキレほか)	50

資料系	資料名	点数
植物・菌類資料	ハンノキさく葉標本ほか	10
人文資料	「千葉県史編さん考古部会関係資料」より画像	4

②春の展示「九十九里浜の自然誌」

資料系	資料名	点数
動物資料	鳥類剥製等 45 点(コアジサシ等)、映像 12 点	57
動物資料	鯨類骨格標本 4 点(スナメリなど)、3D 模型 1 点(スナメリ打ち上げ現場)、映像 4 点	9
動物資料	現生貝類標本(ウネナシイトカケ・ヒルガオガイなど)	54
動物資料	甲殻類標本など(ナンヨウスナガニ・ハスノハカシパンなど)	42
動物資料	魚類標本(マイワシなど)	26
動物資料	生態動画 1 点(フジノハナガイなど)	1
植物・菌類資料	維管束植物 6 点(ウンランなど)、映像 12 点、報告書 1 点など	24
地学資料	九十九里平野地形模型 1 点、動画 2 点	3
地学資料	沖積層産貝類標本(タイラギ・オオノガイなど)	5
地学資料	ティラノサウルス砂像	1
地学資料	蜃気楼等気象現象映像 18 点、動画 1 点	19
人文資料	いわし漁資料 4 点(ヤッサかごなど)、食用貝類 4 点(ダンベイキサゴなど)、ヨウ素 1 点	9

③収蔵資料展「ノスタルジック・ポストカード」

資料系	資料名	点数
人文資料	絵はがき、観光パンフレット等	287

④生態園トピックス展「タネの大冒険」

資料系	資料名	点数
植物・菌類資料	果実・種子標本	60

⑤トピックス展「チバニアン正式決定！」

資料系	資料名	点数
地学資料	地磁気逆転地層はぎ取り標本、化石標本、地形模型ほか	26

⑥ミニトピックス展「疫病退散」

資料系	資料名	点数
人文資料	利根川図志	1
人文資料	関尻の大草鞋ほか	2
人文資料	大杉神社御神軸	1
人文資料	お札・お守り	10
人文資料	祭礼等写真	15

⑦ミニトピックス展「房総の海の遊びー絵はがきを中心にー」

資料系	資料名	点数
人文資料	絵はがき、観光パンフレット等	160

⑧ミニトピックス展「十二支にちなんで 一丑年ー」

資料系	資料名	点数
動物資料	哺乳類、鳥類、魚類、貝類	11
植物・菌類資料	維管束植物、大型菌類、蘚苔類	7
地学資料	哺乳類化石、哺乳類頭骨標本	2
人文資料	絵葉書、マッチラベル	87

⑨ミニトピックス展「習志野隕石！」

資料系	資料名	点数
地学資料	習志野隕石 1 号・2 号標本、各種隕石標本など	26

⑩ミニトピックス展「新鉱物『房総石』の発見」

資料系	資料名	点数
地学資料	鉱物標本 4 点、結晶構造模型 2 点	6

イ 分館展示利用

① 大多喜城分館 企画展「福を呼ぶ小袖と房総の万祝」

資料系	資料名	点数
人文資料	「大日本物産図会」等実物資料9点、画像データ10点	19
特殊資料・貴重書	植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画	4

② 分館海の博物館 マリンサイエンスギャラリー「ウミカラ-海の生きものの殻の話-」

資料系	資料名	点数
動物資料	甲殻類3個体、貝類3個体、貝類5ロット	11

ウ 行事利用・その他(館外など)

資料系	資料名	点数	利用方法
動物資料	昆虫	50	閲覧
動物資料	貝類	14	同定比較(門司植物防疫所・植物防疫官)
動物資料	貝類	32	同定比較(昭和女子大・研究者)
動物資料	貝類	5	同定比較(較琉球大学・研究者)
動物資料	貝類	11	同定比較(京都府立大学・研究者)
動物資料	貝類	15	同定比較(栃木県立博物館・研究者)
動物資料	貝類	63	同定比較(沖縄県立博物館・研究者)
動物資料	貝類	505	同定比較(つのしま自然館・個人研究者)
動物資料	貝類	24	同定比較(市原市教育委員会・研究者)
動物資料	貝類	150	同定比較(東京都埋蔵文化財センター・研究者)
動物資料	貝類	24	同定比較(京丹後市教育委員会・研究者)
動物資料	貝類	32	同定比較(沖縄県教育委員会・研究者)
動物資料	貝類	48	閲覧・撮影(テレビ朝日「ガリベンガーV」)
動物資料	貝類	25	同定比較(一般・個人研究者)
動物資料	貝類	32	同定比較(一般・個人研究者)
人文資料	「日本博覧図千葉県之部後編」画像	4	画像利用(大多喜城分館行事)
人文資料	巡回パネルキット「写真でつづる千葉県と鉄道」	一式	展示(イオンモール成田に博物館がやってきた)

(6) 学習キットの利用(貸出ほか)

ア 学校等の授業・講座・教材(館行事・講師派遣での利用を含む)

キット名	館内		県内		県外		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
生命と大地の歴史を体感する化石キット	0	0	0	0	0	0	0	0
昆虫標本作製キット(国語編)	0	0	0	0	0	0	0	0
昆虫標本作製キット(理科編)	0	0	0	0	0	0	0	0
人類進化学習キット	0	0	1	20	0	0	1	20
校庭の野草観察キット	0	0	5	※	0	0	5	0
古文書・和書移動展キット	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	6	20	0	0	6	20

※提供型キットのため、件数のみ

イ 展示・紹介・その他(館事業での利用を含む)

キット名	館事業(件数)	その他(件数)	合計(件数)
生命と大地の歴史を体感する化石キット	1	0	1
昆虫標本作製キット(国語編)	1	0	1
昆虫標本作製キット(理科編)	1	0	1
人類進化学習キット	1	0	1
校庭の野草観察キット	1	0	1
古文書・和書移動展キット	0	0	0
合計	5	0	5

5 保存環境の整備等

(1) 環境調査

生物生息調査(トラップ調査)	粘着トラップを設置し、捕獲した生物の同定・個体数を集計した。資料に影響を及ぼす生物を発見した場合は、発生源を特定し排除した。
	実施回数：4回
	調査区域：全館
	トラップ数：各回226個

温湿度測定	自記温湿度計：収蔵庫 10 カ所・歴史展示室 4 カ所
	データロガー：企画展示室 3 カ所、収蔵庫 1 カ所、図書室 1 カ所、野鳥観察舎 1 カ所

(2) 清掃

収蔵庫の定期清掃	各収蔵庫 2 回実施
収蔵庫の清掃委託	実施なし

(3) 燻蒸・殺虫・殺菌

収蔵庫の燻蒸	実施なし
燻蒸釜の運転(殺虫・殺菌)	実施回数：12 回
	使用薬剤：酸化エチレン(商品名：エキヒューム S)
	保守点検：令和 3 年 1 月 25 日実施
低温処理(冷凍庫)による殺虫	常時運転
高温処理(乾燥機)による殺虫	常時運転

(4) 施設・設備の改善

屋外昆虫侵入防止対策（扉の隙間の防虫テープを交換。1 階職員出入口外扉）

6 図書の利用

(1) 館職員利用 貸出冊数 524 冊

(2) 来館者利用

コロナ対策のため、閲覧コーナー・体験学習室での図書公開、閉架図書の出納サービス及び複写サービスを休止した。

(3) 資料保全 館内修理 2 冊

第 2 大利根分館

1 資料の登録

(令和 3 年 3 月 31 日現在)

分野		年間増加分	総登録点数	情報システム 総登録点数
人文資料	民俗資料	0	4,869	2,231
	歴史(古文書)	0	12,612	
	考古(埋蔵文化財)	0	206	
	文字・絵画(絵葉書)	0	593	
	小計	0	18,280	
自然資料	動物・地学	0	268	263
合 計		0	18,548	2,494

2 資料の収集

(1) 資料収集点数

種別	点数
寄贈	0
寄託	0
借用(長期)	0

種別	点数
保管換え	0
館員による収集	0
合 計	0

※継続更新は含まない

3 資料の寄託・借用

(1) 寄託

ア 継続更新

資料系	資料名	点数	寄託者
地学資料	ナウマンゾウ・クジラの化石	2	成田市教育委員会
古文書	三区用水関係文書	20	三区
古文書	山来家文書	2,127	個人
古文書	寺田家文学資料	447	個人
古文書	寺内区有文書	15	寺内区
古文書	十六島図	1	香北土地改良区
古文書	船板図	20	個人
古文書	鵜崎区古文書	34	鵜崎区
絵画	涅槃図	1	大貫山興福寺
歴史資料	和同開珎	1	野田稲生大神社総代

(2) 常設展示資料の借用

ア 継続更新

資料名	点数	借用先
多田造船大工道具	1	個人
黒田家文書	8	個人
板碑	2	惣持院
板碑	1	個人
丸木舟	1	匠瑤市教育委員会
木造阿弥陀如来坐像	1	西福寺
阿玉台北遺跡出土土器・炭化米・石製浮子・石錘・土器片錘	17	千葉県立房総のむら
馬場遺跡・東野遺跡・多田遺跡・鵜崎貝塚・取香和田戸遺跡出土遺物	74	千葉県教育委員会
城山第5号前方後円墳出土人物埴輪・大六天遺跡・織幡ササノ倉遺跡出土土器・プロペラ・河童図	42	香取市教育委員会
翼竜復元模型・トンボ化石・始祖鳥化石(レプリカ)	3	航空科学博物館
水戸御用札ほか	2	個人

(3) 企画展示資料の借用

ア 夏休み展示「カミツキガメ」

資料名	点数	借用先
カミツキガメもんどり特注品	1	千葉県生物多様性センター

イ 収蔵品展「古い道具と昔のくらし」

資料名	点数	借用先
2 ドア木製冷蔵庫(ニットウ製)・手回し洗濯機(カモメホーム製)	2	個人

4 資料の利用

(1) 資料利用点数

種別	件数	点数
閲覧	0	0
複製(撮影)	1	4
デジタル情報の複製	14	26

種別	件数	点数
貸出	6	8
館内利用	4	209
合計	25	247

(2) 撮影・複製等

資料名	点数	利用者
「増田陽家文書」他	4	個人

(3) デジタル情報の複製

資料名	点数	利用者
「水郷の原風景」画像 No. 78 藁運び	1	(株)ホールマン
箱膳の画像	1	国士館大学 21世紀アジア学部
氷冷蔵庫の画像	1	(株)アフロ
「木下茶船(模型)」と利根川図志「息栖明神 船中より正面を見る図」の画像	2	神栖市企画部政策企画課
せんたくき(原題 洗濯機を背負って 昭和33年撮影)	1	山形県郷土館「文翔館」
せんたくき(原題 洗濯機を背負って 昭和33年撮影)	1	福岡大学
「現代」「1000年前」「5000～7000年前」(利根川流路変遷図)の画像	3	霞ヶ浦問題協議会
大正期佐原駅(絵はがき)の画像	2	個人
「絵はがきコレクション」「水郷写真資料」他	9	(株)ザ・ワークス
「火熨斗(画像)」	1	(株)キャデック
デジタルミュージアム「むかしの道具」「かまど」画像	1	山崎教育システム(株)
デジタルミュージアム「むかしの道具」「田下駄」画像	1	(株)TBS テレビ
デジタルミュージアム「むかしの道具」No. 24「かまど」画像	1	(株)メディアブルポ東京支社
デジタルミュージアム「やじろべえ」画像	1	東海テレビ放送(株)

(4) 貸出

資料名	点数	利用者
房丁茶船 模型	1	印西市教育委員会
土摺臼	1	神栖市歴史民俗資料館、稲敷市立歴史民俗資料館
木亜鈴 2点、錦絵「学校生徒体操之図」1点	3	千葉県立房総のむら指定管理者 (公財)千葉県教育振興財団房総のむら

資料名	点数	利用者
鮭の剥製	1	千葉県立房総のむら指定管理者 (公財)千葉県教育振興財団房総のむら
「千葉県祭り・行事調査報告書」	一式	千葉県立房総のむら指定管理者 (公財)千葉県教育振興財団房総のむら

(5) 館内利用

ア 大利根分館展示

資料名	点数	展示名
時計、奈良屋資料など	76	トピックス展「振り子が刻んだ時の記憶」
カミツキガメ標本、もんどりなど	21	夏休み展示「カミツキガメ」
井戸ポンプなど	110	収蔵品展「古い道具と昔の暮らし」

イ 本館展示

資料名	点数	展示名
県通知文書、疱瘡神託び証文	2	ミニトピックス展「疫病退散」

第3 大多喜城分館

1 資料の登録

(令和3年3月31日現在)

分野		年間増加分	総登録点数	情報システム 総登録点数
歴史・民俗資料	歴史	-1	843	661
	生活	0	377	0
	芸術	0	1	0
	宗教	0	53	0
	文学	0	18	0
	古文書	0	294	359
	考古	0	9	0
	その他	0	424	0
合計		-1	2019	1020

2 資料の収集

(1) 資料収集点数

種別	点数
購入	0
寄贈	0
寄託	0
借用(長期)	0

種別	点数
保管換え	0
仮保管	0
館員による収集	0
合計	

※継続更新は含まない

3 資料の寄託・借用

(1) 寄託

ア 継続更新

資料名	点数	寄託者
袴 など	23	個人
木造薬師如来坐像 など	2	青龍寺
上総国伊北荘山中郷御縄打水帳 など	10	堀之内区
絵馬 など	6	広厳院観音堂
善光寺参詣絵馬 など	3	清水寺
奉納額 など	3	船子八幡神社
西畑の内平沢村坪入改帳 など	6	妙厳寺
大多喜城残置武具覚 など	136	個人
脇差(豊永行秀鍛之) など	2	個人
紺糸威桶側胴具足(覆輪兜付) など	2	個人
沢瀉紋銭紋散刀筒 など	3	個人
芝居絵	1	個人
額(熊野神社遷宮額)	1	小佐部区
短刀(関住兼氏) など	2	個人
木札 など	4	個人

資料名	点数	寄託者
槍(銘 藤原国重作)	1	個人
房総軍記・全 など	20	個人
中瀧城跡出土遺物	1	立教大学考古学研究会中瀧城址調査団
新堀区有文書	1	新堀町会
房総志料 など	2	個人
熊野観心十界図	1	宝聚院
紺糸威伊予札二枚胴具足 など	6	個人
刀(平安城住大隅守平広光) など	12	個人
大河内信敬油絵 など	2	八幡神社
古文書 など	3	個人
刀(無銘) など	9	個人
百万遍講中道具 など	2	個人
鎧通し など	13	個人
松平正和書	1	個人
四季豊年図	1	個人
刀(人見神社御神刀・長旨作)	1	人見神社
太刀(波平吉安) など	3	個人
藁箆筒 など	8	個人
蒋介石総統扁額 など	2	個人
袴	2	個人
俳句帳 など	20	個人
短刀(正直)	1	個人
錢箱	1	個人
段替胴腰取具足(日根野頭形兜付)	1	個人
紫糸威連山頭桶側胴具足(桃形兜付) など	2	個人
陣笠	1	個人
三ツ葉葵紋付宇瓦	1	紺屋区観音寺
木造大日如来坐像 など	9	猿稻区
大多喜御在城私宅江殿様入られ候節の覚書 など	7	個人
紺糸威仏胴具足(小星兜付) など	316	大多喜町
紺糸菱綴桶側胴具足(覆輪筋兜付) など	5	神明神社
色々威腹巻(筋兜付) など	38	玉前神社
古文書 など	3	個人
染付土瓶 など	6	個人
白磁製マリア観音像	1	下大多喜台区
木造僧形坐像(院廣 銘) など	48	応徳寺
短刀(氏貞・白鞘入り) など	2	個人
古書籍 など	2	個人
光福寺八代華徳院日妙曼荼羅	1	個人
松平家紋所付御膳 など	20	圓照寺
刀(無銘) など	10	薬王寺
刀(無銘) など	2	白子神社
太刀(大和國住包永)	1	個人
遠山金四郎景元公肖像画 など	2	遠山講
刀 など	2	個人
正質公・みね(金へんに丘)子夫人合作軸 など	3	個人
勝海舟扁額	1	大多喜町立大多喜小学校
万祝(鶴亀) など	27	九十九里町

(2) 借用(長期)

ア 継続更新

資料名	点数	借用先
松平正質筆驚図 など	6	個人
梅僊筆 梅図掛図 など	14	個人
紙本著色本多忠勝画像 など	3	良玄寺
屏風 など	6	個人
キリシタン禁制 など	2	個人
萌黄糸威素懸二枚胴具足(小星兜付)	1	個人

資料名	点数	借用先
黒糸肩裾取威胴丸(兜・小具足付) など	3	個人
鱧口	1	法華寺
火縄銃 など	2	個人
鉄砲所持許可鑑札 など	3	個人
紺糸威紙綴桶側胴具足(十六間筋兜付)	1	個人
朽葉糸威素懸胴具足(頭形兜付) など	11	個人
本多家御膳 など	10	東長寺
鋸鍛冶道具	1	個人

(3) 借用 (企画展)

ア 企画展「福を呼ぶ小袖と房総の万祝」

資料名	点数	借用先
万祝(鱧・三番叟)	1	鴨川市郷土博物館
万祝(渡辺紋・鶴亀)	1	鴨川市郷土博物館
万祝(三木・鱧・昭和八年)	1	鴨川市郷土博物館
万祝(五三の桐・浦島)	1	鴨川市郷土博物館
写真(貝渚八幡神社集合写真)	1	鴨川市郷土博物館
写真(前原海岸漁師後ろ姿写真)	1	鴨川市郷土博物館
型紙：背(福・大漁・鶴)	2	鴨川市郷土博物館
型紙：背(大漁・鶴)	2	鴨川市郷土博物館
型紙：裾(大漁・千萬歳・三番叟)	4	鴨川市郷土博物館
万祝(山・鶴亀・いわし)	1	九十九里町教育委員会
万祝(波に千鳥・いわし大漁)綿入れ	1	九十九里町教育委員会
万祝(田・恵比寿・蛸・大漁)	1	九十九里町教育委員会
万祝(しめ縄・鰯大漁)綿入れ	1	九十九里町教育委員会
白紬地鶴亀芹忍草模様縫小袖	1	国立歴史民俗博物館
白紬子地松文字模様染縫小袖	1	国立歴史民俗博物館
金茶八橋織綾地蝙蝠模様友禪染小袖	1	国立歴史民俗博物館
染分(藍白)紬子地亀甲繫丸菱文散段模様絞小袖	1	国立歴史民俗博物館
小袖雛形本(『新雛形曙桜(下巻)』)	1	国立歴史民俗博物館
小袖雛形本(『新板花陽ひいなかた綱目』)	1	国立歴史民俗博物館
小袖雛形本(『肉筆小袖雛型帳』)	1	国立歴史民俗博物館
万祝(下り藤・鶴亀・松竹梅)綿入れ	1	館山市立博物館
『萬祝模様雛形 全』	1	館山市立博物館
『模様雛形 全』	1	館山市立博物館
『第壱号 満いわい雛形』	1	館山市立博物館
『満いわい雛形』	1	館山市立博物館
マイワイ染見本：①	1	館山市立博物館
マイワイ染見本：②	1	館山市立博物館
マイワイ染見本：「萬祝新形標本」③	1	館山市立博物館
染織用具：2のり落とし(ハリテ)	2	館山市立博物館
染織用具：4型付け(コマベラ)	4	館山市立博物館
染織用具：4型付け(シンシ)	4	館山市立博物館
染織用具：5色作り(染料入れ引出し(小))	1	館山市立博物館
染織用具：5色作り(ニューボウ)	2	館山市立博物館
染織用具：6色さし(イロバケ)	6	館山市立博物館
染織用具：9のりをひく(ツツガミ)	3	館山市立博物館
染織用具：13染め付け(ハケ)	1	館山市立博物館

4 資料の利用

(1) 資料利用点数

種別	件数	点数
閲覧	0	0
複製(撮影)	1	3
デジタル情報の複製	35	39

種別	件数	点数
貸出	2	3
館内利用	1	1
合計	39	46

(2) 複製 (撮影)

資料名	点数	利用者
兎耳形兜・采配脇立付筋兜・栄螺形兜	3	(株)グループ現代

(3) デジタル情報の複製

資料名	点数	利用者
遠山金四郎景元公肖像画	1	(株)TBS スパークル
遠山金四郎景元公肖像画	1	(株)スポーツニッポン新聞社
遠山金四郎景元公肖像画	1	(株)アマゾンラテルナ
遠山金四郎景元公肖像画	1	(株)TBS スパークル
遠山金四郎景元公肖像画	1	(株)アマゾンラテルナ
遠山金四郎景元公肖像画	1	(株)碧水社
遠山金四郎景元公肖像画	1	(株)ネクサス
遠山金四郎景元公肖像画	1	(株)仁プロデュース
紙本著色本多忠勝画像	1	(独法)国立公文書館
紙本著色本多忠勝画像	1	(株)ジャンプコーポレーション
紙本著色本多忠勝画像	1	(株)テレビマンユニオン
紙本著色本多忠勝画像	1	(株)コミュニティネット
紙本著色本多忠勝画像	1	(有)ヴェーポイント
紙本著色本多忠勝画像	1	スマイトピクチャーズ合同会社
紙本著色本多忠勝画像	1	Jリポート
紙本著色本多忠勝画像	1	(株)ディアステージ
紙本著色本多忠勝画像	1	(株)スクエア・ノット
紙本著色本多忠勝画像	1	(株)コミュニティネット
紙本著色本多忠勝画像	1	(株)ジェイワークス
紙本著色本多忠勝画像	1	(株)テレビ朝日
紙本著色本多忠勝画像	1	(株)ABC アーク
紙本著色本多忠勝画像	1	(株)あお
紙本著色本多忠勝画像	1	エポックル(株)
紙本著色本多忠勝画像・金梨子地葵紋散打刀拵 紺糸威鎧 各1点	3	(株)風来堂
紙本著色本多忠勝画像・大多喜城外観・大城戸 薬医門 各1点	3	(株)淡交社
大河内正質肖像写真	1	袖ヶ浦市郷土博物館
大多喜城ジオラマ模型	1	戎光祥出版(株)
大薙刀	1	(株)エディキューブ
大薙刀	1	(株)エディキューブ
大薙刀・紙本著色本多忠勝画像	1	(株)ディラナダチ
兎耳形兜	1	(株)集英社
兎耳形兜	1	(株)かみゆ
兎耳形兜	1	(株)小学館
大多喜城外観	1	(有)文明舎
大多喜城外観・展示室	1	(株)交通新聞社

(4) 貸出

資料名	点数	利用者
短刀	1	千葉県立現代産業科学館
いすみ市作田地先出土須恵器・鉄製燈籠	2	いすみ市郷土資料館

(5) 館内利用

資料名	点数	展示名
黒綸子地網干に波鴛鴦模様小袖(複製)	1	企画展「福を呼ぶ小袖と房総の万祝」

第4 分館海の博物館

1 資料の登録

(令和3年3月31日現在)

分野		年間増加分	総登録点数	情報システム 総登録点数
動物資料	海綿動物	0	313	0
	刺胞動物	5	9,757	845
	環形動物	0	2,257	618
	貝類	721	15,521	112
	頭足類	0	268	108
	甲殻類	150	2,858	706
	棘皮動物	21	1,759	179
	その他	40	529	20
	魚類	104	14,987	3,225
動物資料小計		1041	48,249	5,813
植物資料	種子植物	1	73	73
	藻類	86	8,101	1500
	植物・菌類資料小計	87	8,174	1573
映像資料	写真	0	12,215	0
	動画	0	1,577	0
	映像資料小計	0	13,792	0
資料中計		1,128	70,215	6,772
図書・雑誌資料	図書・雑誌(冊数)	0	2,130	0
合計		1,128	72,345	7,386

2 資料の収集

(1) 資料収集点数

種別	点数
購入・製作委託	0
寄贈	0

利用方法	点数
保管換え	0
館員による収集	1,128
合計	1,128

(2) 内訳（館員による収集）

資料系	資料名	点数
動物資料	海綿動物	0
	刺胞動物	5
	環形動物	0
	貝類	721
	頭足類	0
	甲殻類	150
	棘皮動物	21
	その他	40
	魚類	104
小計		1,041
植物資料	種子植物	1
	藻類	86
	小計	87
画像資料	写真	0
	動画	0
	小計	0
図書・雑誌資料	図書・雑誌等	0
合計		1,128

3 資料の借用

(1) 常設展示資料の借用 該当なし

(2) 企画展示資料の借用

ア マリンサイエンスギャラリー「ウミカラ-海の生きものの殻の話-」

資料名	点数	借用先
ウニ類標本	1	個人

資料名	点数	借用先
ヤマトカラッパの写真	1	個人
コケムシ類の写真・イラスト	2	個人
ニシキエビの映像	1	串本海中公園水族館

イ 大収蔵資料展「海博・お宝大集合！」 該当なし

4 資料の利用

(1) 資料利用点数

種別	件数	点数
閲覧	0	0
撮影	0	0
映像資料の貸出	8	184
展示用標本の貸出	3	31

種別	件数	点数
研究用標本の貸出	3	17
標本の複製	0	0
標本データの提供	0	0
館内利用	2	491
合計	16	723

※一式を1点と算出

(2) 内訳（映像資料の貸出）

資料名	点数	利用者
ノリ養殖写真	12	埼玉県立川の博物館
ノリ写真	20	
深海性イソギンチャク類、スナギンチャク類写真	一式	(株)小学館クリエイティブ
深海性、イシサンゴ類写真	一式	
イソギンチャク写真	30	(株)ノンプロダクション
イッカク全身骨格写真	1	(株)TBS テレビ
アマミホシゾラフグの産卵(動画)	1	(株)エービーシーリブラ
アマミホシゾラフグの卵保護(動画)	1	
ミステリーサークルをつくるアマミホシゾラフグ(動画)	1	(株)ダイナマイトレボリューションカンパニー
完成したミステリーサークル(動画)	1	
カワハギの繁殖行動(動画)	5	(株)釣りビジョン
カワハギの繁殖行動(写真)	10	
アマミホシゾラフグ(動画)	100	(株)共同テレビジョン

(3) 内訳（展示用標本の貸出）

資料名	点数	利用者
海藻標本	12	埼玉県立川の博物館
イソギンチャク類標本	3	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
甲殻類・魚類剥製、鯨類標本等	16	千葉市科学館

(4) 内訳（研究用標本の貸出）

資料名	点数	利用者
刺胞動物乾燥標本	5	銚浦海中公園研究所
甲殻類液浸標本	10	東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター
甲殻類液浸標本	2	東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター

(5) 内訳（館内利用）

展示名	資料名	点数
マリンサイエンスギャラリー「ウミカラ-海の生きものの殻の話-」	棘皮動物(ウニ類)	20
	節足動物(カニ・エビ類)	14
	節足動物(フジツボ類)	8
	コケムシ動物(コケムシ類)	10
	腕足動物(シャミセンガイ類)	11
	軟体動物(貝類)	107
	写真	52
収蔵資料展「大収蔵資料展 海博・お宝大集合！」	液浸標本(魚類、無脊椎動物他)	40
	乾燥標本(貝、サンゴ、海藻他)	44
	模型(アマミホシゾラフグの「ミステリーサークル」他)	2
	生体(アサクサノリの糸状体他)	18
	写真(ムギワラエビ他)	158
	編集動画(ミステリーサークルを建設するアマミホシゾラフグ他)	7

5 保存環境の整備等

(1) 環境調査

生物生息調査(トラップ調査)	粘着トラップを設置し、捕獲した生物の同定・個体数を集計した。資料に影響を及ぼす生物を発見した場合は、当該部屋管理責任者に注意を喚起した。
	実施回数：12回
	調査区域：全館
温湿度測定	トラップ数：各回20個
	自記温湿度計：乾燥収蔵庫1カ所

(2) 清掃

乾燥収蔵庫の定期清掃	週1回実施
液浸収蔵庫の定期清掃	週1回実施
大型標本庫の定期清掃	年3回実施

(3) 燻蒸

実施項目	内容
収蔵庫の燻蒸	ア. 使用薬剤：アルブ(酸化プロピレン+アルゴン混合ガス)
	イ. 燻蒸期間：令和2年10月18日(日)～23日(金)
	ウ. 方法：乾燥収蔵庫を密閉し、間熱気化器により薬剤を60g/m ³ 投入して48時間燻蒸を行った。燻蒸後は、活性炭吸着装置によるガス回収作業後、軸流扇に風管接続して館外に強制排気した。
	エ. 結果：供試虫及び供試菌の100%死滅をもって、乾燥収蔵庫内の殺虫・殺卵・殺カビが良好に行われたことが確認できた。

II 調査研究

第1 本館

1 研究課題

(1) 重点研究

ア 下総台地東部の自然

【担当】萩野康則（代表者）・斎木健一・平田和弘・水野大樹・御巫由紀・天野 誠・西内李佳・原田 浩・坂田歩美・古木達郎・大野将史・黒住耐二・尾崎煙雄・斉藤明子・伴 光哲・下稲葉さやか・岡崎浩子・八木令子・小田島高之・千葉友樹・奥田昌明・共同研究員

【研究内容】下総台地東部において植物・菌類のフロラ調査や生態学的調査、昆虫を含む動物のファウナ調査や生態学的調査、地学分野の地形・地層・化石調査などを行うことで、この地域の自然誌分野の基礎的な知見と資料（登録標本含む）を増大させるとともに、生物相の多様性と特異性や、地質の特性を明らかにする。

【年度実績】「昆虫のファウナ調査」 尾崎煙雄・伴 光哲・斉藤明子：成田市内3カ所（船形、芦田、駒井野）で調査を行い、約180点の昆虫を収集し、標本化、同定、登録作業を進めているところである。また、アリ類を宿主とする昆虫寄生菌イトヒキミジンアリタケを5点収集した。

「下総台地東部の多足類・クモ類相調査」 萩野康則：八街市、東金市、山武市、富里町、芝山町の計6地点の森林で、土壌資料を採取し、その中に生息する土壌動物を抽出装置で採集した。採集した土壌動物から多足類とクモ類を選別し、標本化と同定を行っているところである。

「新生代以降の現生を中心とした貝類相の追加調査」 黒住耐二：成田市等で調査を行い、100点程度の資料を収集した。この中には、これまで千葉県では1ヶ所しか確認されていないミズコハクガイ等も含まれている。印旛沼のカラスガイを用いた報文が印刷中で、高谷川低地の自然貝層の貝化石を季節展「九十九里浜の自然誌」で展示している。

「下総台地東部における哺乳類絶滅危惧種の生息状況」 下稲葉さやか：千葉県立房総のむらで、コウモリ類の生息状況を聞き取りとバットディテクターの使用により調査した。コウモリの生息が確認されたが、種の特定はできなかった。しかし発声する超音波の周波数から絶滅危惧種の可能性がある。

「地域植物相の調査」 水野大樹・天野 誠・御巫由紀・西内李佳・平田和弘・斎木健一：今年度は計10回の調査を行い、1平方キロのメッシュ計35メッシュを調査した。目視で確認されたのは計730分類群であった。244点の標本作製し、そのうち160分類群201点は仮登録済みである。

「下総台地東部の蘚苔類相調査」 古木達郎：千葉県立房総のむらで2回調査を行い、約数十点の資料を収集した。オオミハタケゴケとミドリハタケゴケなど県内稀産種を確認した。

「下総台地東部の地衣類相調査」 原田 浩・坂田歩美：成田山公園で2回調査を行い、標本150点を収集した。標本作製を完了し、同定作業中である。

「下総台地東部の大型菌類相調査」 大野将史：千葉県立房総のむらで大型菌類相調査を7月～11月にかけて10度実施し、標本128点を収集した。標本作製を完了し、同定作業中である。

「下総層群の貝化石調査」 千葉友樹：貝化石密集層の各層準から22の堆積物試料を採取し11試料から貝化石を拾い出した。来年度の行事で使用する、貝化石を含む堆積物試料を収集した。本格的な同定は次年度以降となるが、これまでにアラスジソデガイ・スナメガイ・ヒナノシヤクシ・ケシフミガイなどの下総層群から記載された貝類が得られた。このうち、15点を標本登録し、4点をデジタルミュージアム「下総台地と周辺の貝化石」に掲載した。

「牛久-東金崖線の地形」 八木令子・吉村光敏：牛久-東金崖線や崖線に見られる地形（風隙、懸谷、河川争奪、滝など）の分布状況を把握した。また、すでに撮影済みの崖線の航空斜め写真等画像資料を整理した。

「下総台地の地層（下総層群）調査」 岡崎浩子：銚子市西部～旭市と印西市～香取郡神崎町で野外調査を行い、写真撮影及び露頭柱状図を作成した。成果の一部はJpGU-AGU Joint Meeting 2020（日本地球惑星科学連合-米国地球物理学連合共同開催）で発表した。

「下総台地東部の表層花粉調査」 奥田昌明：下総台地の自然植生と空中花粉の関係を明らかにする基礎資料として、成田市、旭市、銚子市から31点の表層花粉試料を採取した。採取物は毛足の長いコケ群落であり、空中花粉を効果的に捕集していることが期待される。実際の分析作業は来年度に行うとともに、永久標本化して収蔵庫に収める予定である。

イ 「房総のお浜降り習俗」の歴史・民俗学的研究

【担当】小林裕美（代表者）・秋山笑子・本吉正宏

【研究内容】海にかこまれた房総では、神輿を海岸に巡行させるお浜降りの祭礼が広く行われている。その分布と各祭礼の神事・神輿巡行・付随する芸能などの詳細を調査し、さらに祭礼組織等の歴史的・民俗的調査を行い分析することにより、本県における神輿祭礼の特色をあきらかにし、日本の祭礼文化史に位置付けることを課題としている。

【年度実績】①自治体史などの文献調査からリストアップした、旧行を含めた130件のお浜降りについて、神社の祭神・規模・形態・呼称などにより分類した。これまで調査実績のある福島県や茨城県、また和歌山県の状況などと比較すると、房総のお浜降りは非常に多種多様であることがわかった。

②参考文献の収集を進め、研究課題を整理した。

③3月中旬に緊急事態宣言が解除されてから、2件の現地調査を行った。

ウ 古写真を用いた県内の景観変遷の解析

【担当】小田島高之（代表者）・島立理子・八木令子・下稲葉さやか・小出麻友美

【研究内容】古写真や古絵葉書は過去の景観を知るためのツールとして有効である。当館は昭和中期の林辰雄写真コレクションや昭和中期～平成期の吉野写真コレクション、明治期から昭和期の古絵はがき菱田古絵葉書コレクションを所蔵している。これらの古写真資料を地理学、民俗学、地形学、動物学、植物学など様々な視点から解析し、現在の景観と比較することでその変遷を解明する。

【年度実績】県内各地を調査した結果を基に、トピックス展「房総の海の遊び」（会期：令和2年7月16日～8月31日）及び収蔵資料展「ノスタルジック・ポストカード」（会期：令和3年3月23日～5月30日）を開催した。それぞれの展示

の中で古写真や古絵葉書を現在の景観写真と比較することにより、過去の景観を知るためのツールとして古写真や絵葉書が有効であることを示した。

(2) 地域研究

ア 地球誌系（房総の大地から探る地球の歴史／房総半島南部の大地の動きをさぐる／房総丘陵の地誌・地形・地質と生物と人のくらしの関連性）

① 房総半島の無脊椎動物化石相

【担 当】加藤久佳

【研究内容】房総半島の海岸域などで拾得される化石群の概容を明らかにし、類似する産状の国内各地域の完新統化石群集と比較検討する。

【年度実績】山市の完新統 2 地点から、少なくとも 12 種の断片化した十脚甲殻類化石を確認した。また、千葉市幕張周辺、富津市新舞子海岸等からの無脊椎および脊椎動物化石の収集を行った。

② 房総半島嶺岡帯の地質構造の解明

【担 当】高橋直樹

【研究内容】嶺岡帯は無数の断層が発達したきわめて複雑な地質構造を持っている。詳細な現地調査を実施するとともに、構成岩石の岩石学的特徴の検討を加えて、これらの地質構造を明らかにする。

【年度実績】房総半島嶺岡帯の西方延長に相当する三浦半島において、火成岩類を中心とした地質調査を行い、いくつかの露頭を確認し、資料を採取した。房総半島嶺岡帯の一部と類似した産状を示すことが判明した。

③ 房総半島の軟体動物化石相

【担 当】伊左治鎮司

【研究内容】房総半島から産出する軟体動物化石について、地域や地層ごとに、化石群集を構成する代表的な分類群を調査し、そのコレクションを充実させる。

【年度実績】鈎子層群、上総層群、下総層群及び沼層から産出した軟体動物化石について、新たに 139 点をデータベースに登録した。下総層群及び沼層の登録標本については、資料画像をデータベースに付随させた。また、デジタルミュージアム「下総台地と周辺の貝化石」の内容を更新し、183 点の登録標本を新規に撮影し、公開した。

④ 房総半島の地層の堆積環境の復元

【担 当】岡崎浩子

【研究内容】房総半島はそのほとんどが新生代の地層からできており、この時代の日本の模式地層として位置づけられている。したがってその地層の形成時の堆積環境を復元することは、房総半島の成り立ちおよび日本列島の成り立ちを解明する上で大変重要である。この堆積環境の復元を堆積相解析を用いて地域ごとに行う。

【年度実績】チバニアン期（約 77-12.9 万年前）の地層について下総台地北東部についてその分布と堆積環境について調査を行った。

⑤ 房総周辺の花粉・環境誌

【担 当】奥田昌明

【研究内容】2020 年 1 月のチバニアン採択にともない、現地では更なる研究成果が期待されている。本研究課題では、市原市田淵の千葉セクションに対して花粉化石にかかる再分析を行い、申請段階では詰め切れなかった詳細な MIS 19 の古気候復元を行った後、MIS 1 の古気候状態と比較する。

【年度実績】チバニアン採択の現地にあたる市原市田淵・千葉セクションの露頭に対し、花粉分析の再調査を実施し、同じ露頭から得られた浮遊性有孔虫の酸素同位体比層序と比較した。成果は 2021 年度にとりまとめ予定。

⑥ 房総半島における水利用に関する研究

【担 当】小田島高之

【研究内容】川回しや上総堀り、二五穴等の房総半島に特徴的な水利用について、それら分布や変遷を調査する。

【年度実績】君津地域について二五穴や上総堀りの井戸の分布の調査を行った。

⑦ 房総半島の最終氷期以降の植生変遷

【担 当】西内李佳

【研究内容】最終氷期（主に 2~3 万年前）から現在にかけての房総半島の植生変遷を、特に照葉樹林の拡大と針葉樹の衰退に着目して、花粉や葉、種実の化石から明らかにする。

【年度実績】房総半島南部の最終氷期末期以降の照葉樹林の拡大過程を明らかにするため、南房総市で採取した過去約 1 万年間の年代を示すボーリングコアの花粉分析を進めている。

⑧ 房総半島の地形景観とその成り立ちに関する研究

【担 当】八木令子・共同研究員

【研究内容】房総半島には、激しい隆起や侵食、氷河性海面変動などに起因して形成された丘陵や台地、平野、海岸、河川など多様な地形が見られる。これらの分布や成り立ちに関する総括的な調査を行うとともに、今年度は主に房総丘陵の魅力的な地形景観の発掘と解析を行う。

【年度実績】養老川中流、市原市田淵の地磁気逆転地層の露頭周辺の地形景観とその成り立ちについて、昨年度までに行った調査の補足を行い、調査結果をまとめ、中央博紀要に投稿した。また房総丘陵に見られる地形景観を記録し、房総の山のフィールド・ミュージアムの教室博日記などで発信した。

⑨ 房総丘陵におけるタゴガエルの産卵場所に関する環境地質学的研究

【担 当】大木淳一

【研究内容】タゴガエルの産卵場所および越冬場所である湧水箇所を環境地質学的に解明する。

【年度実績】館山市と南房総市でタゴガエルの産卵場所を新たに 6 地点見出し、その湧水箇所について地質学的な記載を行った。

- ⑩ 千葉県で観測される蜃気楼の発生メカニズムに関する基礎研究
 【担 当】大木淳一
 【研究内容】千葉県で観測される蜃気楼の発生状況を調査し、発生メカニズムを地形学及び気象学的側面から明らかにする。
 【年度実績】九十九里町に定点カメラを設置し 24 時間観測態勢を確立した。令和 2 年は 50 日以上、上位蜃気楼を捉えることに成功し、日本有数の上位蜃気楼観測地であることが判明してきた。
- ⑪ 房総半島の脊椎動物化石相
 【担 当】丸山啓志
 【研究内容】房総半島に分布する上総層群と下総層群から、ナウマンゾウなどの陸棲哺乳類や、アワイルカなどの海棲哺乳類のような多種多様な脊椎動物化石が産出する。この化石記録から地質時代の房総半島における脊椎動物相の変遷を明らかにする。
 【年度実績】鯨類化石をはじめ、採集や提供で収集した試料のクリーニングを行い、標準化・登録を進め、公表する準備を進めた。また、自身での採集も行った。
- ⑫ 房総の地層学
 【担 当】千葉友樹
 【研究内容】房総半島の地層を構成する堆積物（砂、泥、貝化石など）や縞模様の観察を通して、当時の環境や生物と環境との関わりを明らかにする。
 【年度実績】房総半島に分布する下総層群を引き続き調査した。露頭写真の撮影、堆積物試料の採取を行った。堆積物試料から貝化石を拾い出しを進めている。当館に未収蔵だった貝化石 15 点を登録した。

イ 生命誌系

(ア) 房総の分類学的多様性の特徴とその保全

- ① 房総の土壤動物誌
 【担 当】萩野康則
 【研究内容】房総に生息する多種多様な土壤動物について文献調査と採集を行い、詳細な文献リストと生息種リストを作成し、生息種の標本を収集する。
 【年度実績】H27 年度に発表した「千葉県産土壤動物リスト I. 有翅昆虫を除く動物群」の続編となる「千葉県産土壤動物リスト II. 有翅昆虫類」とりまとめのため、その後に発表された採集記録の整理を行った。
- ② 房総の甲殻類誌
 【担 当】駒井智幸・高山順子・村田明久
 【研究内容】房総半島とその周辺海域に出現する甲殻類相の解明を行い、未記載種、国内未記録種（外来種を含む）の公表を随時進める。
 【年度実績】コロナ禍のため、野外調査はまったく実施できなかった。房総半島および伊豆・小笠原諸島で行った調査で採集されたクモエビ科の検討を進めた。3 属 13 種が確認されたが、7 種は未記載種の可能性がある。それらのうち、*Uroptychodes* の未記載種については、新種として報告する論文を投稿した（年度末時点で審査中）。当該海域については、環境研究推進費による研究プロジェクトも関わりが深く、引き続き検討を進める。高山は九十九里浜におけるスナガニ属の調査を行い、スナガニ、ナンヨウスナガニ、ツノメガニの 3 種の生息を確認した。
- ③ 房総の貝類誌
 【担 当】黒住耐二
 【研究内容】房総半島にどのような貝類が第四紀以降生息しており、それが人間活動を含めた環境変化に対して、どのように変遷し、また人間にどのように利用されてきたか等について調査する。
 【年度実績】今年度は、日本でも極めて稀な約 1 万年前の縄文貝塚である船橋市の取掛西貝塚の分析結果が出版された。汽水性のヤマトシジミを食用に特化した組成であったが、この中には遠く琵琶湖から製品として利用したのではないかと考えた厚質二枚貝のイケチョウガイと思われる種も含まれており、その他にもこれまで東京湾から知られていなかったスミノエガキと思われる種の存在やその製品も確認できた。
- ④ 房総の地衣類誌
 【担 当】原田 浩・坂田歩美・共同研究員・市民研究員
 【研究内容】千葉県内に産する地衣類の目録を完成するために、野外調査を行うとともに既に収集した標本資料の同定、分類学的検討を行う。また県内における地衣類の分布を明らかにするために、県内各地で調査を行う。市民研究員・共同研究員と協力して実施する。
 【年度実績】既に収集した標本を再検討し、ハナゴケ属の一種ヒメヤグラゴケ *Cladonia rappii* を千葉県新産として報告し、マルゴケ属の新種をまもなく発表予定（印刷中）。千葉県産を中心とする日本産レブラゴケ *Lepraria cupressicola* の分類を明らかにした。*Pseudocalopadia chibaensis* の千葉県新産地報告を準備した。チェックリストの改定準備を進めた。
- ⑤ 房総の魚類誌
 【担 当】宮 正樹
 【研究内容】千葉県沿岸に生息する魚類を網羅的に収集し、種組成や生態などを明らかにする。また、2017 年度 8 月から続けてきた房総半島南部 11 測点における環境 DNA 隔週調査を、月別調査に変更して引き続きモニタリングを継続する。また、2019 年 11 月に行った千葉県沿岸 100 地点調査で興味深い結果が得られたため、2020 年 6 月に再調査を行い魚類群集構造の季節変動の有無を確認する。
 【年度実績】2019 年 11 月に引き続き、2020 年 5 月に千葉県沿岸全域 100 地点を対象とした環境 DNA メタバーコーディング解析に基づく網羅的魚類相調査を行った。第一回目の調査結果を分析したところ、計 401 種の沿岸性魚類を検出できた。また、種数推定や魚類群集構造の地理的構造分析に有用なデータが得られていることを確認した。また、2021 年 3 月までに、房総半島南部 11 地点における定期調査を計 69 回まで行った。

- ⑥ 房総丘陵の昆虫・クモ類相
 【担 当】尾崎煙雄・大木淳一
 【研究内容】「房総三角帯」に属し特有の昆虫およびクモ類が生息する房総丘陵の昆虫・クモ類相を解明する。
 【年度実績】東千葉演習林において16回の調査を実施した。また、その他の山域においても数回の調査を行った。採集した標本の同定、登録の作業を進めている。特筆すべきものとして県内では館山市のみで見つかったタイワントビバナフシを袖ヶ浦市で確認した。また、鹿野山においてコアシダカグモの越冬個体を採集した。
- ⑦ 房総丘陵の維管束植物相
 【担 当】尾崎煙雄
 【研究内容】希少種の探索を行い、千葉県の中でも特有の植物種を多く擁する房総丘陵の維管束植物相を解明する。
 【年度実績】房総丘陵において探索調査を10回以上実施し、ムギラン（県RDB最重要保護生物）の新たな生育地を確認した。
- ⑧ 千葉県の甲虫相に関する研究
 【担 当】斉藤明子
 【研究内容】本研究は、房総地域に生息する昆虫の戸籍簿の作成を目的とするもので、特に、全昆虫の約三分の一の種数を占める甲虫類について千葉県の記録を網羅し、さらに調査を実施して未記録種の発見に努める。
 【年度実績】房総丘陵と生態園において甲虫の調査を行い、その結果、千葉県初記録種を東京大学千葉演習林から6種、大多喜町から1種報告した。昆虫標本514点を新規に登録し、15,242点を博物館情報システム資料データベースへ登録した。千葉県から記録のある甲虫についてデータベース化を進め、千葉県産甲虫は28種増えて3,206種(2019年3月現在)であることを報告した。
- ⑨ 房総の維管束植物誌
 【担 当】天野 誠・斎木健一・水野大樹・西内李佳
 【研究内容】千葉県旭市周辺の維管束植物相を調査し、あわせて標本を収集する。市の北東部は植物相が豊かであり、過去の記録と照合することで植物相の変遷を知ることができる。
 【年度実績】今年度は計10回の調査を行った。1平方キロのメッシュ計35か所を調査した。目視で確認されたのは計730分類群（不明種、疑問種等を含むため、同定結果による変動の可能性あり）。標本採集は160分類群244点、そのうち201点仮登録済。
- ⑩ 房総丘陵の両生爬虫類相
 【担 当】大木淳一・栗田隆気・尾崎煙雄
 【研究内容】千葉県の中でも最も多くの両生爬虫類が生息する房総丘陵の両生爬虫類相を解明し、1平方キロメッシュ単位の分布図を作成する。また、生態写真も撮影し、博物館活動に役立てる。
 【年度実績】安房丘陵でタゴガエルの産卵場所を調査し、12月に産卵を、2月に子ガエルの上陸を確認したことで、房総丘陵との産卵時期の違いが明らかになってきた。
- ⑪ 房総の大型菌類相
 【担 当】吹春俊光
 【研究内容】千葉県内に生育する大型菌類（きのこ類）について、継続して調査をすすめ、千葉県の菌類誌（戸籍簿）を更新しつづける。
 【年度実績】千葉県内から約500点の大型菌類の標本を収集し仮登録をおこなった。
- ⑫ 千葉県のカメムシ亜目相に関する研究
 【担 当】伴 光哲
 【研究内容】千葉県内に生息するカメムシ亜目について、県内のファウナの全容解明を目的とした調査を実施する。また、その過程で得られた県内未記録種および未記載種については、記録の報告および分類学的な措置を積極的に行う。
 【年度実績】県内各地で調査を行なった結果、7種について県内初記録種または県内から記録の少ない種として、報告を行なった。また、千葉県のカメムシに関するトピックについて、普及的な著作物を2本執筆した。
- ⑬ 房総の哺乳類誌
 【担 当】下稲葉さやか・宮川尚子
 【研究内容】千葉県内に生息する哺乳類に関して、標本の収集と文献調査を行い、分布や生息状況を明らかにする。
 【年度実績】ロードキル個体と死体の拾得により、千葉県レッドリストの絶滅危惧種の分布情報を3件収集した。千葉県内に座礁した鯨類の情報を11件収集、そのうち4体から標本を回収した。2017年から蓄積している鯨類の座礁情報の一部を春の展示「九十九里浜の自然誌」にて展示。
- ⑭ 房総の蘚苔類誌
 【担 当】古木達郎・市民研究員
 【研究内容】千葉県内に生育するコケ植物について、分類学的な再検討を行い、併せて分布と生態を記述する。重点地域は継続して下総台地とした。
 【年度実績】流山市の蘚苔類相を昨年度に引き続き研究し、収集標本の同定を進めた。
- ⑮ 千葉県の鳥類相に関する研究
 【担 当】桑原和之
 【研究内容】千葉県を中心とした文献を基礎的資料として、千葉県全域の鳥類相を把握する。期間は4年間を予定している。千葉県全体の鳥類相を知る目的から、はじめに海岸部の鳥類相の状況などを現地調査により可能な限り把握し、過去の文献と比較する。
 【年度実績】海岸部、特に九十九里浜、一宮川の鳥類の生息状況などを文献や現地調査により収集した。

(イ) 房総の生態学的多様性の特徴とその保全

① 生態園の生態系変遷に関する研究

【担 当】尾崎煙雄・小田島高之・由良 浩・斉藤明子・林 浩二・八木令子・栗田隆気・宮川尚子・西内李佳・林 紀男・天野 誠・平田和彦・古木達郎・吹春俊光・下稲葉さやか・水野大樹

【研究内容】生態園の植物、動物、菌類、水生生物などの生物相を調査し、水質データ、気象データなどとともに長期的に記録を蓄積して、生態園における生態系管理や教育普及に役立てていく。さらに、これらを開園以来の既存のデータや在来の里山における資料とも比較して、都市近郊域における生態系の再生過程を明らかにする。なお、野鳥調査についてはボランティア4名の協力を得て実施する。

【年度実績】生物全般についてはほぼ毎日観察を行い、1,335件の観察記録と1,392点の写真を収集しデータベース化した。11年ぶりにフロラ調査を実施した。「生態園のコケ植物、30年の変遷」を当館の研究報告に公表した。哺乳類のカメトラップ調査を実施した。野鳥については8名(年度途中で4名増)のボランティアの協力を得てモニタリング調査を実施した。舟田池の水質および生物調査を実施した。気象観測装置による気象データを収集した。

② 房総のヒメコマツの保全生態学的研究

【担 当】尾崎煙雄

【研究内容】近年急速に減少している房総丘陵のヒメコマツ個体群について、モニタリング調査を行い、その保全に向けた研究を行う。

【年度実績】元澄澄山系、高宕山山系を中心にモニタリング調査を行い、台風被害による枯死個体や、新規加入個体の生育状況を確認した。また、繁殖状況調査、補強試験地、移植試験地のモニタリング調査を実施した。

③ 千葉県におけるナラ枯れ病に関する研究

【担 当】尾崎煙雄・斉藤明子

【研究内容】ブナ科樹木萎凋病(通称:ナラ枯れ)はナラ菌 *Raffaelea quercivora* が感染することによりブナ科樹木が枯死する樹病で、1980年代以降本州日本海側を中心に広葉樹林に大きな被害をもたらしている。我々の調査により2017年8月に千葉県内で初めてナラ枯れを発見した。この菌を媒介する甲虫の1種カシノナガキクイムシの生態を調べ、県内におけるナラ枯れの動向を予測する。

【年度実績】東大千葉演習林において羽化トラップ調査を実施し、ナラ枯れ被害木からの新成虫の羽化数についてモニタリングを実施した。また、生態園において探索を行い、33個体の被害木を発見し、枯死木の伐倒燻蒸法、立木燻蒸法による被害拡大防止を試みた。

④ 砂浜植物の保護増殖

【担 当】由良 浩

【研究内容】千葉県をはじめとして海岸植物は全国的に激減している。千葉県に生育する海岸植物を対象に海岸植物の生態を明らかにし、最適な保護策を考察する。

【年度実績】前年度から引き続き、千葉市で採取されたスカシユリの栽培を行っている。また、過去の海岸植物の研究成果の一部を、春の展示「九十九里浜の自然誌」の展示に反映させた。

⑤ 千葉県における陸水域のプラクトン相の網羅的把握

【担 当】林 紀男

【研究内容】千葉県内の池沼、ダム湖、水田など陸水域に生息する原生物等の浮遊・付着生物の分布状況を網羅的に踏査し、県内生物相に関する同分類群の基礎的知見を集積する。

【年度実績】県内の池沼等の陸水域における浮遊生物・付着生物の網羅的踏査を継続実施した。特に南房地域および九十九里地域を重点対象地域とした調査を通じプランクトン等の分布特性に関する基礎的知見を集積した。

⑥ 房総半島周辺海域における海鳥の分布と生態

【担 当】平田和彦

【研究内容】房総半島周辺海域における海鳥の分布と生態ならびにそれらの季節変化を、直接観察とバイオロギングによって明らかにし、その特徴を海流や海底地形、漁業等の環境要因に着目して解析する。

【年度実績】房総半島沿岸各地をまわり、また東海汽船の航路を用いて海鳥の分布を調査した。新潟大学との共同研究で、房総半島沿岸域を行動圏に含むオオミズナギドリ利島繁殖個体群のGPSデータの解析を進めている。

⑦ 北総地域の植物相

【担 当】平田和弘

【研究内容】北総地域については、現在、栄町・印西市・白井市について目視による記録データが比較的充実している。本事業では、3市町を中心とした希少植物の標本の採集と、さらなる北総地域の植物相調査を行う。

【年度実績】白井市の草地管理を行っている場所のフロラ調査を行い、標本、約30点を収集した。

ウ 人 類 誌 系 (房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究)

① 千葉県を中心とする仏教美術に関する研究

【担 当】植野英夫

【研究内容】常設展示「房総の歴史」で紹介している仏教美術に関する美術工芸品・史料に関する歴史的意義を再考察する。

【年度実績】常設展示資料の金剛力士像(複製)の造形及び歴史的特徴の検討に関し、県内外の事例収集と現地調査を実施した。

② 房総における生業の複合的なありかたと環境について

【担 当】小林裕美

【研究内容】近現代における農業・諸職・行商など、生業の重層的な在り方と環境とのかかわりについて調査・考察を行う。

【年度実績】東京への野菜行商について情報収集を行った。

- ③ 千葉県内の縄文時代貝塚と集落について
 【担 当】高梨友子
 【研究内容】縄文時代の環状貝塚や環状集落の構造について埋葬に着目して分析し、貝塚形成の意味等について考察する。
 【年度実績】埋葬を伴う貝塚遺跡や環状集落の調査例・報告例の情報収集を行い、遺跡における埋葬のあり方を検討した。
- ④ 房総の遺跡出土骨の研究
 【担 当】田邊由美子
 【研究内容】千葉県内の遺跡から出土した動物遺存体や人骨資料を用いて、縄文時代の動物利用のあり方や縄文人の生活の様子について調べる。
 【年度実績】千葉県内の遺跡から出土した動物遺存体や人骨資料について分析・研究した成果を、企画展の内容に盛り込み、発表・解説した。また、遺跡発掘調査報告書の執筆を行った。
- ⑤ 房総半島及び利根川流域における文人・文豪の鉄道旅行と紀行詩文
 【担 当】内田龍哉
 【研究内容】明治中期から大正・昭和期にかけて、東京の文人・文豪が利根川から房総半島一帯を鉄道旅行し、その紀行事蹟や作品を遺している。その事蹟を情報化し、併せて、房総地域に於ける東京文化の受容動向について分析する。
 【年度実績】利根川から霞ヶ浦一帯を遊歴した文人の紀行文のうち、小説家國木田独歩「独歩書簡」、小説家島崎藤村「落梅集」、洋画家小杉未醒「詩興画趣」、漢学者三島中洲「霞浦游藻」、日本画家小池素康「水郷巡り」について、読解翻訳と注釈作成を行った。明治末期から昭和初期にかけて、千葉・茨城両県にまたがる日本水郷を描いた紀行詩文・画文が文壇画壇で親しまれていたことが窺われる。
- ⑥ 下総台地における近世以降の薪炭林育成に関する歴史地理学的研究
 【担 当】白井 豊
 【研究内容】下総台地において、近世以降に幕府直轄の馬牧とその周辺で展開した薪炭林育成について、空間的広がりパターン、経過を探索しその意義を明らかにする。
 【年度実績】下総台地における幕府と佐倉藩による薪炭林育成に関する研究成果のサーチを継続した。薪炭林としての松林と共生する食用きのこである初茸に注目して、松林の維持管理に関する文献に当たったほか、初茸採取について聞き取り調査を行った。
- ⑦ 房総丘陵における人の生活と自然のかかわりに関する研究
 【担 当】島立理子
 【研究内容】房総丘陵に生活する人々が、地域の自然とどのようにかかわりながら生活をしてきたかを調査する。
 【年度実績】明治末から昭和にかけての古写真、絵はがきを素材として、東京湾岸を中心とした地域の景観が人の営みのなかで、どのように変化してきたかを探った。
- ⑧ 房総半島の熊野信仰に関する研究
 【担 当】小出麻友美
 【研究内容】本地垂迹思想のもと、権現と称された紀伊半島・熊野三山の神々は、房総半島においても広く信仰された。中世房総における熊野信仰の広がり、御師の経済活動などについて検討する。
 【年度実績】中世前期における東国住人らの熊野詣等の記録について、古記録等の材料を収集したほか、海運を介した熊野信仰の伝播について、九州以南の事例を題材として検討した。
- エ 博物館誌系（博物館とその社会的役割に関する研究）
- ① 中央博物館の収蔵資料の保存管理に関する研究
 【担 当】御巫由紀・友田暁子・奥田昌明・村田明久・宮 正樹・内田龍哉・斉藤明子・伴 光哲
 【研究内容】博物館の貴重な資料を劣化させない収蔵環境を維持するためには、総合的有害生物管理（IPM）を行う必要がある。温湿度などの管理、燻蒸釜による燻蒸、トラップによる生物生息調査などを継続的に行い、異常を素早く見つけて対処し、さらに中央博物館に適切な総合的有害生物管理を行うための調査研究を行う。
 【年度実績】IPMの一環として4回の生物生息調査を全館的に実施した。過去にタバコシバンムシの発生があった第1収蔵庫とコナチャタテムシの発生が見られた第3収蔵庫では、生物生息調査を同年実施した。自記温湿度計・データロガーにより、収蔵庫、歴史展示室、企画展示室および図書室の温湿度の測定を継続した。
- ② 博物館と学校との博学連携による博物館学習の推進に関する研究
 【担 当】大野将史・柴山浩恒・相原康平
 【研究内容】先進的な博物館の学校教育対応と展示環境の調査を通して、博学連携による博物館学習及び学校教育に対応した博物館展示のあり方について研究する。博物館の学校利用の現状を分析し、実態に即した博物館学習と展示改善を推進する。
 【年度実績】感染症対策のため博物館を学校が利用しにくい現状の中で、オンラインシンポジウム等を活用して他館の情報を集めた。教員に向けて学習キットやホームページを利用した教材の紹介を行い、学校から博物館に直接来られなくても学習に活用できるようにした。
- ③ 新学習指導要領に対応した博物館を利用した学習カリキュラムに関する研究
 【担 当】大野将史
 【研究内容】博物館を利用した、今年度から実施された学習指導要領を生かした教科横断的な学習カリキュラムの開発を行う。
 【年度実績】今年度より改訂された小学校の教科書単元に対応する中央博本館の展示物について、教員向けの資料にまとめることで学校活用の推進を行った。

④ 学校と博物館との連携・「科学技術教育」普及に関する研究

【担 当】相原康平

【研究内容】千葉県内の学校と博物館との連携による新しい学習支援ネットワークの創造を目指し、千葉県の特性を活かした環境教育を中心に地域に開かれた博物館の実現に向けて調査研究を行う。

【年度実績】総合的な学習の時間に実施できる環境教育について、参考文献を調べることができた。児童生徒に意欲をもたせるためには、①疑問を抱かせる「問い」、②仲間と「共有する」場づくり、③「自分たちの考えを振り返らせ次の課題を見出す」この3点が大切であることが分かった。この3つのポイントを押さえ、当博物館にある千葉県の自然環境資料と中学校新学習指導要領とを結びつけた授業づくりを次年度の目標として活動していきたい。

(3) 普遍研究

ア 地球誌系（地形地質学的多様性に関する基礎研究）

① 日本産化石十脚甲殻類の分類と古生態

【担 当】加藤久佳

【研究内容】日本産十脚甲殻類化石の分類学的な記載を進め、化石の産状・共産する化石など古生態学的な情報もあわせて検討する。

【年度実績】県内下総層群の十脚甲殻類化石群、東京都五日市盆地の新第三系十脚甲殻類相、日本各地の新第三系産のコシオリエビ上科の分類学的検討などを行った。

② OSL年代測定法を用いた浅海堆積物の堆積過程の解明

【担 当】岡崎浩子・館外研究者

【研究内容】OSL（光ルミネッセンス）年代測定を下総台地に分布する下総層群に適用し、高精度の時間軸の入った堆積過程を明らかにする。

【年度実績】千葉県旭市～銚子市にかけての飯岡台地の堆積相と OSL 年代測定を行った。

③ 東北日本弧新第三紀火山活動の特質

【担 当】高橋直樹

【研究内容】東北日本弧の新第三紀火山活動に関して、特に珪長質火山活動の要因を探求することを目的とし、それらの時空分布、並びに、苦鉄質火山活動との成因的關係を中心に調査を進める。

【年度実績】房総半島南部の南房総層群に含まれる火山噴出物の調査を行い、火山豆石層が含まれる層準を中心に地質柱状図の作成を行った。

④ 微小化石に基づく貝類化石の分類及び古生態の研究

【担 当】伊左治鎮司

【研究内容】白亜系手取層群（福井県・石川県）の淡水生貝類化石および白亜系銚子層群（千葉県）の海生貝類化石について、未記載の微小種を中心に、その多様性を明らかにし、幼生生態や古生物地理を議論する。

【年度実績】白亜系銚子層群（千葉県）から産出する海生微小巻貝類について、6新種を含む12種を記載し、日本古生物学会英文誌 Paleontological Research に投稿・受理された。内容は2021年度に公開される予定である。

⑤ 東アジアを中心とした地域の新第三紀の貝類相の変遷

【担 当】黒住耐二

【研究内容】現生／考古遺跡／化石等の調査を行い、人間の貝類利用を含めて、包括的に変遷史を明らかにする。

【年度実績】今年度は、千葉県の東京湾側の縄文時代貝塚に関する2編、館山湾の現生貝類に関する1編、岩手県および熊本県の縄文貝塚に関する各1編、奄美諸島の遺跡に関する1編、沖縄の近代遺跡に関する1編、旧石器時代の貝類利用の総説1編、戦後期の学校標本に関する2編の論文等を執筆した。

⑥ 日本列島周辺の花粉・環境誌

【担 当】奥田昌明

【研究内容】化石花粉から古気候を復元するための基礎資料として、千葉県を含む日本列島とその周辺から表層土壌を収集し、現生花粉群を洗い出してデータ化する。

【年度実績】表記の研究課題を実施するための外部資金を得るために、令和3年度科研の申請書を作成し、基盤Cに応募した。

⑦ 日本周辺地域の地・植物学的研究

【担 当】小田島高之

【研究内容】地形や地質と植生分布との関連性について、デジタル標高モデルや空中写真、衛星画像等の様々なデータを用いて解析し、明らかにする。

【年度実績】上総丘陵の黒滝不整合が分布域について、植生調査を行い、地形や地質と植生分布との関連性について検討した。

⑧ 自然災害の地域性に関する研究

【担 当】八木令子

【研究内容】自然災害にはいろいろな種類があり、また地域によってその様相は異なる。今年度は、東北日本に分布する地すべり地形の形態分類を行い、それぞれのタイプの発生の地形地質条件、地すべり地形の形成時期などについて整理する。

【年度実績】地すべり地形の発達のタイプについて、調査地域では9つのタイプがあること、さらにこれらは①岩盤すべりで終了してしまう②岩盤すべりが岩屑すべりに移行する③初めから岩屑すべりや流動の3つの系列に分けられることが明らかになった。今後は他の地域でも適用できるか検証する。

⑨ 日本列島の最終氷期以降の植生変遷

【担 当】西内李佳

【研究内容】最終氷期（主に 2~3 万年前）から現在にかけての日本列島の植生変遷を、花粉や葉、種実の化石から明らかにする。

【年度実績】大気中における花粉の挙動について珪藻との比較を行い、共著論文を発表した。また、長崎県五島列島の氷期の植物化石から多様な針葉樹相を明らかにし、報告書を分担執筆した。

⑩ 前弧火成活動に関する地球化学的研究

【担 当】大木淳一

【研究内容】銚子半島に分布する火山岩の地球化学的特徴から、日本海形成時の前弧火成活動の成因を明らかにする。

【年度実績】銚子半島の 3 地域に分布する火山岩を調査し、各地域の記載岩石学および地球化学的特徴を明らかにした。

⑪ 化石種・現生種に見られるハクジラ類特有の左右非対称な内部形態の意義

【担 当】丸山啓志

【研究内容】ハクジラ類は脊椎動物の中でも珍しく左右非対称な内部形態（頭骨など）を有する。本研究では、幾何学的形態測定学的手法を用い、その非対称性を定量化し、その要因（機能形態学的・系統的など）を統計学的手法から明らかにする。

【年度実績】これまでに収集したハクジラ類の頭骨等のデータを基に解析を進め、公表の準備を進めた。

⑫ 人新世の生物学

【担 当】千葉友樹

【研究内容】干潟の堆積物（砂、泥、貝殻など）から、外来種の移入や人間活動が生態系に及ぼす影響を明らかにする。

【年度実績】未固結の堆積物を採取する道具（パイプロコアラ）を改良し、砂質干潟において表層から地下 2m までの堆積物の採取が可能になった。堆積物中のアサリの貝殻の放射性炭素年代を測定し、外来捕食者によるアサリの被害を明らかにした。

イ 生命誌系

(ア)分類学的多様性に関する基礎的研究

① 日本産エダヒゲムシ類の分類学的研究

【担 当】萩野康則

【研究内容】日本産エダヒゲムシ類は現在までに種名が確定しているのは約 30 種であるが、潜在的には 100 種以上が生息しているものと推定される。日本産本類を収集し調査研究し、多数の新種記載を含めて日本のファウナを明らかにする。

【年度実績】千葉県内を中心にエダヒゲムシ類約 100 個体をプレパラート化し、検鏡・同定した。また、全世界から記録のあるエダヒゲムシ類約 1000 種のデータベースおよびそれらが記載されている文献約 400 点のデータベースを補完した。これまでに作成したプレパラート標本の保存状態の確認を開始した。

② 十脚甲殻類の分類

【担 当】駒井智幸

【研究内容】全世界の十脚甲殻類を対象とした分類学的研究を行い、系統学的研究や生物多様性研究への基盤整備に貢献する。今年度は、深海生物の環境 DNA メタバーコーディング技術開発に向けて、深海性種のリファレンスデータの蓄積を進める。

【年度実績】環境研究推進費によるプロジェクトに係わる野外調査として海洋研究開発機構学術研究船「かいめい」の KM20-10 航海に参加した。調査では、西七島海域の海山において ROV 潜航による生物採集と、CTD を用いた環境 DNA 分析用の採水を実施した。採集した十脚甲殻類の標本を検討し、DNA の抽出を行った。十脚目甲殻類の分類に関わる論文 13 編（英文）を公表し、13 の論文（英文 12 編、和文 1 編）を新たに投稿した。

③ 地衣類の多様性に関する研究

【担 当】原田 浩・坂田歩美・共同研究員・市民研究員

【研究内容】主として日本および周辺地域を対象として、アナイボゴケ科を中心とする地衣類の分類・分布、化学成分等に関する研究を行う。今年度は、(1) 日本地衣類誌の編纂、(2) 海岸など特殊環境に生育する地衣類の多様性解明、(3) 東アジア産（主に中国雲南省）地衣類の分類学的研究、等。共同研究員、市民研究員、館外研究者と協力して実施する。

【年度実績】日本の海岸生地衣類の種多様性解明を昨年度から継続し、被果地衣類について論文を公表、ラン藻地衣のモツレノリについて間もなく公表（印刷中）、ダイダイゴケ科等についてまとめつつある。日本産地衣類としては、レブラゴケの分類等について明らかにした。被果地衣類ではキヨスミゴケ属の 1 新種を記載（投稿）、ラン藻地衣では小笠原諸島産の一種を新種記載（印刷中）、高知県産の日本新産種についてまとめた（投稿）。

④ 日本産リトマスゴケ科地衣類の分類学的研究

【担 当】坂田歩美

【研究内容】日本産リトマスゴケ科について形態・DNA 塩基配列・含有成分に基づいて分類学的検討を実施する。

【年度実績】日本産海岸生クチナワゴケ属について、分子系統と形態、含有化学成分から分類学的検討を実施した（論文準備中）。

⑤ バラ属種間交雑種の研究

【担 当】御巫由紀

【研究内容】バラ属植物のうちノイバラ節野生種の種間交雑について、現地調査及び標本・文献調査により全容を明らかにする。

【年度実績】圏内のアズマイバラとノイバラの交雑種について調査した。また、コハマナス、テリハコハマナス等、ノイバラ節とハマナス節の交雑種についても調査し雑誌の記事として公表した。

- ⑥ カミキリムシ科甲虫の分類
 【担 当】 齊藤明子
 【研究内容】 アジア産を中心とするカミキリムシ類についての分類学的な研究を行う。
 【年度実績】 スラウェシ島産 *Eustathes* の標本を精査したところ、同島中部および南東部の個体群は、体形、鞘翅の毛などの点で、南部に生息する既知種の個体群と異なることが判明し、詳細を研究中である。
- ⑦ 環境 DNA メタバーコーディング法の改良・開発
 【担 当】 宮 正樹・共同研究員
 【研究内容】 環境 DNA メタバーコーディング法（同時並列多量分析）を深海性魚類の検出に適用できるように実験法を開発する。また、日本各地のさまざまな生態系に本手法を適用し、魚類群集の時空間動態を明らかにする。
 【年度実績】 深度 612m から組み上げられた久米島深層水を利用して、深海性魚類検出のための実験法の至適化を行った。新たな DNA 複製酵素と DNA 抽出法を用いることにより、検出感度を高めることに成功した。この成果を論文として発表すると共に、西七島海嶺の四つの海山から得られた二つの水深帯の計 8 サンプルをもとに環境 DNA メタバーコーディング分析を行ったところ、すべての地点から深海性魚類を検出することに成功した。
- ⑧ アジアの低緯度地域における有鱗目の多様性に関する研究
 【担 当】 栗田隆気
 【研究内容】 アジアの低緯度に広がる湿潤熱帯・亜熱帯地域において、トカゲ・ヘビの仲間（有鱗目）が種を多様化させたプロセスを分類、系統、集団遺伝、生態など、様々な情報に基づいて明らかにする。
 【年度実績】 熱帯に分布する胎生のトカゲについて近縁なグループを含めた系統推定と祖先形質復元を行い、卵生から胎生への移行を可能とした生態的要因に関する仮説を発表した (Kurita et al. 2020. Syst. Biodivers. 18: 675-687)。
- ⑨ 鯨類の寛骨および後肢痕跡に関する形態学的研究
 【担 当】 宮川尚子
 【研究内容】 鯨類の退化した寛骨と後肢骨格に関する情報は非常に少ない。そこで、本研究では鯨類の寛骨および後肢痕跡の形態学的な研究を行い、種ごとの特徴を明らかにすると共に、鯨類の後肢退化過程の解明に寄与する。
 【年度実績】 座礁鯨類 3 個体の寛骨を回収した。
- ⑩ 高山帯における植物分類学的研究
 【担 当】 天野 誠
 【研究内容】 高山帯には、特異な種分化を遂げた分類群が数多く存在する。その分化の様式は一様ではない。ユーラシア大陸の東のはずれに位置する日本の植物相を明らかにするためにも、北半球の高山帯及び寒帯の植物相の調査は欠かせない。本研究は、高山帯で多様に分化した分類群を生物地理学的観点も含めて、研究するものである。
 【年度実績】 ユーラシア各地の標本を少なくとも属までは同定し、ラベルを作成した。仮登録までできた標本は、2,677 点で、内訳は以下の通りである。アイスランド 395 点、ノルウェー 102 点、ドイツ 318 点、フランス 271 点、コーカサス 398 点、イタリア 102 点、ギリシア 161 点、スイス 213 点、モナコ 3 点、オーストリア 689 点、スペイン 17 点、タイ 8 点である。
- ⑪ アジア太平洋地域におけるコケ植物の分類学的研究
 【担 当】 古木達郎・共同研究員
 【研究内容】 千葉県と関係が深いアジア・太平洋地域に生育するコケ植物の多様性を探り、系統分類学的な研究を推進する。
 【年度実績】 日本産フタバムチゴケ *Bazzania bidentula* の分類学的研究を行い、日本産は本種と *B. parabidentula* の 2 種に分けられることを明らかにし、学会発表を行った。
- ⑫ 糞ハンズ・オン標本の研究
 【担 当】 丸山啓志
 【研究内容】 館外研究者とともに、様々な動物の糞ハンズ・オン標本を作成し、形態学的研究を進める。また、従来失われていた糞中の未消化物の 3 次元データを CT スキャンや薄片観察により、取得する。併せて、安心安全な運用のできる教育普及活動への活用も推進する。
 【年度実績】 これまで採集した糞の標本化をすすめた。併せて、千葉県動物公園で、これまで未採集であったチーターやブチハイエナの糞の採集を行い、標本化をすすめた。
- ⑬ 特殊環境に生える大型菌類
 【担 当】 吹春俊光
 【研究内容】 アジアとその周辺地域の、特殊環境に生える菌類（糞生菌類など）に関する多様性を調査し、日本列島の菌類相の成り立ちと由来をさぐる。
 【年度実績】 日本菌学会第 64 回大会で、本研究に関連する研究「アンモニア菌の複合種ザラミノヒトヨタケの生物地理的分布と関連する新種 1 種」について発表をおこなった。
- ⑭ ナガカメムシ上科の分類学的研究
 【担 当】 伴 光哲
 【研究内容】 数多くの分類学的な問題が残されている東アジア～東南アジアのナガカメムシ上科について分類学的研究を行い、生物多様性保全の基盤整備および応用利用に向けた有用種の探索に貢献する。
 【年度実績】 3 編の原著論文、7 編の和文短報が公表された。うち 1 編の内容について、「国内初記録の外来昆虫クロマダラナガカメムシ」と題した研究紹介ミニトピックス展を実施し、研究成果について展示を介して県民に広く公表した。

(イ) 生態学的多様性の維持機構に関する基礎的研究

- ① 干潟に生息するカニ類の生態学的研究
【担 当】高山順子
【研究内容】干潟に生息するカニ類について、個体群特性や社会行動を明らかにし、その重要性や進化に関する研究を行う。
【年度実績】干潟に生息するカニ類は、内湾に形成される流動的環境である干潟に巣穴を掘って生息する場合が多いが、比較対象環境としての砂浜に着目し、同様に巣穴を掘り生息するスナガニ類の生態を調査した。
 - ② 磯の生物群集の生態学的研究
【担 当】村田明久
【研究内容】岩礁潮間帯において、主に付着生物を対象に、生物群集の地理的変異や長期的な動態を研究する。
【年度実績】継続して行っている鴨川市でのモニタリング調査を実施し、取りまとめを行った。また、今後の比較調査のため、県内数カ所の海岸で予備的な調査を行った。
 - ③ シダ植物の生育環境の多様性に関する研究
【担 当】水野大樹
【研究内容】シダ植物が生育する環境を、微地形や周囲に生育する植物との相互作用の観点から調査し、定着メカニズムの解明を目指す。
【年度実績】本来は岩上に生育するコバノヒノキシダが、排水溝の壁面において生育しているのを発見した。市街地ではほとんど見られなかった分類群のシダ植物が、人工的な環境に適応して生育していることが明らかになった。
 - ④ ヤドリギ類の生態学的研究
【担 当】尾崎輝雄
【研究内容】半寄生植物のヤドリギ類（ヤドリギ、オオバヤドリギ、マツグミ、ヒノキバヤドリギ、ホザキヤドリギ等）の分布、生態について生態学的、生物地理学的視点から研究を行う。
【年度実績】県内のヤドリギ分布調査を実施し、新たな個体を追加した。また、ヤドリギの種子散布に関与するヒレンジャクの観察を行った。
 - ⑤ 遷移初期における風の影響
【担 当】由良 浩
【研究内容】火山荒原や大規模造成地のような母岩が露出しているような大規模な土地から始まる1次遷移は、すぐに草地になる2次遷移と比較して風の影響を受けやすいことが考えられる。1次遷移の初期において、風が遷移の進行等にどのような影響を及ぼすのかを明らかにする。
【年度実績】富士山で行っている調査のデータをまとめて、論文の執筆を行っているが、いくつかの補足データを取る必要が出てきた。来年度も引き続き現地で調査を行う予定である。
 - ⑥ 水位攪乱・かいぼり等による水環境保全技術の検証
【担 当】林 紀男
【研究内容】水位攪乱、かいぼりなどによる池の水環境保全について、その機構を解明する。併せて埋土種子等の散布体を用いて土着株による水辺植生の再生に向けた取り組みについて、地域特性に応じた留意事項を検証する。
【年度実績】ため池等において人為的水位攪乱などを水環境保全に役立てる上での水生植物の機能性に着目した検証を実施した。本法の障害となる侵略的外来水生植物の影響について、北総から九十九里地域に拡散した侵略的外来水生植物の現状を把握できた。
 - ⑦ 沿岸域における人間活動が生態系に及ぼす影響
【担 当】平田和彦
【研究内容】漁業や洋上風力発電をはじめとする沿岸域の人間活動が生態系に及ぼす影響について、最高次捕食者である海鳥の行動生態を目視やバイオロギングにより観察することで、行動生態学ならびに保全生態学の観点から検討する。
【年度実績】コロナによる県外出張自粛により、科研費【20K15588】による現地調査を行うことができなかった。一方で、調査機材の調達など、自粛解除後に速やかに調査を実施できるよう準備を進めた。
 - ⑧ シギ・チドリ類の越冬生態、特に個体数変動に関する研究
【担 当】桑原和之
【研究内容】チドリ目の越冬期の生態に関して、チドリ科、シギ科に属する種を中心に生態的な基礎研究を行なう。シギ・チドリ類の個体数の変動は、気象状況や捕食者に大きく影響をうけるので、これらの記録も現地調査で収集し、解析する。
【年度実績】海岸部、特に東京湾岸におけるチドリ科、シギ科の個体数の季節的変化を現地調査により収集した。
- ウ 人類誌系（景観史という新領域の創出）
- ① 寺院伝来の聖教に関する研究
【担 当】植野英夫
【研究内容】寺院が歴代にわたり書写・伝授し襲蔵してきた聖教について調査し、教相・事相及び僧俗にわたる文化形成を考察する。
【年度実績】県内の霊跡・由緒寺院に関連する縁起写本の調査・筆写を実施し、縁起の流布に伴う創建譚の変容・霊験の深化事例を収集した。
 - ② 民俗文化の伝播と伝承について
【担 当】小林裕美

【研究内容】講の行事、祭礼など民俗行事の変遷や地域による差異に着目し、民俗文化の伝播や伝承の在り方について考察を進める。

【年度実績】お浜降りを伴う祭礼について文献調査・現地調査を行い、房総のお浜降り習俗の地域性と普遍性について考察を進めた。

③ 縄文時代の集落遺跡について

【担 当】高梨友子

【研究内容】集落の構造について埋葬のあり方に着目して検討を加え、環状貝塚や環状盛土遺構などの意味等について考察する。

【年度実績】県内における大規模な集落遺跡について情報収集を行い、改めてその意義について、検討した。

④ 人間と動物の関わりの歴史について

【担 当】田邊由美子

【研究内容】遺跡から出土する動物遺存体等を用いて、当時の人々と動物との関わりについて研究する。

【年度実績】遺跡から出土した動物遺存体や人骨資料について分析・研究した成果を、企画展の内容に盛り込み、発表・解説した。

⑤ 関東平野における明治10年代の土地利用に関する研究

【担 当】白井 豊

【研究内容】迅速測図を基礎的資料として、関東平野全域の土地利用を約2kmメッシュのオーダーで把握する。明治10年代の土地利用の意義を知る目的から近世の都市・信仰的中心地や交通の状況なども可能な限り把握する。その際には近世の道標を初めとする石造文化財や古文書を資料とする場合もある。

【年度実績】迅速測図による土地利用把握は、埼玉県北西部について地図の着色作業を継続した。迅速測図の視図（風景スケッチ）から景観を探る試みについては千葉県印旛郡域で継続するとともに、千葉郡域の一部を加えて、現在地の特定と視図内容の検討を進めた。特に視図にある石造文化財に関する文献調査を行った。

⑥ 定期市からみる人と自然のかかわりについて

【担 当】島立理子

【研究内容】定期市で販売されている商品を手がかりに、人が自然とどのようにかかわりあってきたかについて考察する。

【年度実績】勝浦の朝市において、房総丘陵に自生している植物がどのように販売されているかの調査を行った。その結果、植物によっては、畑に移植をして半栽培をおこなうことによって、継続的に販売できるようにしていることがわかった。

⑦ 文献史料による中世儀礼と身分秩序の研究

【担 当】小出麻友美

【研究内容】古文書、古記録といった文献資料を用い、中世の公家・武家社会双方における儀礼の発達と身分秩序の形成過程について考察する。

【年度実績】『吾妻鏡』、『明月記』をはじめとする鎌倉期の同時代史料から、東国と西国における身分秩序の差異と、京都における儀礼に関する価値観がどのように影響を与えたのかについて検討した。

エ 博物館誌系（博物館の歴史および機能の充実・発展に関する基礎的研究）

① 持続可能な社会のための教育と博物館

【担 当】林 浩二

【研究内容】国際的にまた国内でも関心を集めている「持続可能な社会のための教育」に、博物館として何ができるか、具体的な活動から探る。

【年度実績】持続可能な開発のための教育（ESD）および深く関係している「国連持続可能な開発目標（SDGs）」について、館種を問わず博物館における対応を調べている。台湾での地域博物館と環境教育のオンライン会合で基調講演の一つを依頼されて発表・意見交換し、改めて「エコミュージアム」の可能性について考える機会となった。国内でも日本環境教育学会・動物園水族館教育研究会等に参加して意見交換してきた。

② 博物館における哺乳類の3D資料の収集・保存の意義と活用：クジラを例に

【担 当】宮川尚子

【研究内容】現生哺乳類分野における3D技術の有用性についてクジラをモデル生物として検証し、新たな研究・教育手法の確立を目指す。

【年度実績】3Dプリントを利用した講座を実施した。春の展示「九十九里浜の自然誌」においても3D技術を用いて作成した座礁現場の縮小模型を展示。展示博物館活動における3D技術の有用性について中央博研究報告に事例報告を執筆した。

③ 明治期から戦前にかけて収集された標本の保管状況と保存環境

【担 当】下稲葉さやか

【研究内容】日本では、明治期に近代的動物学が欧米より取り入れられて以降、多くの標本が制作・蓄積されてきたが、戦前に収集された重要な標本が現在では行方不明になっている場合も見受けられる。戦前に収集された哺乳類標本の現在の保管状況を調査し、それらの標本の収集・移管・損失の経緯を明らかにする。くわえて、その保存環境を検討する。

【年度実績】国内外の明治期から戦前にかけて収集された哺乳類標本に関して、これまでに収集した情報を解析した。その結果、明治期には日本から欧米に多数の哺乳類標本が送られ、明治末期から日本人による標本収集が始まり、昭和初期には日本人による体系的な標本の管理が始まった流れが明らかになった。その一部を、報告書にまとめた。

④ 展示や展示物のイメージに関する基礎的研究

【担 当】丸山啓志

【研究内容】来館者が展示や展示物に対して抱くイメージを知ることは、企画展や常設展更新を検討する上で有用である。また、幅広い層の来館者の満足度を上げる工夫を考える場合の指針となる。本研究では、①展示の第一印象とイメージの変遷に関する研究、②いろいろな来館者にやさしい展示に関する研究、③“クジラ・イルカ”を例とした展示物に対する研究の3つの課題を基に館外研究者と協力し多角的に取り組む。

【年度実績】①これまで収集したデータの再解析を行った。②新型コロナウイルス感染拡大に対する対応について情報収集を行い、検討した。③学芸員養成課程の大学生を対象としたイメージ調査についてまとめ、発表した。

2 外部資金等による研究

(1) 文部科学省科学研究費補助金による研究

ア 研究代表者

- ① 明治期から戦後期にかけての哺乳類標本の製法と保存環境への影響に関する研究
【担 当】下稲葉さやか
【研究種目／審査区分／開始年度／期間】若手研究／一般／令和元年度／3年間
- ② 多地点・高頻度環境 DNA 観測に基づく魚類群集構造の変動様式と形成・維持機構の解明
【担 当】宮 正樹
【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(B)／一般／令和元年度／4年間
- ③ 総合博物館の特性を活かした古写真データベースの作成とその活用
【担 当】小田島高之
【研究分担者】島立理子
【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(C)／一般／平成29年度／4年間
- ④ 五百沢式鳥瞰図と各種主題図との融合による地理景観教材の開発と博物館における活用
【担 当】八木令子
【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(C)／一般／平成29年度／4年間(1年延長)
- ⑤ 博物館における哺乳類の3D資料の収集・保存の意義と活用：クジラを例に
【担 当】宮川尚子
【研究種目／審査区分／開始年度／期間】若手研究／一般／令和元年度／4年間
- ⑥ 房総半島南部における最終氷期末期以降の照葉樹林の分布拡大に黒潮が与えた影響
【担 当】西内李佳
【研究種目／審査区分／開始年度／期間】研究活動スタート支援／一般／平成30年度／3年間(1年延長)
- ⑦ 黒姫山における最終氷期末期以降のオオシラビソ林形成過程に湿地が果たした役割
【担 当】西内李佳
【研究種目／審査区分／開始年度／期間】若手研究／一般／令和2年度／4年間
- ⑧ 日本沿岸の多様な漁法が海鳥に及ぼす影響—原発事故からの漁業復旧に着目して
【担 当】平田和彦
【研究種目／審査区分／開始年度／期間】若手研究／一般／令和2年度／4年間

イ 研究分担者（当館職員が研究代表者である研究課題は、ア 担当にまとめた）

- ① 朝鮮海出漁の歴史とその文化的影響の研究—イワシをめぐる韓国の民俗変化
【研究分担者】島立理子
【研究代表者】松田睦彦（国立歴史民俗博物館）
【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(B)／一般／平成29年度／4年間
- ② 古琉球帝国からみた東アジア海域世界の流動的様態と国家
【研究分担者】小出麻友美
【研究代表者】村木二郎（国立歴史民俗博物館）
【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(A)／一般／平成30年度／3年間
- ③ 関東平野の高分解能 OSL 年代層序による地殻変動レジームシフトの解明
【研究分担者】岡崎浩子
【研究代表者】田村 亨（国立研究開発法人産業技術総合研究所）
【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(B)／一般／令和2年度／5年間
- ④ 変動帯の文化地質学
【研究分担者】高橋直樹
【研究代表者】鈴木寿志（大谷大学）
【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(B)／一般／平成29年度／4年間
- ⑤ 小規模島嶼における文化適応と潜在性の考古学的研究
【研究分担者】黒住耐二
【研究代表者】新里貴之（鹿児島大学）
【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(B)／一般／平成30年度／4年間
- ⑥ 日本列島における製塩技術史の解明
【研究分担者】黒住耐二
【研究代表者】阿部芳郎（明治大学）
【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(A)／一般／平成31年度／4年間

- ⑦ 浜堤の考古学－瀬戸内海島嶼部における海岸利用史の研究－
 【研究分担者】黒住耐二
 【研究代表者】槇林啓介（愛媛大学）
 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究e／一般／平成31年度／4年間
- ⑧ 貝塚時代土器文化の起源と動植物遺体からみた食性・環境の基礎的研究
 【研究分担者】黒住耐二
 【研究代表者】高宮広土（鹿児島大学）
 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(C)／一般／平成30年度／3年間
- ⑨ 石材劣化リスクの高い地衣類とその遺伝的系統に関する研究
 【研究分担者】原田 浩
 【研究代表者】河崎衣美（榎原考古学研究所）
 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】挑戦的研究(萌芽)／一般／令和2年度／3年間
- ⑩ DNA塩基配列情報に基づく文化財害虫の新規データベース構築
 【研究分担者】斉藤明子
 【研究代表者】佐藤嘉則（国立文化財機構東京文化財研究所）
 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(C)／一般／平成30年度／3年間
- (2) その他の助成金による研究
 ア 研究代表者
- ① 堆積物中の貝殻を用いて外来肉食性巻貝による水産有用二枚貝の食害を解明する
 【担 当】千葉友樹
 【助 成 名】笹川科学研究助成
 【期 間】令和2年
- ② SⅡ-7-2 深海大型生物相の環境 DNAによるモニタリング法の開発（脊椎動物における調査方法の開発と実践ならびに基盤データの整備）
 【担 当】宮 正樹
 【助 成 名】環境省・総合研究推進費 自然共生領域（環境問題対応型） 令和2年度環境研究総合推進費 戦略的研究開発（Ⅱ）SⅡ-7 新たな海洋保護区（沖合海底自然環境保全地域）管理のための深海を対象とした生物多様性モニタリング技術開発
 【期 間】令和2～4年度
- イ 研究分担者
- ① 環境DNAを用いた深海性大型動物物のモニタリング法の開発と実践，ならびに基盤データの整備 サブテーマ2：無脊椎動物における調査方法の開発と実践，ならびに基盤データの整備
 【研究分担者】駒井智幸
 【研究代表者】源 利文（神戸大学）
 【助 成 名】環境省・総合研究推進費 自然共生領域（環境問題対応型） 令和2年度環境研究総合推進費 戦略的研究開発（Ⅱ）SⅡ-7 新たな海洋保護区（沖合海底自然環境保全地域）管理のための深海を対象とした生物多様性モニタリング技術開発
 【期 間】令和2年～令和4年度
- ② 海洋DNAデータ解析技術の開発と実運用（魚類DNAデータ解析技術の開発・魚類ミトコンドリアゲノムデータベース（MitoFish）の拡充）
 【研究分担者】宮 正樹
 【研究代表者】浜崎恒二
 【助 成 名】海洋資源利用促進技術開発プログラム 海洋情報把握技術開発「海洋生物遺伝子情報の自動取得に向けた基盤技術の開発と実用化」
 【期 間】令和元年度～令和4年度
- ③ 両生爬虫類をモデルとした希少種選定の基礎資料整備と保全対象種の簡易同定法の確立およびそれらのワークフローの提案
 【研究分担者】栗田隆気
 【研究代表者】戸田 守（琉球大学）
 【助 成 名】環境研究総合推進費
 【期 間】令和2年度～令和5年度
- ④ 「古福江湖」の生い立ちを探る－山内盆地に分布する湖成堆積物と段丘－
 【研究分担者】西内李佳
 【研究代表者】近藤玲介（東京大学大気海洋研究所）
 【助 成 名】五島列島ジオパーク構想活動支援助成金
 【期 間】令和2年度
- (3) 他機関との共同研究
 ア 研究分担者
- ① ゲノム配列を核としたヤポネシア人の起源と成立の解明；考古学データによるヤポネシア人の歴史の解明
 【研究分担者】黒住耐二
 【機 関 名】国立歴史民俗博物館

【期 間】 令和 2 年

- ② 土器を掘る；A01 班：土器に残る動植物痕跡の形態学的研究

【研究分担者】 黒住耐二

【機 関 名】 東京大学

【期 間】 令和 2 年

- ③ 定期市からみた地域の生活文化の歴史と多様性に関する研究

【研究分担者】 水野大樹

【機 関 名】 国立歴史民俗博物館

【期 間】 令和 2 年

3 研究成果の公表・周知

- (1) 自然誌シンポジウム

学問の発展に寄与すると共に、研究成果の県民への還元を図るため、令和2年度企画展「ちばの縄文」と関連させて実施した。新型コロナウイルス感染症対策のため、講師の対談による映像を編集し、企画展期間中に上映会を実施した。

「縄文文化とその魅力」 講師：小林達雄氏（國學院大學名誉教授）・岡本東三氏（千葉大学名誉教授）

11月3日（火・祝）13時30分～14時15分

11月28日（土）12時～12時45分、15時～15時45分

12月10日（木）13時30分～14時15分

- (2) 中央博セミナー（会場：本館講堂）

新型コロナウイルス感染対策のため実施されなかった。

- (3) 自然誌フェスタ千葉

新型コロナウイルス感染対策のため実施されなかった。

- (4) 研究報告の発行

ア 発行 千葉県立中央博物館研究報告 15巻2号 2021年3月31日発行

イ 目次

- ① 吉村光敏・八木令子：養老川中流，市原市田淵の地磁気逆転地層露頭周辺の地形景観とその成り立ち. pp. 61-72
- ② 高山順子：千葉県立中央博物館生態園舟田池におけるモクズガニ *Eriocheir japonica*（十脚目：短尾下目：モクズガニ科）の記録. pp. 73-76
- ③ 鎌田泰斗・富田健斗・伊藤玲駆・平田和彦・関島恒夫：千葉県東京湾奥部におけるクロアジサシ *Anous stolidus* の記録. pp. 77-80
- ④ 宮川尚子：COVID-19（新型コロナウイルス感染症）感染拡大防止対策下の博物館活動における 3D プリントの有用性の検討. pp. 81-85
- ⑤ 古木達郎：生態園のコケ植物，30年の変遷. pp. 87-97
- ⑥ 坂田歩美・原田 浩：千葉県産の地衣類(11). 千葉県新産の *Cladonia rappii* ヒメヤグラゴケ. pp. 99-105
- ⑦ 吹春俊光：絵葉書や浮世絵などでたどる房総のきのこ文化 -房総で何故ハツタケが愛されているのか?- pp. 107-127
- ⑧ 黒住耐二：学校標本をどのように取り扱うべきなのか？ -千葉県睦沢中学校の貝類標本を例として- pp. 129-137
- ⑨ 奥田昌明：平成30年度から令和2年度における入館者数の統計解析 -中央博物館の来館者変遷の傾向およびコロナ禍の影響など- pp. 139-157
- ⑩ 田川裕美・高橋 覚：幕末下総の名主家文書にみる初茸贈答. pp. 159-163

4 研究員の執筆・研究発表

- (1) 執筆

※中央博物館メールマガジン及び海の博物館メールマガジン『海からのたより』連載への執筆は、「V情報の発信 2

(2) イ. メルマガコラム」を参照のこと。

【副館長】

植野英夫

学術報告書

・植野英夫. 2021. 尾垂観音一尾垂観音新隆寺の百観音一 In: 横芝光町教育委員会(編), 尾垂観音調査報告書. pp. 1-2. 横芝光町教育委員会. 横芝光町.

【庶務部】

【教育普及課】

古木達郎

学術論文・学術書

・古木達郎. 2021. 生態園のコケ植物，30年の変遷. 千葉県立中央博物館研究報告. 15(2): 87-97.

・古木達郎. 2020. 新・コケ百選 第21回ウキゴケ科. 蘚苔類研究. 12(4): 106-117.

白井 豊

普及書

・白井 豊. 2021. 海岸の埋め立て；漁業と海辺の生活；海水浴と潮干狩り. In: しなのき書房(編). 写真が語る 千葉市の100年. pp. 144, 174, 186. いき出版. 長岡市.

桑原和之

学術報告書

- ・平田豊治・桑原和之. 2020. 野田山ラインセンサス結果 2015 年. In: 日本野鳥の会石川(編). 石川野鳥年鑑 2015. pp. 83-84. 金沢市.

普及書

- ・桑原和之・糠谷 隆・齊藤敏一・箕輪義隆・隈部 修. 2021. いきもの調査隊報告 9. たかっぼ通信. (13): 2-3.

下稲葉さやか

学術報告書

- ・下稲葉さやか. 2020. 日本近代動物学初期に収集された哺乳類学標本の内容と行方. 科学研究費助成事業研究成果報告書.

丸山啓志

学術論文・学術書

- ・橋本佳延・鬼本佳代子・丸山啓志・高尾戸美・邱 君妮. 2021. 博物館における総合的な新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン策定の提案. 博物館研究. 56(2): 25-28.

千葉友樹

普及書

- ・千葉友樹. 2020. 千葉県の希少種 シオヤガイ. 生命のにぎわいとつながり(生物多様性ちばニュースレター). (66): 4.
- ・千葉友樹. 2020. 房総丘陵の動植物(18). しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター). (70): 3.

【企画調整課】

島立理子

学術論文・学術書

- ・島立理子・季 智喜. 2020. 魚屋の店先にみる日韓の魚食文化. 国立歴史民俗博物館研究報告. 221: 83-99.

普及書

- ・島立理子. 2021. 思い出の建物群他. In: しのき書房(編). 写真が語る 千葉市の 100 年. pp. 67, 95, 107, 153, 271. いき出版. 長岡市.

吹春俊光

学術論文・学術書

- ・吹春俊光. 2021. 絵葉書や浮世絵などでたどる房総のきのこ文化 -房総で何故ハツタケが愛されているのか-. 千葉県立中央博物館研究報告. 15(2): 107-127.

普及書

- ・吹春俊光. 2020. Mushroom Postcards. 40 pp. PIE International Inc. China.
- ・吹春俊光. 2020. 22 ヒトヨタケ; 82 ショウロ; 89 アミタケ. In: 日本菌学会(編). 日本菌類百選. pp. 23, 83, 90. 八坂書房. 千代田区.
- ・吹春俊光. 2020. 毒キノコ 8 選. In: サバイバル読本 SAKURA MOOK16. pp. 110-111. 笠倉出版社. 台東区.
- ・吹春俊光. 2020. きのこの自然誌一眉刷茸と弘法筆一. 季刊きのこ. (37): 15-16.
- ・吹春俊光. 2020. きのこの自然誌一きのこに寄生する菌類(その 2). 季刊きのこ. (38): 15-16.
- ・吹春俊光. 2020. きのこの自然誌一房総で愛されるハツタケ(その 2). 季刊きのこ. (39): 15-16.
- ・吹春俊光. 2021. きのこの自然誌一ノートゲルト 困ったときもきのこのことを考える一. 季刊きのこ. (40): 15-16.
- ・大作晃一・吹春俊光・吹春公子. 2020. 288 pp. 实用野生菌類鑑別宝典. 中国轻工业出版社. 北京.

小出麻友美

学術報告書

- ・池谷初恵・小野正敏・岩元康成・小出麻友美・佐々木建策・村木二郎. 2021. 中世琉球における貿易陶磁器調査報告 I. 国立歴史民俗博物館研究報告. 226: 43-84.
- ・佐々木建策・小出麻友美・池谷初恵・小野正敏・村木二郎. 2021. 沖縄県竹富町波照間島ミシユク村跡遺跡の調査. 国立歴史民俗博物館研究報告. 226: 13-42.

普及書

- ・小出麻友美. 2020. 東国武士と京都の文化一官職・武芸・和歌一. In: 千葉県立郷土博物館(編). 令和 2 年度 千葉氏公開市民講座 講演録 武家社会確立期の権力と権威一千葉氏をはじめとした東国武士の動向から読み解く一. pp. 16-26. 千葉県立郷土博物館. 千葉市.
- ・小出麻友美. 2021. 八重山における仏教. In: 国立歴史民俗博物館(編). 国立歴史民俗博物館 特集展示 海の帝国琉球 一八重山・宮古・奄美からみた中世一. p. 95. 国立歴史民俗博物館. 佐倉市.

伴 光哲

学術論文・学術書

- ・Ban, T. and R. Nakamura. 2020. A new record of exotic seed bug *Nerthus taiwanicus* (Heteroptera: Lygaeoidea: Heterogastridae) from Japan. Japanese Journal of Systematic Entomology. 26(2): 216-217.
- ・Ban, T. and J. Souma. 2020. *Sphragisticus nebulosus* (Heteroptera: Lygaeoidea: Rhyparochromidae) new to the fauna of Japan. Japanese Journal of Systematic Entomology. 26(1): 144-145.
- ・伴 光哲. 2020. ヒラシマナガカメムシの関東地方からの分布初記録. 昆虫ニューシリーズ. 23(2): 59-60.
- ・伴 光哲. 2020. 千葉県におけるハマベナガカメムシの追加記録. 房総の昆虫. 66: 43.
- ・伴 光哲. 2020. 神奈川県におけるツツイナガカメムシの記録. 神奈川虫報. 202: 42.
- ・城田義友・伴 光哲. 2020. 大福山で採集した有剣類 3 種. 房総の昆虫. 67: 71.
- ・伴 光哲・高野直也. 2020. 千葉県における外洋性ウミアメンボの分布新記録. 房総の昆虫. 67: 89.
- ・伴 光哲. 2020. 1990 年代に大多喜町で採集されたダルマキノコカスミカメの記録. 房総の昆虫. 67: 89.
- ・伴 光哲. 2020. 千葉県立中央博物館生態園で確認された注目すべきカメムシ亜目 3 種. 房総の昆虫. 67: 89-90.

普及書

- ・伴 光哲. 2020. 房総丘陵の動植物(17)カメムシの分布から、房総丘陵の成り立ちを考える. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター). 69: 3.
- ・伴 光哲. 2020. 今月のむし セアカオサムシ. 月刊むし. 591: 2.
- ・伴 光哲. 2021. 千葉県の外來種 クスベニヒラタカスミカメ. 生命のにぎわいとつながり(生物多様性ちばニュースレター). 69: 4.

【自然誌・歴史研究部】

【部長】

萩野康則

普及書

- ・萩野康則. 2021. アリとアリ研究の魅力が語られた本「アリ語で寝言を言いました」の紹介. だろのむし通信. (75): 7-10.
- ・萩野康則. 2021. 土壤動物が出てくる子どもの本情報(12). ガロアムシの絵本の紹介. だろのむし通信. (75): 11-12.

【地学研究科】

高橋直樹

学術論文・学術書

- ・Momma K., T. Ikeda, T. Nagase, T. Kuribayashi, C. Honma, K. Nishikubo, N. Takahashi, M. Takada, Y. Matsushita, R. Miyawaki and S. Matsubara. 2020. Bosoite, a new silica clathrate mineral from Chiba Prefecture, Japan. Mineralogical Magazine. 84: 941-948.
- ・柴田健一郎・野崎 篤・高橋直樹・笠間友博・西澤文勝・田口公則. 2021. 三浦半島の新第三系と第四系: 付加体-外縁隆起帯-前弧海盆堆積物. 神奈川県立博物館調査研究報告(自然科学). (16): 69-106.

普及書

- ・高橋直樹. 2021. 山形・千葉の新第三系・第四系と「チバニアン」. 山形応用地質. (41): 66-67.
- ・高橋直樹. 2020. 令和2年度 ミニトピックス展「習志野隕石!」解説シート. 千葉県立中央博物館. 千葉市.

伊左治鎮司

普及書

- ・伊左治鎮司・大倉正敏. 2021. 岐阜県福地地域の石炭紀後期の石灰岩から発見された微小巻貝類. 化石. 109: 29-30.

【動物学研究科】

駒井智幸

学術論文・学術書

- ・Komai T. 2020. *Turleania rubriguttatus*, a new species of pagurid hermit crab (Decapoda: Anomura: Paguroidea) from shallow water in Japan, with notes on *T. senticosa* (McLaughlin & Haig, 1996). Zootaxa. 4834(1): 96-106.
- ・Komai T. 2020. A new species of pagurid hermit crab assigned to the genus *Kumepagurus* Komai & Osawa, 2012 (Decapoda: Anomura: Paguroidea) from the Kaikata Seamount, Izu-Ogasawara Arc, Japan. Zootaxa. 4858(2): 241-250.
- ・Komai T. 2020. First record of *Bouvieraxius keiensis* Sakai, 1992 and *Manaxius aurantiaca* n. sp. (Decapoda: Axiidea) from the waters around the Ogasawara Islands, Japan. Zootaxa. 4869(3): 369-386.
- ・Komai T. 2020. Redescription of a poorly known upogebioid mud shrimp *Gebiacantha acanthochela* (Sakai, 1967) and description of a new species of the genus from the Ryukyu Islands, Japan (Decapoda: Gebiidea). Zootaxa. 4881(2): 307-322.
- ・Komai T. and A. Anker. 2020. A new species of the axiid shrimp genus *Manaxius* Kensley, 2003 (Decapoda: Axiidea) from shallow coral reefs of the western Pacific. Zootaxa. 4858(4): 407-520.
- ・Komai T. and T.-Y. Chan. 2020. New records of the crangonid shrimp genus *Metacrangon* Zarenkov, 1965 (Decapoda: Caridea) from the south of Java, eastern Indian Ocean, with description of a new species. Raffles Bulletin of Zoology. 68: 326-333.
- ・Komai T. and I. Hirabayashi. 2020. A new species of the laomeidiid mud shrimp genus *Naushonia* Kingsley, 1897 (Decapoda: Gebiidea) from Japan. Zootaxa. 4816(1): 92-100.
- ・Komai T., K. Kawai and P.K.L. Ng. 2020. On the identity of a poorly known pea crab species *Pinnothera obesa* Dana, 1852 and description of a new species of the genus *Arcotheres* Manning, 1993 from Fiji and Indonesia, Southwest Pacific (Decapoda: Brachyura: Pinnotheridae). Zootaxa. 4822(2): 221-247.
- ・Komai T., T. Maenosono and T. Naruse. 2021. A new species of alpheid shrimp from the Ryukyu Islands, Japan, assigned to the genus *Salmoneus* Holthuis, 1955 (Decapoda: Caridea). Zootaxa. 4920(2): 187-296.
- ・Komai T., G.C.B. Poore and Y. Fujita. 2020. Redescription of the poorly known ghost shrimp species *Scallasis amboinae* Bate, 1888, review of the genus and description of a new species from the Ryukyu Islands, Japan (Decapoda: Axiidea: Callianassidae). Zootaxa. 4766(3): 401-420.
- ・Komai T., T. Tamego and K. Hanano. 2020. A new species of the alpheid shrimp genus *Automate* de Man, 1888 (Decapoda: Caridea) from Japan. Zootaxa. 4820(2): 305-322.
- ・Komai T., T. Watanabe, S. Matsui and T. Tamego. 2020. A new species of the mud shrimp genus *Axianassa* Schmitt, 1924 (Decapoda: Gebiidea: Laomeidiidae) from Japan. Zootaxa. 4852(4): 461-474.

普及書

- ・駒井智幸. 2020. はさみのあるいきもの. In: いきものづくしものづくし. 図版, pp. 5-8. 福音館書店. 文京区.

黒住耐二

学術論文・学術書

- ・黒住耐二. 2021. 学校標本をどのように取り扱うべきなのか?—千葉県睦沢中学校の貝類標本を例として—. 千葉県立中央博物館研究報告. 15(2): 129-137.
- ・黒住耐二. 2021. 発掘された学校標本を復元する—東京都品川区・妙国寺北遺跡の例から—. 動物考古学. 38: 41-48.

- ・黒住耐二. 2021. 磯間岩陰遺跡出土の貝類遺体について. In: 清家 章(編). 磯間岩陰遺跡の研究. 考察編. pp. 119-135. 岡山大学・田辺市教育委員会. 岡山市・田辺市.
- ・立川浩之・黒住耐二. 2021. 千葉県館山湾からドレッジにより採集された興味ある貝類. 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (11): 1-17.

学術報告書

- ・黒住耐二. 2021. 取掛西貝塚(5)で得られた貝類遺体. In: 船橋市教育委員会(編). 取掛西貝塚(5) II. pp. 247-273. 船橋市教育委員会. 船橋市.
- ・黒住耐二. 2021. 取掛西貝塚出土の貝類. In: 船橋市教育委員会(編). 取掛西貝塚総括報告書 -東京湾東岸部最古の貝塚-. pp. 485-502. 船橋市教育委員会. 船橋市.
- ・黒住耐二. 2021. 鏡水原遺跡から得られた貝類遺体. In: 沖縄県立埋蔵文化財センター(編). 鏡水原遺跡. 沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書. pp. 69-81. <http://doi.org/10.24484/sitereports.90343>. 沖縄県立埋蔵文化財センター. 西原町.
- ・黒住耐二. 2021. 市原条里遺跡で検出された貝層の貝類遺体とその堆積環境について. In: 蜂屋孝之・大谷弘幸(編). 市原条里遺跡. 千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告. pp. 208-222. 千葉県教育委員会. 千葉市.
- ・黒住耐二. 2021. 轟貝塚から得られた貝類遺体. In: 熊本県宇土市教育委員会(編). 轟貝塚. 熊本県宇土市教育委員会調査報告書. pp. 290-305. 宇土市教育委員会. 宇土市.
- ・黒住耐二. 2021. 貝類. In: 東京都環境局自然環境部(編). 東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)-東京都レッドリスト(本土部) 2020年版-. pp. 155-161. 東京都環境局自然環境部. 新宿区.
- ・黒住耐二・中村賢太郎. 2020. 平清水 III 遺跡から得られた微小貝類遺体. In: (公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター・野田村教育委員会(編). 平清水 III 遺跡発掘調査報告書. 野田村埋蔵文化財発掘調査報告書. pp. 213-220. 野田村教育委員会. 野田村.

高山順子

学術論文・学術書

- ・高山順子. 2021. 千葉県立中央博物館生態園舟田池におけるモクズガニ *Eriocheir japonica* (十脚目:短尾下目:モクズガニ科)の記録. 千葉県立中央博物館研究報告. 15(2): 73-76.
- ・奥野淳兒・村田明久・高山順子. 2021. 千葉県立中央博物館分館海の博物館所蔵標本に基づく千葉県勝浦市吉尾周辺の潮間帯産十脚甲殻類相(甲殻亜門:軟甲綱). 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (11): 73-84.

【植物学研究科】

原田 浩

学術論文・学術書

- ・原田 浩. 2020. 日本産海岸生地衣類図鑑(3). 被果地衣類(アナイボゴケ科を除く). *Lichenology*. 19(1): 25-32.
- ・木下靖浩・原田 浩. 2020. 日本産レブラゴケ属地衣類の分類学的検討(1). レブラゴケ (*Lepraria cupressicola*). *Lichenology*. 19(1): 17-23.
- ・坂田歩美・原田 浩. 2021. 千葉県産の地衣類(11). 千葉県新産の *Cladonia rappii* ヒメヤグラゴケ. 千葉県立中央博物館研究報告. 15(2): 99-105.
- ・綿貫 攻・原田 浩. 2020. ムカデゴケ科 *Physciaceae* とピンゴケ科 *Caliciaceae* の分類体系の変遷. *Lichenology*. 19(1): 1-15.

学術報告書

- ・原田 浩. 2020. 日本産海岸生地衣類の種多様性解明と同定ツールの開発および分類. *IFO Research Communications*. (34): 130-131.
- ・原田 浩・坂田歩美. 2021. 千葉県立中央博物館に収蔵されている地衣類のタイプ標本. 自然誌資料集 (1): 1-104.

坂田歩美

学術論文・学術書

- ・坂田歩美・原田 浩. 2021. 千葉県産の地衣類(11). 千葉県新産の *Cladonia rappii* ヒメヤグラゴケ. 千葉県立中央博物館研究報告. 15(2): 99-105.

学術報告書

- ・原田 浩・坂田歩美. 2021. 千葉県立中央博物館に収蔵されている地衣類のタイプ標本. 自然誌資料集 (1): 1-104.

普及書

- ・坂田歩美. 2020. 日本の地衣類関係の文献目録(7). *Lichenology*. 19(1): 35-46.

水野大樹

学術論文・学術書

- ・水野大樹. 2020. 一宮川下流域(千葉県長生郡一宮町)におけるカライワシ *Elops hawaiiensis* の記録. 千葉生物誌. 70(1): 15-18.
- ・水野大樹. 2020. 千葉県若葉区御殿町で生育を確認した帰化植物ミナトタムラソウ *Salvia verbenaca* L.. 千葉生物誌. 70(2): 39-40.
- ・水野大樹・西内李佳・天野 誠. 2020. 夷隅郡大多喜町におけるハチク (*Phyllostachys nigra* var. *henonis*) の開花記録. 千葉生物誌. 70(2): 31-35.

【歴史学研究科】

小林裕美

学術報告書

- ・小林裕美. 2021. 疫病退散の祭りとコロナ禍 -千葉県 の状況と博物館-. 第15回無形民俗文化財研究協議会報告書. pp. 29-40. 東京文化財研究所無形文化遺産部. 台東区.

普及書

- ・小林裕美. 2020. 房総の祭り 成田のおどり花見. ひまわり倶楽部. 2020年冬号(56号): 24-25.

- ・小林裕美. 2020. 祭りと伝統行事 受け継がれる伝統. In: しなのき書房(編). 写真が語る 千葉市の100年. p. 255. いき出版. 長岡市.
- ・小林裕美. 2021. 房総の祭り 下総三山の七年まつり. ひまわり倶楽部. 2021年夏号(57号): 24-25.

高梨友子

普及書

- ・田邊由美子・高梨友子. 2020. 令和2年度企画展「ちばの縄文ー貝塚からさぐる縄文人のくらしー」解説パンフレット. 24 pp. 千葉県立中央博物館. 千葉市.
- ・田邊由美子・高梨友子. 2020. 縄文時代の生き物利用ー千葉県立中央博物館令和2年度企画展「ちばの縄文ー貝塚からさぐる縄文人のくらしー」よりー. 生命のにぎわいとつながり(生物多様性ちばニュースレター). 67: 1-3.

田邊由美子

学術報告書

- ・田邊由美子. 2021. 4 魚類以外の動物骨. In: 銚子市教育委員会(編). 千葉県銚子市余山貝塚確認調査報告書. p. 106. 銚子市教育委員会. 銚子市.

普及書

- ・田邊由美子. 2020. 令和2年度企画展「ちばの縄文ー貝塚からさぐる縄文人のくらしー」. 千葉教育 菊月号. 664: 32.
- ・田邊由美子・高梨友子. 2020. 令和2年度企画展「ちばの縄文ー貝塚からさぐる縄文人のくらしー」解説パンフレット. 24 pp. 千葉県立中央博物館. 千葉市.
- ・田邊由美子・高梨友子. 2020. 縄文時代の生き物利用ー千葉県立中央博物館令和2年度企画展「ちばの縄文ー貝塚からさぐる縄文人のくらしー」よりー. 生命のにぎわいとつながり(生物多様性ちばニュースレター). 67: 1-3.

【資料管理研究科】

御巫由紀

普及書

- ・御巫由紀. 2020. 日本の薔薇を知りたくて その13: フジイバラ *Rosa fujisanensis* 「フジイバラの植物画を描く」. ガーデンダイアリー. (13): 64-65.
- ・御巫由紀. 2020. 日本の薔薇を知りたくて その14: コハマナス *Rosa x iwara* 「コハマナス〜ハマナスとノイバラが出会うところで〜」. ガーデンダイアリー. (14): 68-69.
- ・御巫由紀. 2020. ツクシイバラの咲く町は、今。 . ガーデンダイアリー. (14): 71.
- ・御巫由紀. 2020. バラの貴重書コレクション <森啓蔵書>から「ティーセンテッド・ローズ」. オールドローズとつるばらのクラブ会報. (198): 3-9.

宮 正樹

学術論文・学術書

- ・Miya M., R.O. Gotoh and T. Sado. 2020. MiFish metabarcoding: a high-throughput approach for simultaneous detection of multiple fish species from environmental DNA and other samples. *Fisheries Science*. 86(6): 939-970.
- ・Minamoto T., M. Miya, T. Sado, S. Seino, H. Doi, M. Kondoh, K. Nakamura, T. Takahara, S. Yamamoto, H. Yamanaka, H. Araki, W. Iwasaki, A. Kasai, R. Masuda and K. Uchiio. 2021. An illustrated manual for environmental DNA research: Water sampling guidelines and experimental protocols. *Environmental DNA*. 3(1): 8-13.
- ・Kawato M., T. Yoshida, M. Miya, S. Tsuchida, Y. Nagano, M. Nomura, A. Yabuki, Y. Fujiwara and K. Fujikura. 2021. Optimization of environmental DNA extraction and amplification methods for metabarcoding of deep-sea fish. *MethodsX*. 8: 10238.
- ・Tsuji S., A. Maruyama, M. Miya, M. Ushio, H. Sato, T. Minamoto and H. Yamanaka. 2020. Environmental DNA analysis shows high potential as a tool for estimating intraspecific genetic diversity in a wild fish population. *Molecular Ecology Resources*. 20(5): 1248-1258.
- ・Sakata M.K., S. Yamamoto, R.O. Gotoh, M. Miya, H. Yamanaka and T. Minamoto. 2020. Sedimentary eDNA provides different information on timescale and fish species composition compared with aqueous eDNA. *Environmental DNA*. 2(4): 505-518.
- ・Yonezawa S., M. Ushio, H. Yamanaka, M. Miya, A. Takayanagi and Y. Isagi. 2020. Environmental DNA metabarcoding reveals the presence of a small, quick-moving, nocturnal water shrew in a forest stream. *Conservation Genetics*. 21(6): 1079-1084.
- ・Fujiwara Y., M. Kawato, J.Y. Poulsen, H. Ida, Y. Chikaraishi, N. Ohkouchi, K. Oguri, S. Gotoh, G. Ozawa, S. Tanaka, M. Miya, T. Sado, K. Kimoto, T. Toyofuku and S. Tsuchida. 2021. Discovery of a colossal slickhead (Alepocephaliformes: Alepocephalidae): an active-swimming top predator in the deep waters of Suruga Bay, Japan. *Scientific Reports*. 11: 2490. <https://doi.org/10.1038/s41598-020-80203-6>.
- ・Oka S., H. Doi, K. Miyamoto, N. Hanahara, T. Sado and M. Miya. 2021. Environmental DNA metabarcoding for biodiversity monitoring of a highly diverse tropical fish community in a coral reef lagoon: Estimation of species richness and detection of habitat segregation. *Environmental DNA*. 3(1): 55-69.
- ・Hayami K., M.K. Sakata, T. Inagawa, J. Okitsu, I. Katano, H. Doi, K. Nakai, H. Ichiyanagi, R.O. Gotoh, M. Miya, H. Sato, H. Yamanaka and T. Minamoto. 2020. Effects of sampling seasons and locations on fish environmental DNA metabarcoding in dam reservoirs. *Ecology and Evolution*. 10(12): 5354-5367.

普及書

- ・宮 正樹. 2021. 環境DNAメタバーコーディング法. In: 土居秀幸・近藤倫生(編). 環境DNAー生態系の真の姿を読み解くー. pp. 124-156. 共立出版. 文京区.

奥田昌明

学術論文・学術書

- ・Suganuma Y., M. Okada, M.J. Head, K. Kameo, Y. Haneda, H. Hayashi, T. Irizuki, T. Itaki, K. Izumi, Y. Kubota, H. Nakazato, N. Nishida, M. Okuda, Y. Satoguchi, Q. Simon, and Y. Takeshita. 2021. Formal ratification of the Global

Boundary Stratotype Section and Point (GSSP) for the Chibanian Stage and Middle Pleistocene Subseries of the Quaternary System: the Chiba Section, Japan. Episodes. <https://doi.org/10.18814/epiiugs/2020/020080>.

村田明久

学術論文・学術書

奥野淳兒・村田明久・高山順子. 2021. 千葉県立中央博物館分館海の博物館所蔵標本に基づく千葉県勝浦市吉尾周辺の潮間帯産十脚甲殻類相(甲殻亜門: 軟甲綱). 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (11): 73-84.

【生態・環境研究部】

【生態学・環境研究科】

尾崎煙雄

普及書

- ・尾崎煙雄. 2020. 人と環境 <29> ヤドリギの魅力. グリーン・エージ. 47(9): 38-41.
- ・尾崎煙雄. 2020. 館のない博物館から(65) ナラ枯れ. 館報せいわ. (377): 4.
- ・尾崎煙雄. 2020. 特集ナラ枯れ. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター). (71): 1-2.

大木淳一

普及書

・大木淳一. 2021. 生命のにぎわい調査団の現地研修会を開催しました. 生命のにぎわいとつながり(生物多様性ちばニュースレター). 68: 3.

由良 浩

普及書

- ・由良 浩. 2021. 食虫植物の生態. In: 山武市歴史民俗資料館(編). 国指定天然記念物「成東・東金食虫植物群落」指定100年記念誌. pp. 1-2. 山武市教育委員会. 山武市.
- ・由良 浩. 2021. 75年前の調査報告書が物語るもの. 生命のにぎわいとつながり(生物多様性ちばニュースレター). 69: 1-2.

斉藤明子

学術論文・学術書

- ・斉藤明子. 2020. 鈴木裕氏採集の甲虫2種. 房総の昆虫. (66): 44-45.
- ・斉藤明子. 2020. ハガチビジョウカイを大多喜町で採集. 房総の昆虫. (67): 94-95.
- ・斉藤明子・網代春男. 2020. ハラグロオオテントウ千葉市の記録. 房総の昆虫. (67): 95.
- ・斉藤明子・村川功雄. 2020. 「東京大学千葉演習林の昆虫相」の追加と訂正 その4. 房総の昆虫. (66): 36-37.
- ・斉藤明子・村川功雄. 2020. 「東京大学千葉演習林の昆虫相」の追加と訂正 その5. 房総の昆虫. (67): 82-83, pl. 2.
- ・小峰幸夫・篠崎(矢花)聡子・佐藤嘉則・原田正彦・斉藤明子・木川りか・藤井義久. 2021. 文化財建造物を加害したシバンムシ科甲虫のDNAバーコーディングに基づく同定法. 保存科学. (60): 19-26.
- ・鈴木 勝・斉藤明子. 2020. 千葉県動物誌、千葉県産動物総目録に掲載されていない甲虫 補遺と追加 (IX). 房総の昆虫. (67): 112-115.
- ・鈴木 勝・斉藤明子. 2020. 千葉県の甲虫確認種数(2019年3月現在). 房総の昆虫. (66): 70-71.

普及書

- ・斉藤明子. 2020. 森の生きものを育む一本のエノキ. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター). (70): 1-2.
- ・斉藤明子. 2020. 館のない博物館から(68) 清和の山. 館報せいわ. (375): 4.
- ・斉藤明子. 2021. 館のない博物館から(66) 三舟山. 館報せいわ. (378): 4.

林 浩二

普及書

・林 浩二. 2020. 書評 栗原祐司・林 菜央・井上由佳・青木 豊『ユネスコと博物館』. 学会ニュース(全日本博物館学会). (131): 10-11.

八木令子

学術論文・学術書

・吉村光敏・八木令子. 2021. 養老川中流、市原市田淵の地磁気逆転地層露頭周辺の地形景観とその成り立ち. 千葉県立中央博物館研究報告. 15(2): 61-72.

普及書

- ・八木令子. 2020. 人見神社からの眺望—三舟山の成り立ち—. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター). (69): XX.
- ・八木令子. 2020. 観察会報告 房総の山の観察会「小糸川流域の地形を訪ねる」. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター). (69): 1-2.
- ・八木令子. 2020. 館のない博物館から(64) 自然災害とコロナ禍での博物館活動. 館報せいわ. (376): 4.
- ・八木令子. 2021. 博物館における「チバニアン」のアウトリーチ活動と地元を中心とした持続可能な活用に向けて. 地理. 66(4): 9-15, 口絵1-2.
- ・八木令子・吉村光敏. 特集コラムチバニアンが学べる博物館とウェブサイト. 地理 66(4): 40-42.

栗田隆気

学術論文・学術書

- ・Kurita T., Y. Kojima, M.Y. Hossman and K. Nishikawa. 2020. Phylogenetic position of a bizarre lizard *Harpesaurus* implies the co-evolution between arboreality, locomotion, and reproductive mode in *Draconinae* (Squamata: Agamidae). *Systematics and Biodiversity*. 18(1): 675-687.
- ・Kojima Y., I. Fukuyama, T. Kurita, M.Y.B. Hossman and K. Nishikawa. 2020. Mandibular sawing in a snail-eating snake. *Scientific Reports*. 10:12670. <https://doi.org/10.1038/s41598-020-69436-7>.

- ・Nishikawa K., D. Sanamxay, T. Kurita, M. Hibino, T. Jono and T. Tao. 2020. A new and highest record of *Tylotriton notialis* (Amphibia: Urodela: Salamandridae). *Academia Journal of Biology*. 42(1): 135-137.
- ・Okamoto K., T. Kurita, M. Nagano, Y. Sato, H. Aoyama, S. Saitoh, N. Shinzato and M. Toda. 2020. Development of 22 microsatellite markers for assessing hybridization in the genus *Gekko* (Squamata: Gekkonidae). *Current Herpetology*. 39(7): 66-74.

宮川尚子

学術論文・学術書

- ・宮川尚子. 2021. COVID-19(新型コロナウイルス感染症)感染拡大防止策下の博物館活動における3Dプリントの有用性の検討. 千葉県立中央博物館研究報告. 15(2): 81-85.

普及書

- ・宮川尚子. 2020. 房総丘陵の動植物(19)房総のクジラ. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター). (71): 3.

西内李佳

学術論文・学術書

- ・Chiba T., R. Nishiuchi and A. Tuji. 2020. Characteristics of airborne diatoms as fine particles in the lower atmosphere: A case study in Hachirogata, Akita, Japan, during August 2019 and January 2020. *Diatom*. 36: 1-12.
- ・水野大樹・西内李佳・天野 誠. 2020. 夷隅郡大多喜町におけるハチク(*Phyllostachys nigra* var. *henonis*)の開花記録. 千葉生物誌. 70(2): 31-35.

【環境教育研究科】

林 紀男

学術論文・学術書

- ・林 紀男・新井 裕・松木和雄. 2020. アキアカネ若齢幼虫の食性. 千葉生物誌. 70(1): 1-9.
- ・稲森悠平・稲森隆平・類家 翔・林 紀男・村上和仁. 2020. バイオエコシステムを導入した「いさはや新池」流域等の環境再生保全総合戦略. 用水と廃水. 62(10): 704-714.
- ・嶺田拓也・中井克樹・林 紀男・丸井英幹. 2020. 農業被害をもたらす侵略的外来水草の対策と課題. 水土の知. 88(11): 887-891.

学術報告書

- ・林 紀男. 2021. 田んぼの生きもの全種データベース(分担執筆). 滋賀県立琵琶湖博物館ウェブサイト. <https://www.biwahaku.jp/research/data/tambo/>

普及書

- ・林 紀男. 2021. 地域社会で市民をつなぐ博物館. In: 小川義和(編). 発信する博物館 持続可能な社会に向けて. pp. 178-193. ジダイ社. さいたま市.
- ・林 紀男. 2020. 水処理生物学と博物館. 日本水処理生物学会誌. 40: 51-53.
- ・林 紀男. 2020. 2020年度第73回 児童生徒生物研究発表大会講評. 千葉県生物学会ウェブサイト. <https://bschiba.jimdofree.com/>

天野 誠

学術論文・学術書

- ・水野大樹・西内李佳・天野 誠. 2020. 夷隅郡大多喜町におけるハチク(*Phyllostachys nigra* var. *henonis*)の開花記録. 千葉生物誌. 70(2): 31-35.

普及書

- ・天野 誠・斎木健一(監修)2020. 植物. 講談社の動く図鑑MOVE mini. 224 pp. 講談社. 東京.

平田和彦

学術論文・学術書

- ・平田和彦. 2021. 三沢沖太平洋におけるカツオドリ *Sula leucogaster* の青森県初記録. 青森自然誌研究. (26): 95-98.
- ・平田和彦・小澤光莉・田上 陸・伊藤元裕. 2021. 青森県におけるマガモ *Anas platyrhynchos* の繁殖記録: 大間町弁天島における抱卵と孵化の状況証拠. 青森自然誌研究. (26): 91-94.
- ・鎌田泰斗・富田健斗・伊藤玲駆・平田和彦・関島恒夫. 2021. 千葉県東京湾奥部におけるクロアジサシ *Anous stolidus* の記録. 千葉県立中央博物館研究報告. 15(2): 77-80.

普及書

- ・平田和彦. 2020. 海鳥目線でジオパークを楽しむ. In: 下北ジオパーク推進協議会(編). 下北ジオパークガイドブック. p. 48. 下北ジオパーク推進協議会. むつ市.
- ・平田和彦. 2021. 房総丘陵の動植物 20 人里に生きる鳥の暮らしー多様性を支える冬の田んぼー. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター). (72): 3.

(2) 研究発表

【庶務部】

【教育普及課】

古木達郎

- ・古木達郎/2020. 9. 4/ウキゴケ科の見分け方/日本蘚苔類学会第49回高知大会/オンライン.
- ・古木達郎・島立正広/2020. 9. 5/ハヶ岳で発見されたムチゴケ属 *Bazzania* 3種の分類学的研究/日本蘚苔類学会第49回高知大会/オンライン.

丸山啓志

- ・丸山啓志/2020. 11. 7-8/糞ハンズ・オン標本の研究/アカデミア・アニマリウム in ちばZOOフェスタ2020/千葉市動物公園/千葉市.

- ・丸山啓志・橋本佳延・鬼本佳代子・高尾戸美・邱 君妮／2021. 2. 28／2 度目の緊急事態宣言をうけての博物館活動への影響 ～緊急アンケートに基づいて～ / 第 11 回小さいとこサミット Online / オンライン.
- ・丸山啓志・酒井麻衣／2021. 2. 7 / 学芸員養成課程所属学生のクジラ-イルカのイメージ / 第 61 回日本動物園水族館教育研究会 Web 大会 / オンライン.

【企画調整課】

吹春俊光

- ・吹春俊光・P. Thao Nguyen・清水公德／2020. 6. 20 / アンモニア菌の複合種ザラミノヒトヨタケの生物地理的分布と関連する新種 1 種 / 日本菌学会 / 大阪市立自然史博物館 / 大阪市.

【自然誌・歴史研究部】

【地学研究科】

高橋直樹

- ・高橋直樹・赤司卓也／2020. 7. 14 / 千葉県における石材利用の時代変遷 / 日本地球惑星科学連合 2020 年大会 / オンライン.
- ・高橋直樹 / 2020. 11. 27 / 房総半島南部の地形と地質 / 日本温泉科学会第 73 回大会 (特別講演) / 城西国際大学観光学部 / 鴨川市.
- ・高橋直樹 / 2020. 12. 19 / 習志野隕石の紹介 / 千葉県地学教育研究会 2021 年度談話会 / オンライン.

岡崎浩子

- ・H. Okazaki / 2020. 7. 12-16 / Sedimentary facies related to supercritical-flow bed forms in foreset / JpGU-AGU Joint Meeting, 2020 (日本地球惑星科学連合一米国地球物理学連合) / オンライン.
- ・H. Okazaki, H. Nakazato, M. Nara and T. Tamura, I. Ito / 2020. 7. 12-16 / Forced regression deposits during MIS 5c and 5a observed in the Iioka / JpGU-AGU Joint Meeting, 2020 (日本地球惑星科学連合一米国地球物理学連合) / オンライン.
- ・T. Tamura, H. Okazaki, H. Nakazato and M. Nara, I. Ito / 2020. 7. 12-16 / Feldspar pIRIR dating for defining glacial-interglacial depositional sequences in the Kanto Plain, eastern Japan / JpGU-AGU Joint Meeting, 2020 (日本地球惑星科学連合一米国地球物理学連合) / オンライン.

【動物学研究科】

駒井智幸

- ・西澤峻平・郎邸倩倩・中野智之・駒井智幸・源 利文 / 2021. 3. 17-21 / 鉢虫綱クラゲ類の環境 DNA メタバーコーディング系の設計 / 第 68 回日本生態学会大会 / オンライン.

黒住耐二

- ・黒住耐二 / 2020. 11. 29 / 住み続ける貝、入ってくる貝、そして未来は? / 栃木県立博物館第 127 回企画展「貝ってすてき!」記念講演会 / 栃木県立博物館講堂 / 宇都宮市.

【植物学研究科】

原田 浩

- ・原田 浩 / 2020. 6. 5 / 日本産海岸生地衣類の種多様性解明と同定ツールの開発 / 発酵研究所 / <https://www.ifo.or.jp/publication>.
- ・坂田歩美・原田 浩・原光二郎・谷川寛典・木 薫 / 2020. 6. 19-21 / 日本産海岸生地衣類の種多様性解明, 一広義リトマスゴケ科 / 日本菌学会 / 大阪市立自然史博物館 / 大阪市.

坂田歩美

- ・坂田歩美・原田 浩・原光二郎・谷川寛典・木 薫 / 2020. 6. 19-21 / 日本産海岸生地衣類の種多様性解明, 一広義リトマスゴケ科 / 日本菌学会 / 大阪市立自然史博物館 / 大阪市.

【資料管理研究科】

奥田昌明

- ・奥田昌明 / 2020. 10 / 化石花粉からみる気候変動 ～過去と未来～ / 日本花粉学会第 61 回大会シンポジウム / オンライン.

【歴史学研究科】

小林裕美

- ・小林裕美 / 2020. 12. 25-2021. 1. 31 / 疫病退散の祭礼とコロナ禍 - 千葉県の状況と博物館 - / 第 15 回無形民俗文化財研究協議会 / オンライン.

【生態・環境研究部】

【生態学・環境研究科】

林 浩二

- ・林 浩二 / 2020. 5. 31 / ICOM 規約の博物館の定義改定とインタープリテーション / インタープリターズ・フォーラム 2020 ONLINE / 日本インタープリテーション協会 / オンライン.
- ・林 浩二 / 2020. 8. 22-23 / 国際博物館会議 (ICOM) 規約の博物館定義の改定案と SDGs (ポスター) / 日本環境教育学会第 31 回オンライン大会 / 日本環境教育学会 / オンライン.
- ・林 浩二 / 2021. 1. 15-16 / 博物館活動への市民の参加 - 市民のエンパワメントをめざす - / 宜蘭地域博物館 × 環境教育国際フォーラム (【宜蘭地方博物館 × 環境教育】国際論壇) / (台湾) 宜蘭県立蘭陽博物館 / 宜蘭市, 台湾 / オンライン.
- ・林 浩二 / 2021. 2. 6-7 / 2020 年春の臨時休館・休園時のツイッターから見えてきたこと (ポスター) / 第 61 回日本動物園水族館教育研究会 ONLINE / 日本動物園水族館教育研究会 / オンライン.
- ・林 浩二 / 2021. 3. 8 / 被爆樹木 (Survivor Trees) について / 市民科学入門講座 / NPO 法人 市民科学研究室 / オンライン.

【環境教育研究科】

林 紀男

- ・林 紀男 / 2020. 12. / 千葉県における侵略的外来水生植物の繁茂拡大の足跡 / 第 23 回自然系研究機関連絡会議 (NORNAC23) / オンライン.
- ・林 紀男 / 2021. 2 / 千葉県外房・内房地域に繁茂拡大した侵略的外来水生植物 ～ ナガエツルノゲイトウ・オオバナミズキンバイ・ミズヒマワリ ～ / 千葉県生物学会 / 千葉経済大学 / オンライン.

- ・林 紀男・今津健志／2021.3／印旛沼水系に見られる特定外来生物カミツキガメ／農研機構 農業環境技術公開セミナー in 茨城「水利用を介して拡散する水生外来生物の現状と対策」／農研機構農業環境変動研究センター／つくば市。
- ・梶 眞壽・鈴木盛智・林 紀男／2021.2／四つ池の池干しに伴うプランクトン相の変化／千葉県生物学会／千葉経済大学／オンライン。
- ・鎌田洋平・谷口吉光・林 紀男／2020.8／「モグリウム」から始まる八郎潟流域の地域再生／第25回八郎湖流域管理研究会／秋田県立大学／秋田市。
- ・北村 岳・古川靖英・宮田弘樹・林 紀男／2021.2／印旛沼流域における水生植物の域外保全の取り組み／千葉県生物学会／千葉経済大学／オンライン。
- ・小倉久子・林 紀男・八鍬雅子・竹内順子／2021.2／手賀沼における抽水植物の衰退現象 ～マコモ・ヒメガマ・外来ハスを中心に～／千葉県生物学会／千葉経済大学／オンライン。
- ・鈴木康平・三輪 隆・奥 信康・宮 弘樹・古川靖英・向井 洋・蓑茂雄郎・北野雅人・槌尾 健・藤原邦彦・北村 岳・木村 文・岩本 宏・入江祥太・向 雅之・林 紀男・北村 亘・下野綾子・西 廣淳／2020.11／グリーンインフラの研究開発・実証フィールド『調の森 SHI-RA-BE ™』の創成と運用／Green Infrastructure Network Japan 2020／GIJ2020 実行委員会／オンライン。
- ・竹内順子・林 紀男・小倉久子・高橋 葉／2021.2／手賀沼における侵略的外来水生植物ナガエツルノゲイトウとオオバナミズキンバイの拮抗／千葉県生物学会／千葉経済大学／オンライン。

平田和彦

- ・K. Hirata, R. Fujii, N. Moriguchi, S. Nakamura and Y. Kato／2020.7.12-16／Trends on and assessments of ecological resources in the Evaluation Mission Reports for Japanese Geoparks／JpGU-AGU Joint Meeting 2020／Online。

5 研究交流

(1) 海外出張 実績なし

(2) 海外研究者の来訪 記録なし

(3) 各種委員・非常勤講師等の受託

- | | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 植野英夫 | ・栄町史編さん委員会専門委員／栄町教育委員会／2020.4-2021.3
・伊能忠敬記念館協議会委員／香取市教育委員会／2020.6-2021.3 |
| 古木達郎 | ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会 委員（植物・菌類部会：蘚苔類）／千葉県環境生活部自然保護課／2020.4-2021.3
・令和2年度絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 検討委員／環境省自然環境局野生生物課／2020.4-2021.3
・希少野生動植物種保存推進員／環境省／2018.7-2021.6
・成東・東金食虫植物群落保護検討委員会 作業部会長／山武市教育委員会／2020.4-2021.3 |
| 下稲葉さやか | ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員（動物部会：哺乳類）／千葉県環境生活部自然保護課／2020.4-2021.3
・希少野生動植物種保存推進員／環境省／2018.7-2021.6 |
| 島立理子 | ・客員教授／国立歴史民俗博物館／2020.4-2021.3 |
| 吹春俊光 | ・令和2年度絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 検討委員／環境省自然環境局野生生物課／2020.4-2021.3
・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員（菌類）／千葉県環境生活部自然保護課／2020.4-2021.3
・希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2020.4-2021.3 |
| 萩野康則 | ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員（動物部会：多足類）／千葉県環境生活部自然保護課／2020.5-2021.3
・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2018.7-2021.6 |
| 伊左治鎮司 | ・非常勤講師（受託）／千葉大学／2020.4-2021.3
・白山市手取層群化石調査協議会委員／石川県白山市／2020.10-2021.3 |
| 岡崎浩子 | ・教科書図書検定調査審議会委員／文部科学省／2020.4-2021.3
・県立船橋高校 SSH 運営指導委員／千葉県教育委員会／2020.4-2021.3
・非常勤講師／千葉大学「博物館資料論 B」／2020.4-2021.3 |
| 駒井智幸 | ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員（動物部会：甲殻類）／千葉県環境生活部自然保護課／2020.4-2021.3
・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省／2018.7-2021.6 |
| 高山順子 | ・佐倉市環境審議会委員／佐倉市／2020.4-2021.3 |
| 黒住耐二 | ・希少野生動植物種保存推進員／環境省／2018.7-2021.6
・希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2020.4-2021.3 |

- ・千葉県ミヤコタナゴ保全協議会委員／千葉県環境生活部自然保護課生物多様性センター／2017. 4-（期限
明記なし）
 - ・外来種対策検討委員会・その他無脊椎動物分科会委員／茨城県／2021. 3
- 原田 浩
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員（植物・菌類部会：地衣類）／千葉県環境生活部
自然保護課／2020. 4-2021. 3
- 天野 誠
- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省／2018. 7-2021. 6
 - ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員（植物・菌類部会：種子植物）／千葉県環境生活
部自然保護課／2020. 4-2021. 3
- 水野大樹
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2020. 4-
2021. 3
- 坂田歩美
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員（植物・菌類部会：地衣類）／千葉県環境生活
部 自然保護課／2019. 4-2020. 3
- 田邊由美子
- ・千葉大学文学部 博物館学実習 非常勤講師／千葉大学文学部／2020. 4. 8-2021. 3. 31
 - ・市立市川考古博物館 博物館協議会 委員／市立市川考古博物館／2020. 4. 1-2021. 3. 31
- 御巫 由紀
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会種子植物分科会委員／千葉県環境生活部自然保護課
／2020. 4-2021. 3
 - ・木更津市教育委員会／木更津市文化財保護審議会委員／2020. 4-2021. 3
 - ・市川市公園緑地課／市川市緑の調査専門委員／2020. 4-2021. 3
 - ・国営越後丘陵公園／国際香りのバラ新品種コンクール審査員／2020. 4-2021. 3
 - ・非常勤講師／千葉大学非常勤講師／2020. 4-2021. 3
- 宮 正樹
- ・客員教授／九州大学大学院工学研究院附属工学研究教育センター／2020. 10-2021. 3
- 村田明久
- ・モニタリングサイト 1000 磯分科会委員／環境省／2020. 4-2021. 3
- 尾崎煙雄
- ・非常勤講師／千葉大学大学院理学研究院／2020. 4-2021. 3
 - ・モニタリングサイト 1000 里地調査検討委員会委員／（財）日本自然保護協会／2020. 4-2021. 3
- 由良 浩
- ・成東・東金食虫植物群落保護検討委員会委員／山武市教育委員会／2020. 4-2021. 3
- 斉藤明子
- ・希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2020. 5-2021. 3
- 八木令子
- ・市原市田淵の地磁気逆転地層保存活用検討委員会委員／市原市教育委員会／2019. 9-2021. 9
- 林 浩二
- ・文化庁 博物館の管理運営に関する研修 企画運営会議委員／文化庁／2020. 7-2021. 3
 - ・星槎大学 共生科学部 非常勤講師／星槎大学／2020. 5-2021. 3
 - ・東邦大学 理学部 非常勤講師／東邦大学 理学部／2020. 5-2021. 3
- 林 紀男
- ・千葉県印旛沼水質改善技術検討会植生ワーキンググループ委員／千葉県県土整備部河川環境課／2020. 4-
2021. 3
 - ・千葉県手賀沼水生植物再生事業検討会委員／千葉県環境生活部水質保全課／2020. 4-2021. 3
 - ・千葉県侵略的外来水生植物対策庁内連絡会議専門委員／千葉県環境生活部自然保護課／2020. 4-2021. 3
 - ・皇居外苑濠水環境管理検討会委員／環境省自然環境局皇居外苑管理事務所／2020. 4-2021. 3
 - ・東邦大学 理学部 非常勤講師／東邦大学 理学部／2020. 5-2021. 3

(4) 共同研究員、市民研究員、研究生の受入れ

ア 共同研究員

共同研究員は、当館職員と共同で当館の資料や設備等を利用して研究を行う館外の研究者・専門家で、本年度は29名（継続 26名、新規3名）を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
富谷朗子	シアノバクテリアー植物共生の多様性	古木達郎	継続
鈴木弘行	東京湾岸の湿地における鳥類相の解明	桑原和之	継続
箕輪義隆	利根川水系の湿地における鳥類相の解明	桑原和之	継続
斉藤敏一	利根川水系の湿地における鳥類相の変遷	桑原和之	継続
田尻浩伸	里地、特に農耕地における鳥類相と環境利用	桑原和之	継続
布留川 毅	外房海岸における鳥類相の変遷	桑原和之	継続
Nguyen Phuong Thao	アンモニア菌類・糞生菌類・ヒトヨタケ類の研究	吹春俊光	継続
加瀬谷優子	文化財の保存に関する研究	吹春俊光	新規
吉川裕子	地衣類の化学分類	原田 浩	継続
木下靖浩	地衣類の化学分類	原田 浩	継続
坪田美保	地衣類の共生菌に関する研究	原田 浩	継続
綿貫 攻	日本産スミイボゴケ属地衣類の分類学的研究	原田 浩	継続
富塚朋子	房総半島における海藻（海草も含む）の分類学的及び民族植物学的研究	水野大樹	継続

氏名	研究テーマ	担当	区分
宮田昌彦	房総半島における海藻相の分類学的研究	水野大樹	継続
大作晃一	シダ植物の胞子の顕微鏡撮影	水野大樹	新規
大庭照代	生物音響資料の編纂	御巫由紀	継続
佐土哲也	サンガーシーケンサを用いたリファレンスデータの作製と次世代シーケンサを用いた解析実験の補助	宮 正樹	継続
福地毅彦	ユニバーサルプライマーに基づく次世代シーケンサを用いた環境 DNA の分析法の確立ならびにリファレンスデータの収集	宮 正樹	継続
木村悟朗	マストラッピングによるヒトスジシマカ個体数の制御 II	尾崎煙雄	継続
倉西良一	東アジア産トビケラ目昆虫の分類と分子系統地理	尾崎煙雄	継続
上野尚久	ショウジョウバエ類の多様性の季節動態	尾崎煙雄	継続
日暮卓志	コフキコガネとムネアカセンチコガネの生態と分類について	斎藤明子	継続
原 正利	ブナ科植物ほかの標本作成および生態園の植物生態観察	由良 浩	継続
大野啓一	芽生えに関する記載的研究	由良 浩	継続
茶木慧太	ラン科シュンラン属植物における菌従属栄養植物への進化過程の解明	由良 浩	継続
吉村光敏	信仰対象となっている巨岩地形の形成史—甲府盆地の事例—	八木令子	継続
横林庸介	種子からの発芽と植物体からの栄養繁殖の記録並びに生活史のまとめ	林 紀男	継続
木村陽子	千葉県での維管束植物相に関する研究	天野 誠	継続
飯島大智	生態園における鳥類種の個体数変動パタンの経年変化とその機構の解明	平田和彦	新規

イ 市民研究員

市民研究員は当館職員の助言により館内外で調査研究活動を行う市民で、本年度は53名（継続48名、新規5名）を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
川合正光	茂原—八積湿原とその周辺の水辺の蘚苔類相調査およびホソバオキナゴケの栽培方法の研究	古木達郎	継続
内海陽一	流山市の蘚苔類（コケ植物）誌	古木達郎	継続
綾部宏子	迅速測図原図から探る印旛沼周辺を中心とする千葉県の景観	白井 豊	継続
川井恵美子	迅速測図原図から探る明治 10 年代の千葉県を中心とする関東地方の土地利用	白井 豊	継続
隈部 修	コジュリン等、利根川水系の湿地に生息する鳥類の生態に関する研究	桑原和之・ 糠谷 隆	継続
藤島 剛	印旛沼北部調整池周辺の鳥類相の解明	桑原和之・ 糠谷 隆	継続
藤島成邦	印旛沼北部調整池周辺の鳥類相の解明	桑原和之・ 糠谷 隆	継続
小倉豊史	きのご類の研究	吹春俊光	継続
小暮誠一	きのご類の研究	吹春俊光	継続
佐野悦三	きのご類の研究	吹春俊光	継続
加藤恵美子	房総の自然に関する研究	吹春俊光	新規
石井明夫	北総台地における木下層化石の研究	加藤久佳	継続
松浦良彦	上総層群万田野層の古生物相	加藤久佳	継続
時田 徹	三浦層群および上総層群の深海性動物化石の分布調査	加藤久佳	継続
津野絵里子	多様な来館者に関わったミュージアム活動の実現に向けた調査研究	伊左治鎮司	継続
篠塚由依子	銚子半島における恐竜化石の手掛かりを探す	伊左治鎮司	継続
赤司卓也	房総半島の歴史的建築用石材の旧丁場及び産出石材の使途とその現状調査	高橋直樹	継続
佐藤信和	房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求	高橋直樹	継続
店網美智子	房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求	高橋直樹	継続
村山雄三	房総半島南部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求	高橋直樹	継続
齋藤佐和	房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求	高橋直樹	継続
野口雅治	房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求	高橋直樹	継続
河原敏行	房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求	高橋直樹	継続
栗山 隆	房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求	高橋直樹	継続
木澤武司	砂の鉱物分析	高橋直樹	継続
山田俊弘	リンネコレクション等を利用した科学史研究とその社会的な還元について	高橋直樹	継続
関口優紀	千葉県に関する生成環境および生成条件の探求	高橋直樹	継続
本間千舟	南房総市地域より産出した鉱物と化石の記録	高橋直樹	継続
泉 宏子	房総の地衣類誌	原田 浩	継続
小山内行雄	苗場山の地衣相	原田 浩	継続
加藤裕一	21 世紀の森と広場（松戸市）の地衣類観察の取り組み	原田 浩	継続
東 あずさ	地衣類の顕微鏡観察	原田 浩	継続

氏名	研究テーマ	担当	区分
弦巻滋子	千葉市稲毛区の地衣類相調査	原田 浩	継続
森田考恵	白井市周辺の地衣類相	原田 浩	継続
松崎 務	長野県上田市周辺の地衣類相	原田 浩	継続
高橋雅彦	茨城県の地衣類相	原田 浩	継続
牧野純子	茨城県土浦市、つくば市周辺における地衣類相調査	原田 浩	継続
田中慶太	長崎県の地衣類相	原田 浩	継続
中村正樹	長野県大町市の「冷風の丘」（風穴現象地帯）における地衣類植生	原田 浩	新規
今井邦裕	本州中部山岳地帯における地衣類の多様性	原田 浩	新規
池田裕二	屋久島産大型地衣類を対象としたウェブ図鑑制作	坂田歩美	継続
大作晃一	日本産シダ植物及び大型菌類（キノコ）の研究	水野大樹	新規
森 晃	シャジクモ属の研究	御巫由紀	継続
金谷小百合	ヤドリギの生態調査及び繁殖について	尾崎煙雄	継続
齋藤 修	千葉県産蛾類データベースの構築	斉藤明子	継続
鈴木 勝	千葉県北部地域の昆虫相（甲虫類）	斉藤明子	継続
鶴田賢治	ハグロハバチ（ハチ目：ハバチ科）の冬季発生生態の解明	斉藤明子	継続
吉田佳代子	カプトムシにおける腸内共生微生物に関する研究	斉藤明子	継続
中尾健一郎	千葉県立博物館関連鱗翅目調査	斉藤明子	継続
安川 憲	千葉県におけるアサギマダラを中心とした蝶類の調査	斉藤明子	継続
土井 学	伊豆諸島利島の昆虫	斉藤明子	新規
佐藤恭子	地学を日常生活に生かすための考察	八木令子	継続
上原 恵	地域に残る災害の痕跡と記録の収集と分析(2)	八木令子	継続

ウ 研究生

研究生は、当館職員が大学と連携して研究指導を行う大学・大学院在籍の学生で、本年度は受入実績なし。

第2 大利根分館

1 研究課題

(1) 地域研究

ウ 人類誌系（房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究）

① 都市近郊低湿地における生業の研究

【担 当】秋山笑子

【研究内容】千葉県内の低湿地を中心に、生業と生活戦略を検討し、近現代における低湿地における生活と環境の変化との関連について調査研究を行う。

【年度実績】香取市周辺の水郷地域の生業や信仰等についての調査研究の成果を、令和3年度大利根分館企画展「ちばらきー千葉県と茨城県の境ー」に展示するため、調査した。

② 利根川下流の漁撈用具に関する研究

【担 当】糠谷 隆

【研究内容】大利根分館に所蔵されている千葉県指定有形民俗文化財「利根川下流域の漁撈用具」をはじめとした漁撈用具について、それら各々の使用法について調査する。

【年度実績】大利根分館に所蔵されている千葉県指定有形民俗文化財「利根川下流域の漁撈用具」のうちのジゴクアミに着目し、同じ仕様の網を使った漁獲試験を行い捕獲される魚種や大きさを調査し漁獲特性を考察した。

エ 博物館誌系（博物館とその社会的役割に関する研究）

① 博物館と学校との博学連携による博物館学習の推進に関する研究

【担 当】大野将史・柴山浩恒・相原康平

【研究内容】先進的な博物館の学校教育対応と展示環境の調査を通して、博学連携による博物館学習及び学校教育に対応した博物館展示のあり方について研究する。博物館の学校利用の現状を分析し、実態に即した博物館学習と展示改善を推進する。

【年度実績】感染症対策のため博物館を学校が利用しにくい現状の中で、オンラインシンポジウム等を活用して他館の情報を集めた。教員に向けて学習キットやホームページを利用した教材の紹介を行い、学校から博物館に直接来られなくても学習に活用できるようにした。

2 研究員の執筆・研究発表

(1) 執筆

・桑原和之・糠谷 隆・斉藤敏一・箕輪義隆・隈部 修. 2021. いきもの調査隊報告9. たかつば通信. (13): 2-3.

3 研究交流

(1) 各種委員・非常勤講師等の受託

秋山笑子 ・非常勤講師／立正大学「博物館展示論」／2020.10-2021.3

第3 大多喜城分館

1 研究課題

(1) 地域研究

ウ 人類誌系（房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究）

① 鳥瞰図などから見る房総

【担 当】 渡辺善司

【研究内容】 鳥瞰図などの資料から描かれた当時の房総の姿を明らかにし、加えて現在に至るまでの歴史の変遷を追う。
【年度実績】 基本事項の確認のため、鳥瞰図の描かれた当時の新聞記事を収集した。

② 明治期銅版画に関する研究

【担 当】 大谷弘幸

【研究内容】 「博覧図」等の明治期銅版画について、出版社・絵師・彫師などを通じてその制作過程や変遷を調査するとともに、県内の産業・風俗などについて考察する。

【年度実績】 「博覧図」の発行元である精行社について、会社の事業・代表者の変遷についてまとめるとともに、精行社に関連する神社玉垣石柱の調査を行った。

エ 博物館誌系（博物館とその社会的役割に関する研究）

① 博物館と学校の連携の在り方に関する研究

【担 当】 藤原友里

【研究内容】 既存の学習プログラムの効果の検証と、新規の学習プログラムによる出前授業の提示を行う。子どもたちの学びや内容を広げることができる場として、博物館を利用することの意義を浸透させていくことを研究の目的とし、よりよい博学連携の在り方を考察する。

【年度実績】 コロナ禍で出前授業や学校団体の来館を断らざるを得ない状況の中、博学連携を進めることが大変難しかった。甲冑の試着体験も実施できなかったが、HPに「甲冑の着方」等をアップし、オンラインを活用して博物館に興味関心を持ってもらえるよう工夫した。新しい学習プログラムづくりを学校と連携して行うため、教員と意見交換を行う等、安心して活用できるプログラム開発を行っている。

(2) 普遍研究

ウ 人類誌系（景観史という新領域の創出）

④ 原始・古代農耕技術に関する研究

【担 当】 大谷弘幸

【研究内容】 農耕生産の場である水田跡や畠跡などの遺構、生産用具である農具、生産物である穀類などの種実から、弥生時代から古代にかけての農業技術の変遷や生産物の対象について考察する。

【年度実績】 水田遺構と農耕具の変遷について資料収集を行い、成果の一部を県教育委員会発行の発掘調査報告書『市原条里制遺跡』に原稿を掲載した。

2 研究員の執筆・研究発表

(1) 執筆

渡辺善司

普及書

- ・ 渡辺善司. 2020. 続100名城 No. 122 大多喜城. 城郭ニュース. 149: 12.
- ・ 渡辺善司. 2021. 千葉県立中央博物館大多喜城分館について. 関東の博物館. 45: 18.

大谷弘幸

学術報告書

- ・ 大谷弘幸. 2021. 弥生時代以降の遺物. In: 千葉県教育委員会(編). 千葉県教育委員会発掘調査報告書『市原条里制遺跡』. pp. 123-160, 174-177. 千葉県教育委員会. 千葉市.

普及書

- ・ 大谷弘幸. 2020. 福を呼ぶ小袖と房総の万祝. In: 大多喜城分館(編). 令和2年度企画展図録. 24 pp. 大多喜町.
- ・ 大谷弘幸. 2020. 鳥瞰図でたどる大多喜の街と歴史的建物. In: 大多喜城分館(編). 令和2年度街並み探検. 13 pp. 大多喜町.

(2) 研究発表

- ・ 大谷弘幸/2020. 10. 31/鳥瞰図でたどる大多喜の街と歴史的建物/令和2年度街並み探検/大多喜城分館/大多喜町.

第4 分館海の博物館

1 研究課題

(1) 地域研究 房総半島の海洋生物相とその特徴

① 房総半島沿岸の魚類相

【担 当】 川瀬裕司

【研究内容】 房総半島は北部と南部、太平洋岸と東京湾岸で海洋環境が大きく異なり、千葉県全体として多様な魚類相が形成されている。この魚類相の特徴を、県内および県外各地からの標本・資料収集により明らかにする。

【年度実績】地元漁業者や一般の方から提供された魚類の標本登録をはじめ、県内で採集した魚類の標本登録を行った。また、この10年間に海の博物館周辺の沿岸域に設置した温度ロガーにより記録された海水温データを解析して、地球温暖化による海洋生物相の影響を評価する上で基礎的知見となる海水温の変動を千葉中央博研報特別号11で報告するとともに、海水温データをオンラインで公開した。

② 房総半島の海産無脊椎動物相

【担当】奥野淳兒・柳研介・立川浩之

【研究内容】房総半島に生息する海産無脊椎動物相を掌握するため、資料の収集、同定、分類学的研究等を行う。

【年度実績】開館20周年記念の論文集『房総半島の海洋生物誌II-分館海の博物館の研究成果に基づいて-』に千葉県産イシサンゴ類、千葉県産多毛類、館山産貝類、ならびに勝浦産十脚甲殻類に関する論文を公表し、房総半島の海産無脊椎動物相の解明を進展した。

③ 房総半島沿岸の海藻相

【担当】菊地則雄

【研究内容】房総半島沿岸の海藻相とその特徴を明らかにする。

【年度実績】勝浦市を中心に適宜採集を行い、86点の資料を登録した。海の博物館に登録・保存されている海藻、海産種子植物標本を基に、勝浦市沿岸の海産植物のリストの改訂版を作成し、20周年記念論文集で公表した。

(2) 専門研究

① 学校に収蔵されている自然誌標本の調査、保存と活用

【担当】斎木健一

【研究内容】千葉県内の学校に保存されている古い自然誌標本や調査記録を調査し、千葉県のかつての自然環境についての記録を保存する。あわせて、学校において標本や調査記録の蓄積が行われた時代背景を考察する。

【年度実績】千葉県立木更津高校、国分高校、国府台高校、船橋高校、千葉女子高校、安房拓心高校、私立市川学園高校の各校の標本を調査し、データを収集した。

② 沿岸性魚類の繁殖生態

【担当】川瀬裕司

【研究内容】沿岸性海産魚類の繁殖生態（なわばり行動、産卵行動、卵保護行動など）について、フィールド観察を主体にして明らかにする。

【年度実績】新型コロナウイルスの影響により沖縄県でのフィールド調査を行えなかったため、現地から取り寄せた研究対象種（トンガリハゼ属の1種-3）の繁殖行動を海の博物館の水槽内で観察した。

③ 日本産共生性コエビ類の分類学的研究

【担当】奥野淳兒

【研究内容】テナガエビ科を中心として、様々な海産無脊椎動物と共生するコエビ類の分類学的研究を行う。

【年度実績】ヤドカリが背負う貝殻に付着したイソギンチャク類と共生するゴウザンゼカクレエビ *Periclimenes dardanicola* Bruce and Okuno, 2006 の追加標本を得ることができた。本種の胸脚に特異的な形態形質を有するため、属位をホンカクレエビ属 *Periclimenes* から移動するための分類学的研究を進めた。

④ 原始紅藻亜綱植物の分類学的、生態学的研究

【担当】菊地則雄

【研究内容】日本産原始紅藻亜綱植物の分類学的再検討を行うとともに、生活史について明らかにする。

【年度実績】外房産アマノリ類の一未記載種について、これまでの研究結果を基に新種記載の論文作成を進めるとともに、アマノリ類の一属が分子系統解析を基に再編されたことから、日本産の1種、1変種、1品種の属の変更を公表した。

⑤ イソギンチャク類の分類・生態学的研究

【担当】柳研介

【研究内容】イソギンチャク類について、その「形」を明らかにしていくとともに、DNA解析の手法を用いた検証を行い、日本産のイソギンチャク類の分類の再検討を行う。タイプ標本の検討のため、海外での調査を行う。

【年度実績】出張制限によりクマノミ類と共生するイソギンチャク類についての研究は進展しなかったが、従来から標本を入手していたイソギンチャク類数種について、分類学的な研究を進めた。

⑥ 日本産イシサンゴ類の分類・生物地理に関する研究

【担当】立川浩之

【研究内容】日本産のイシサンゴ類はこれまでにおよそ500種が知られるが、無藻性種や温帯域の有藻性種を中心に従来の同定を再検討すべき種が多数存在する。本研究では、これらの種の再検討を中心として、日本産イシサンゴ類の分類学的・生物地理学的研究を行う。

【年度実績】館所蔵のイシサンゴ類標本の再整理を行い、千葉県産の有藻性イシサンゴ類標本のデータを取りまとめて論文として公表した。また、ハナサンゴ科イシサンゴ類の分類学的検討を行い、その成果を論文として公表した。

⑦ 房総半島における自然災害史の研究

【担当】本吉正宏

【研究内容】自然災害のうち地震津波と火山噴火に焦点を当てて、県内を取りあげた古文書等史料を調査し、地震津波の規模ならびに噴火の様子や被害状況などを明らかにする。

【年度実績】九十九里地域での現地調査（野外）を3か所で行った。また史料整理の中で大正関東地震を含む複数の近代における自然災害に係る記事を見出すことができた。

⑧ 新学習指導要領に準拠した学習キット、出前授業キットの研究

【担当】吉田真照

【研究内容】2020年度より小学校から順に全面実施される新学習指導要領を検証し、学校側がより使いやすい学習キット、出前授業キットの在り方を研究する。

【年度実績】改定された新・小中学校学習指導要領に、総則、理科、社会科の学習内容として海洋生物や海洋学習に関する内容が規定されていないことが分かった。学校側のニーズにこたえるためには教科学習を支援する学習キットの作成よりも、地域を学ぶ総合学習や個人の知的探求心を支援することが必要と考え、当分館が発行する「海の生きもの観察ノート」に自由に触れられる「海博コーナー」を近隣学校に常設してもらう活動を進めた。

2 外部資金等による研究

(1) 文部科学省科学研究費補助金による研究

ア 研究代表者

- ① フグが「ミステリーサークル」を建設するロジックを解明する—3Dシミュレーション

【担 当】川瀬裕司

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】新学術領域研究／公募班／平成30年度／2年間（1年間延長）

- ② クマノミ類の宿主イソギンチャク類の分類学的混乱の解決に向けて

【担 当】柳 研介

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究（C）／一般／平成29年度／4年間

- ③ 学校に収蔵された標本類を通じた博学連携

【担 当】齋木健一

【研究分担者】黒住耐二・下稲葉さやか

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究（C）／一般／令和元年度／4年間

- ④ 博物館資料に基づく東京湾産十脚甲殻類相の推移と環境変遷

【担 当】奥野淳児

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究（C）／一般／令和元年度／3年間

- ⑤ ハゼが海底につくる「ミステリーサークル」の適応的意義と形成ロジックの解明

【担 当】川瀬裕司

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究（C）／一般／令和元年度／4年間

3 研究成果の公表・周知

(1) うみはくセミナー（会場：新型コロナウイルス対策のため、Zoomによるオンラインで開催）

- ① 令和2年11月26日(木)16:40～17:10

川瀬裕司 「南房総沖「キンメ場」漁場で採集された魚類」

- ② 令和3年2月10日(水)16:40～17:10

柳 研介（分館海の博物館）・泉 貴人（琉球大学）「キノコギンチャクは新種だった」

- ③ 令和3年2月18日(木)16:20～16:50

齋木健一 「学校に保管されている標本について」

- ④ 令和3年3月3日(水)16:40～17:10

奥野淳児 「外房潮間帯の十脚甲殻類」

- ⑤ 令和3年3月10日(水)16:40～17:10

吉田真照 「コロナ禍における学校教育支援活動の一方策について」

4 研究員の執筆・研究発表

(1) 執筆

※海の博物館メールマガジン『海からのたより』連載への執筆は、「V情報の発信 2(2) イ.メルマガコラム」を参照のこと。

齋木健一

普及書

・天野 誠・齋木健一（監修）2020. 植物. 講談社の動く図鑑 MOVE mini. 224 pp. 講談社. 東京都文京区.

川瀬裕司

学術論文・学術書

・川瀬裕司. 2021. 千葉県勝浦市沿岸岩礁域の海水温—温度ロガーによる2010～2020年の記録. 千葉中央博研究報告特別号(11): 85-93.

・Kawase, H. 2021. Data on the Seawater and Atmospheric Temperature Recorded by Data Logger in Katsuura, Pacific Coast of Japan. J. Nat. Hist. Mus. Inst., Chiba Special Issue (11): 95-99.

報告書

・川瀬裕司・奥野淳児・菊地則雄. 2021. 房総半島の海洋生物誌(2011～2020年)の概要. 千葉中央博研究報告特別号(11): 1-7.

奥野淳児

学術論文・学術書

・Okuno, J. and T. Naruse. 2020. Redescription of a bizarre crab, *Oreotlos pala* Tan & Ng, 1996 (Decapoda, Brachyura, Leucosiidae). Fauna Ryukyuna, 57: 21-26.

・Takeda, M. and J. Okuno. 2020. Three species of crabs from submarine cave in Hachijo-jima Island, the Izu Islands, off the Pacific coast of central Japan. Bulletin of the Center for Fundamental Education Teikyo University of Science, 3: 41-49.

・奥野淳児, 2020. 環境教育学と生物分類学をつなぐ—ビジターセンター的活動を展開する自然史博物館. 博物館研究, 55(12): 17-20.

- ・奥野淳兒・島村嘉一・木村喜芳. 2020. 横浜市内の都市部で採集されたサワガニ *Geothelphusa dehaani* (White) (甲殻上綱: 十脚目). 日本生物地理学会会報, 75: 105-110.
- ・奥野淳兒・村田明久・高山順子. 2021. 千葉県立中央博物館分館海の博物館所蔵標本に基づく千葉県勝浦市吉尾周辺の潮間帯産十脚甲殻類相(甲殻亜門: 軟甲綱). 千葉中央博研究報告特別号. (11): 73-84.

報告書

- ・川瀬裕司・奥野淳兒・菊地則雄. 2021. 房総半島の海洋生物誌(2011~2020年)の概要. 千葉中央博研究報告特別号 (11): 1-7.

菊地則雄

学術論文・学術書

- ・Kikuchi, N. and K. Niwa 2020. New combinations in *Neopyropia* J. Brodie & L.-E. Yang (Bangiaceae, Rhodophyta) from Japan. *Notulae Algarum*. (141): 1-5.
- ・菊地則雄・山田和彦・江良弘光・秋田晋吾・寫田 智. 2020. 神奈川県小網代干潟における絶滅危惧種紅藻アサクサノリの生育. 観音崎自然博物館研究報告 たたらはま. (24): 6-11.
- ・瀬戸彩映里・秋田晋吾・横山雄彦・菊地則雄・寫田 智. 2020. 紅藻アマノリ類2種における遊離アミノ酸量と培養塩濃度条件との関係. *Algal Resources*. 13: 103-106.
- ・菊地則雄・宮田昌彦. 2021. 千葉県勝浦市沿岸の海産植物相(改訂). 千葉中央博研究報告特別号. (11): 9-24.
- ・鈴木稔・菊地則雄. 2021. 房総半島に生育する紅藻ソゾ属の化学的多様性. 千葉中央博研究報告特別号. (11): 25-33.

報告書

- ・川瀬裕司・奥野淳兒・菊地則雄. 2021. 房総半島の海洋生物誌(2011~2020年)の概要. 千葉中央博研究報告特別号 (11): 1-7.

普及書

- ・菊地則雄. 2020. 第3章 形態と分類. In: 二羽恭介(編著). シリーズ水産の科学④ ノリの科学. pp. 32-61. 朝倉書店. 東京都新宿区.
- ・菊地則雄・有賀祐勝. 2020. 第4章 生理生態 4.1 葉状体と糸状体の特性. In: 二羽恭介(編著). シリーズ水産の科学④ ノリの科学. pp. 62-72. 朝倉書店. 東京都新宿区.
- ・菊地則雄. 2021. 房総半島周辺の藻場とその現状. 科学技術教育 (232): 16-17.

柳 研介

学術論文・学術書

- ・Reimer, J.D., T. Fujii, H. Kise, K. Yanagi, K. Cook, J. Cant, K. Koeda, T. Koido, T. Kitamura and T. Mezaki. 2020. A *Goniopora stokesi* community at Tatsugasako, Otsuki, Kochi, Japan: a new northernmost specimen-based record. *Plankton & Benthos Research*. 15: 185-187. DOI <https://doi.org/10.3800/pbr.15.185>
- ・Reimer, J.D., K. Yanagi, H. Kise, A. Polisenio, Y. Kushida, H. Saeedi & D. Lindsay. 2020. Chapter 3. Cnidaria and Ctenophora. Review of deep-sea Cnidaria and Ctenophora fauna in the NW Pacific Ocean. In Saeedi, H. & Brandt, A (eds.). *Bigeographic Atlas of the Deep NW Pacific Fauna*. pp. 67-89. Pensoft. Sofia, Bulgaria.
- ・Izumi, T., K. Yanagi & T. Fujita. 2020. Comprehensive revision of *Anemonactis* (Cnidaria: Anthozoa: Actiniaria: Haloclavidae) in Japan: reestablishment of *Anemonactis minuta* (Wassilieff, 1908) comb. nov. and description of *Anemonactis tohrui* sp. nov. *Marine Biodiversity*. 50: 73. DOI <https://doi.org/10.1007/s12526-020-01085-5>
- ・柳 研介. 2021. 「海の観察ノート No. 14 ゴカイのなかまを観察しよう」に収録された多毛類標本について. 千葉中央博研究報告特別号. (11): 47-53.

普及書

- ・平野弥生・柳 研介. 2020. ビゼンクラゲ. in 倉敷市立自然史博物館(編集). 岡山県のレッドデータ生物 2020. p.30. 倉敷市立自然史博物館. 倉敷市.

立川浩之

学術論文・学術書

- ・Fujii, T., Y. F. Kitano and H. Tachikawa. 2020. New distributional records of three species of Euphylliidae (Cnidaria, Anthozoa, Hexacorallia, Scleractinia) from the Ryukyu Islands, Japan. *Species Diversity*, 25(2): 275-282.
- ・立川浩之. 2020. 千葉県立中央博物館分館海の博物館に収蔵されている千葉県産有藻性イシサンゴ類標本(刺胞動物門: 花虫綱). 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (11): 35-45.
- ・立川浩之・黒住耐二. 2020. 千葉県館山湾からドレッジにより採集された興味ある貝類. 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (11): 55-71.

(2) 研究発表

川瀬裕司

- ・川瀬裕司/2020.10/南房総沖「キンメ場」漁場で採集された魚類/2020年度日本魚類学会年会/オンライン.

菊地則雄

- ・佐野文菜・菊地則雄・二羽恭介/2021.3/東日本におけるアマノリ属異質倍数体の探索と生長特性/日本水産学会春季大会/オンライン.

5 研究交流

(1) 海外出張 該当なし

(2) 各種委員・非常勤講師等の受託

- 齋木健一
 - ・八千代市立郷土博物館協議会委員/八千代市教育委員会/2020.7-2021.3
 - ・千葉県勝浦海中公園センター評議員/一般財団法人千葉県勝浦海中公園センター/2020.4-2021.3

- 川瀬裕司
 - ・千葉大学大学院理学研究科非常勤講師/千葉大学大学院理学研究院/2020.4-2021.3

- 菊地則雄
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員（植物・菌類部会：藻類）／千葉県環境生活部自然保護課／2020.4-2021.3
 - ・千葉県ミヤコタナゴ保全協議会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2018.4.1-（期限明記なし）
 - ・非常勤講師／東京大学／2020.10-2021.3
 - ・勝浦市浜勝浦川浄化対策推進協議会委員／勝浦市／2020.4-2021.3
- 立川浩之
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2020.4-2021.3
 - ・絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会サンゴ類分科会委員／（一財）自然環境研究センター／2020.7-2021.3
- 本吉正宏
- ・いすみ市文化財審議会委員／いすみ市教育委員会／2020.4-2022.3
 - ・いすみ市郷土資料館運営協議会委員／いすみ市教育委員会／2020.4-2022.3
 - ・勝浦市文化財審議会委員／勝浦市教育委員会／2019.4-2021.3
 - ・南房総市文化財審議会委員／南房総市教育委員会／2020.4-2022.3

(3) 共同研究員の受入れ

ア 共同研究員

共同研究員は、当館職員と共同で当館の資料や設備等を利用して研究を行う館外の研究者・専門家で、本年度は5名（継続4名、新規1名）を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
鈴木 稔	房総半島沿岸域に生育するソゾ属(<i>Laurencia</i>)海藻の成分分類学的研究	菊地則雄	継続
平野弥生	Medusozoa の刺胞動物の多様性と生活史に関する研究	柳 研介	継続
泉 貴人	変形イソギンチャク亜目イソギンチャクの系統分類学	柳 研介	継続
吉川晟弘	ヤドカリと共生するキンカライソギンチャク属の系統分類学的研究	柳 研介	新規
吉田隆太	館山湾を中心とした南房総の甲殻類相の解明	奥野淳兒	継続

Ⅲ 展示

第1 本館

1 常設展示

(1) 常設展示の更新

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
房総の地質	房総丘陵の地質-房総丘陵の化石	カルカロドン・メガロドン(レプリカ) 2点	学名変更 (オトダス・メガロドン)
	房総丘陵の地質-房総丘陵の化石	カルカロドン・メガロドン(化石)	学名変更 (オトダス・メガロドン)
	房総丘陵の地質-房総丘陵の化石	ミウラホタテ(化石)	和名変更 (ミウラニシキ)
	房総丘陵の地質-房総丘陵の化石	アルゴノータ・イトイガワイ(レプリカ)	展示場所変更
	房総丘陵の地質-房総丘陵の化石	オウムガイの一種(レプリカ)	展示場所変更
	房総丘陵の地質-房総丘陵の化石	タコブネの殻(現生標本)	展示場所変更
	房総丘陵の地質-房総丘陵の化石	リュウグウオキナエビスガイ(化石)	展示場所変更
	房総丘陵の地質-房総丘陵の化石	現生バニオキナエビスガイ(現生標本)	展示場所変更
	房総丘陵の地質-房総丘陵の化石	古代大ザメの海(複合パネル)	解説文
	房総丘陵の地質-房総丘陵の化石	カルカロドン・メガロドン(イラストパ ネル)	解説文・学名変更 (オトダス・メガロドン)
	上総丘陵の地質-上総丘陵の化石	映像コーナー紹介パネル	新規
	下総台地の地質-下総台地の化石	ナウマンゾウミニチュア頭骨模型	新規
	下総台地の地質-下総台地の化石	ナウマンゾウ生体復元模型	新規
	下総台地の地質-下総台地の化石	ナウマンゾウ生体復元模型 (写真パネル)	新規
	下総台地の地質-下総台地の化石	ヤベオオツノジカ生体復元模型	新規
	下総台地の地質-下総台地の化石	ヤベオオツノジカ頭骨(化石)	新規
	下総台地の地質-下総台地の化石	下総層群の貝化石(解説パネル)	新規
	下総台地の地質-下総台地の化石	ホホジロザメの歯(レプリカ)	撤収
	下総台地の地質-下総台地の化石	クジラ類の指骨(レプリカ)	撤収
	下総台地の地質-下総台地の化石	ヒノトボタル(化石)	撤収
地震と房総	解説シート	令和2年度に観測された地震の データを紹介	
映像コーナー	文字パネル	更新	
映像コーナー	日本近海の海水温分布(映像)	撤収	
映像コーナー	天然記念物でみる房総の大地の歴史 (映像)	撤収	
房総の生物	東京大学千葉演習林	シダ植物観察のポイントパネル	新設
	東京大学千葉演習林	シダ植物和名・学名のキャプション	新たな分類体験(PPG I)に基づき 和名、学名等を修正した。
	東京大学千葉演習林	シダ植物観察のポイントパネル	新設
生物の分類	生態園紹介コーナー	生態園案内図	内容修正、差し替え
房総の歴史	近世の信仰	日進筆曼荼羅	新規追加、解説パネル・キャプショ ンの追加
	村と町	高木胤則書状、植村土佐守泰忠定書	解説パネルの追加、キャプション 変更
	村と町	村方差出長、申年田畑御物成可納割之事	資料撤収(借用資料を返却)
	村と町	五人組帳	資料撤収
	村と町	村差出下総国海上郡芦崎村(村明細帳)、 下総国海上郡芦崎村人別五人組帳(宗門 人別帳)	新規追加、解説パネル・キャプショ ンの追加
	村と町	白井郷長者町市町屋敷割本帳写	解説パネルの追加、キャプション 変更

(2) 展示室音声ガイド機器の貸出

常設展示の解説を聞くことができる展示室音声ガイド機器(台数:10台)の貸出を行った。

貸出月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出回数									14	15	0	11	40回

※コロナ感染症対策のため、令和2年5月24日まで、及び、令和3年1月9日から3月21日までは臨時休館となったほか、令和2年11月6日までは、音声ガイドの使用を停止した。

2 野外展示（生態園）

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
オリエンテーションハウス	生態園とは	生態園とは？	新規パネル製作
	生態園とは	生態園の沿革	新規パネル製作
	生態園とは	房総の森林や草地の再現	新規パネル製作
	生態園とは	生態園周辺の景観変化(簡易版)	新規パネル製作
	生態園とは	生態園周辺の景観変化(詳細版)	新規パネル製作(3枚)
	生態園模型		キャプション更新・追加(15枚)
	生態園模型	海岸植生	新規パネル製作
	生態園模型	岩石観察地	新規パネル製作
	生態園模型	照葉樹林	新規パネル製作
	生態園模型	モミ林	新規パネル製作
	生態園模型	イヌシデ・コナラ林	新規パネル製作
	生態園模型	消えたアカマツ林	新規パネル製作
	生態園模型	ススキ草地	新規パネル製作
	生態園模型	シラカシ林	新規パネル製作
	生態園模型	保存林	新規パネル製作
	生態園模型	マダケ林	新規パネル製作
	生態園模型	湿地林	新規パネル製作
	生態園の管理・研究・活用	舟田池の管理	新規パネル製作
	生態園の管理・研究・活用	植生の管理	新規パネル製作
	生態園の管理・研究・活用	鳥類モニタリング	新規パネル製作
	生態園の管理・研究・活用	埋土種子による土着水草再生	新規パネル製作
	生態園の管理・研究・活用	毎木調査・フロラ調査	新規パネル製作
	生態園の管理・研究・活用	モニタリング生きもの調べ写真記録	新規パネル製作
	生態園の管理・研究・活用	昆虫調査	新規パネル製作
	生態園の管理・研究・活用	哺乳類調査	新規パネル製作
	生態園の管理・研究・活用	森の調査隊	新規パネル製作
	生態園の管理・研究・活用	あなたの発見教えてください	新規パネル製作
	生態園の管理・研究・活用	生態園のボランティア	新規パネル製作
	生態園で観察できる生きものたち	舟田池の生きものたち	新規パネル製作
	生態園で観察できる生きものたち	蘚苔類・菌類・地衣類	新規パネル製作
	生態園で観察できる生きものたち	植物の四季	新規パネル製作
	生態園で観察できる生きものたち	両生類・爬虫類	新規パネル製作
	生態園で観察できる生きものたち	鳥類の四季	新規パネル製作
	生態園で観察できる生きものたち	生態園で観察できる昆虫	標本 132 種(155 個体、ドイツ箱 3 箱)新規追加
	生態園で観察できる生きものたち	鳥類(アオサギ)	新規パネル製作、アオサギ剥製新規追加
	生態園で観察できる生きものたち	哺乳類	新規パネル製作
生態園の 30 年の変化	植物	新規パネル製作(2枚)	
生態園の 30 年の変化	鳥類	新規パネル製作(2枚)	
生態園の 30 年の変化	哺乳類	新規パネル製作	
生態園の 30 年の変化	蘚苔類	新規パネル製作	
生態園の 30 年の変化	1990 年の生態園の映像	動画新規追加	
職員紹介	生態園の職員紹介	新規パネル製作	
園路	園路解説板(各所)		アクリルカバー交換(11基)
	園路解説板(海岸の自然)	砂浜	新規パネル製作
	園路解説板(海岸植物)	海岸の地形と植物	新規パネル製作
	園路解説板(岩石観察地)	岩石観察地マップ	新規パネル製作
	園路解説板(常緑広葉樹林(照葉樹林))	常緑広葉樹の葉	新規パネル製作
	園路解説板(常緑広葉樹林の「森林移植」)	森林移植地の変遷	新規パネル製作
	園路解説板(モミ林)	モミ林の針葉樹	新規パネル製作
	園路解説板(アカマツ林)	アカマツ林から落葉広葉樹林へ	新規パネル製作
	園路解説板(ススキ草地)	ススキ草地で見られる虫たち	新規パネル製作
	園路解説板(落葉広葉樹林(夏緑樹林))	イヌシデ・コナラ林、イヌシデ・コナラ林のおもな木	新規パネル製作(上下2枚)
	園路解説板(池のなかの生きもの)	舟田池まわりの生きものたち	新規パネル製作

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
	生態園案内図(野鳥観察舎前)	生態園案内図	内容修正、差し替え
	各所	園内エリア案内板	新規追加(32枚)
	各所	植生境界案内板	新規追加(16枚)
	気象観測データ中継ボックス	生態園の30年の変化「気象」	新規パネル製作(2枚)
	各所	スマートフォンでよめる生態園ガイド	新規パネル製作(9枚)
	各所	あなたの発見おしえてください	追加(30枚)
	各所	道案内用マップ	更新(6枚)
	各所	植物解説板	入れ替え・追加(計15枚)
	各所	樹名板	交換・追加(計40枚)
植生管理	イヌシデ・コナラ林	ナラ枯れ被害木(コナラ・ミズナラ)	伐倒(各1本)
	照葉樹林	ミヤマトベラ	植栽(3個体)
	せせらぎ	ミゾソバ	播種
	ススキ草地	ススキ	植栽(1株)
	舟田池の周囲	鳥の止まり木になる樹木	伐採(約30本)
	各所	鳥散布樹木・つる植物(シュロ・アオキ・ヤツデ・トウネズミモチ・タブノキ・シロダモ・マンリョウ・フジ等)	間引き伐採(計約250本)
舟田池管理	舟田池	抽水植物(マコモ・ヨシ・ヒメガマ等)	抽水植物の保護のための水位攪乱による食害生物アメリカザリガニ低密度管理
湿原再生に係る準備作業	湿原	ハリエンジュ・アズマネザサ等	伐開(伐採・刈り払いのみ、抜根なし)約920㎡
	湿原	旧木道	西側腐朽木道の撤去

3 企画展

- (1) 千葉県立中央博物館 企画展「ちばの縄文―貝塚からさぐる縄文人のくらし―」
 ア 会 期 令和2年10月10日(土)～12月13日(日) [開催日数56日間]
 [当初予定期間：令和2年7月18日(土)～9月22日(火・祝)]
 イ 会 場 第1企画展示室、第2企画展示室、2階ホール
 ウ 主 催 等 (ア) 主 催 千葉県立中央博物館
 (イ) 後 援 朝日新聞社千葉総局、NHK千葉放送局、千葉テレビ放送、株式会社千葉日報社、bayfm、毎日新聞社千葉支局、読売新聞千葉支局
 (ウ) 協 力 アリオ蘇我、京葉銀行、そごう千葉店、千葉銀行、千葉興業銀行
 (エ) 特別協力 独立行政法人国立文化財機構文化財活用センター、東京国立博物館
 エ 入 場 者 数 10,564人
 オ 主 担 当 者 田邊由美子
 カ 概 要 全国の縄文貝塚の約3割が所在する千葉県は、日本考古学の黎明期から絶好の研究フィールドとして注目されてきた。その歴史を振り返りつつ、また、近年得られた新たな知見も加え、千葉県の素晴らしい遺跡・遺物から復元される縄文文化や当時のくらしの様子について、展示、解説した。また、「縄文」をテーマとするイベント等の事業を、千葉県立中央図書館や千葉市立加曽利貝塚博物館などの社会教育施設と連携して行った。
 キ 主な展示資料 考古資料(実物・レプリカ)499点(重要文化財 銚子市余山貝塚出土土偶、成田市南羽島中岫1遺跡出土品、松戸市幸田貝塚出土品など)、書籍等12点(『観古帖』、『貝塚土器模様』など)等 合計558点
 ク 関 連 事 業 (ア) 内覧会 10月9日(金)
 (イ) 上映会「縄文文化とその魅力」 出演：小林達雄、岡本東三 11月3日(火・祝)、28日(土)、12月10日(木)
 (ウ) 土器ッと古代宅配便 勾玉づくり 講師：千葉県教育庁文化財課 10月11日(日)、11月8日(日)、12月6日(日)
 (エ) 縄文の日 11月28日(土)
 (オ) 家族で挑戦!「縄文お宝はっけんツアー」11月28日(土)、29日(日)、12月5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)
 ケ 印 刷 物 (ア) チラシ A4版カラー両面/45,000枚
 (イ) ポスター A2版カラー/300枚
 (ウ) 解説パンフレット A4版/9,000部
 (エ) クリアフォルダ A4版カラー/3,400枚
 (オ) 入場券 7,000枚
 (カ) ワークシート A4版/200枚

4 季節展

- (1) 春の展示「うめ・もも・さくら」
 ア 会 期 令和2年2月15日(土)～6月28日(日) [※実質開催日数：24日間(令和2年度)]
 [当初予定期間：令和2年2月15日(土)～5月17日(日)]
 [※臨時休館：令和2年3月3日(火)～5月24日(日)、6月2日から展示再開]

イ 会 場 第2企画展示室、第1ホール、展示室前廊下
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
 エ 入 場 者 数 2,340名(令和2年度：6月2日～6月28日)
 オ 主 担 当 者 水野大樹
 カ 概 要 日本人にはなじみ深い春の植物である、うめ・もも・さくらについて、標本や浮世絵を用いて、科学的・文化的側面から紹介した。標本を中心に分類学的な解説をしたほか、うめ・もも・さくらを利用した製品や、絵葉書などを展示し、人とのかかわりについても解説した。

キ 主な展示資料 果実液浸標本、バラ科植物さく葉標本、シダ乾燥標本、クマノザクラさく葉標本、野生サクラ類さく葉標本、天狗巣病標本、園芸品種さく葉標本、ウメさく葉標本、ウグイス標本、モモ果実液浸標本、モモ類種子標本、遺跡出土遺物、サクラ類加工品、昆虫・魚類標本、浮世絵複製、絵葉書等計103点

ク 関 連 事 業 (ア) うめ・もも・さくらの押し花でしおりをつくろう 4月29日(水・祝)※開催中止
 (イ) うめ・もも・さくらクイズ 5月6日(水・祝) ※開催中止
 (ウ) ミュージアムトーク 4月18日(土)、5月2日(土)、5月17日(土)※いずれも開催中止

ケ 印 刷 物 (ア) チラシ A4版カラー両面/25,000枚
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(2) 収蔵資料展 「ノスタルジック・ポストカード」

当初、季節展として企画したが、コロナ感染症対策により、開催時期が変更となり、収蔵資料展として開催した。

ア 会 期 令和3年3月23日(火)～5月30日(日) [※実質開催日数：8日間(令和2年度)]
 [当初予定期間：令和3年1月9日(土)～3月7日(日)]
 [※臨時休館：令和3年1月9日(火)～3月21日(日)]

イ 会 場 第2企画展示室、展示室前廊下
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
 エ 入 場 者 数 1,310名(令和2年度：3月23日～3月31日)
 オ 主 担 当 者 小田島高之
 カ 概 要 近年当館が寄贈を受けた故菱田忠義氏の膨大な絵はがきコレクションを中心に、絵はがきの歴史やその役割の移り変わり等について紹介し、次に、絵はがきに記録された懐かしい風景が、その後どのように変化して来たか、様々な時代の絵はがきや現在の写真などを通して紹介した。

キ 主な展示資料 絵はがき、写真、観光パンフレット等217点、解説パネル31点、合計248点

ク 印 刷 物 (ア) チラシ A4版カラー両面/10,000部
 (イ) 解説パンフレット A4版カラー4ページ/8,000部
 (ウ) ノベルティ用絵はがき 2種/各4,000部
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(3) 春の展示 「九十九里浜の自然誌」

ア 会 期 令和3年3月23日(火)～3年5月30日(日) [※実質開催日数：8日間(令和2年度)]
 [当初予定期間：令和3年3月9日(土)～5月30日(日)]
 [※臨時休館：令和3年1月9日(火)～3月21日(日)]

イ 会 場 第1企画展示室
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
 エ 入 場 者 数 1,310名(令和2年度：3月23日～3月31日)
 オ 主 担 当 者 由良 浩
 カ 概 要 約60kmにわたって、連続する砂浜である九十九里浜をとりあげ、九十九里浜ができるまでの地史やそこで見られる生き物、屋気楼などの面白い現象を、標本や写真、動画、解説パネルなどで紹介した。また、九十九里浜からの恵みや、今深刻な状況にある侵食の問題などについても触れた。

キ 主な展示資料 アカウミガメの剥製、ボーリングコアやコアの剥ぎ取り標本、野鳥の剥製、動植物の写真や動画、魚類や貝類、カニなどの標本、万祝やいわしを運ぶためのヤッサかご、屋気楼の写真と動画等。217点、解説パネル31点、合計248点

ク 関 連 行 事 (ア) シンポジウム「九十九里浜の侵食を考える」
 ※講堂での講演を取りやめ、講演録画を視聴希望者にネット配信した。
 (イ) 観察会 「砂浜の生きものを観察しよう」 5月30日 ※開催中止
 「九十九里浜で屋気楼を観察しよう」 2月13日 ※開催中止

ケ 印 刷 物 (ア) チラシ A4版カラー両面/30,000部
 (イ) 解説パンフレット A4版カラー4ページ/10,000部
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

5 生態園トピックス展

(1) 生態園の外来哺乳類

ア 会 期 ※令和2年度は公開の機会がなかった。
 [当初予定期間：令和2年1月15日(水)～4月19日(日)]
 [延長期間：令和2年4月20日(月)～7月5日(日)]
 [※生態園臨時休園：令和2年1月9日(土)～5月24日(日)]
 [※生態園オリエンテーションハウス閉舎：～令和2年7月31日(土)]

イ 会 場 生態園オリエンテーションハウス
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
 オ 主 担 当 者 下稲葉さやか

- エ 概 要 開園から30年が経過した生態園では、アライグマやハクビシンといった外来の哺乳類が確認されるようになった。本展示では、イエネコを含む生態園の外来哺乳類について紹介するとともに生態園の外来哺乳類の影響を調べるために実施している調査の方法について展示した。
- オ 主な展示資料 解説パネル17枚、哺乳類標本5点(頭骨4点、仮剥製1点)、ハンズ・オン資料4点、生態園の哺乳類の動画一式
- カ 印刷物 ポスター A2版カラー片面/5枚
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(2) タネの大冒険

- ア 会 期 令和2年8月1日(土)～12月27日(日)※土日祝日のみ〔開催日数：48日間〕
〔当初予定期間：令和2年7月14日(火)～9月22日(火・祝)〕
〔※生態園オリエンテーションハウス閉舎：～令和2年7月31日(土)〕
- イ 会 場 生態園オリエンテーションハウス
- ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
- エ 入 場 者 数 11,101名(会期中生態園入場者数)
- オ 主 担 当 者 西内李佳
- カ 概 要 一度根を張った場所から動くことができない植物は、タネをより遠くに散布するための様々な工夫を凝らして、分布を広げている。本展示では、生態園で見られる身近な植物を中心に、色々なタネとその散布方法をタネの冒険の旅に見立てて紹介した。
- キ 主な展示資料 解説パネル38枚、果実・種子標本60点、ムラサキケマンのタネ飛ばし動画
- ク 関連事業 ミュージアム・トーク 8月2日(日) ※開催中止、8月23日(日) ※開催中止
- ケ 印刷物 ポスター A2版カラー片面/7枚、A3版カラー片面/1枚
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(3) 身近なコケ

- ア 会 期 令和3年3月27日(土)～5月23日(日)※土日祝日のみ〔令和2年度開催日数：2日間〕
〔当初予定期間：令和3年2月17日(水)～5月23日(日)〕
〔※臨時休館：令和3年2月17日(水)～令和3年3月21日(日)〕
- イ 会 場 生態園オリエンテーションハウス
- ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
- エ 入 場 者 数 767名(令和2年度：3月27日～3月28日)
- オ 主 担 当 者 古木達郎
- カ 概 要 「コケ」は小さい植物や菌類などの総称として使われているため、本当のコケ植物(蘚苔類ともいう)ばかりではなく、花が咲く植物やシダ植物、きのこ、藻類などにも「・・・コケ」と呼ばれていることがある。この展示では、生態園や身近な街中に生えているコケ植物をとおして、本当のコケ植物の知られざる正体を紹介した。また、生態園は開園30年が経過し、樹木の成長に伴い、コケ植物も変化したので、本展示ではその変遷も解説した。
- キ 主な展示資料 解説パネル16枚、写真98点、蘚苔類植木鉢41点、その他資料3点。園路解説パネル15点。
- ケ 印刷物 ポスター A2版カラー片面/7枚 なお、本展示開催に先立って、生態園観察ノート「身近なコケ」(A5版16ページ)を令和元年度に刊行した。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

6 トピックス展

(1) チバニアン正式決定!

- ア 会 期 令和2年1月18日(土)～12月27日(日)〔※実質開催日数：185日間(令和2年度)〕
〔当初予定期間：令和2年1月18日(土)～5月10日(日)〕
〔※臨時休館：令和2年3月3日(火)～5月24日(日)〕
- イ 会 場 地学展示室前廊下
- ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
- エ 入 場 者 数 26,008名(令和2年度：5月26日～12月27日)
- オ 担 当 者 高橋直樹
- カ 概 要 「チバニアン期」が国際地質科学連合で正式に承認されたことを受けて、これまでに展示していた地磁気逆転地層はぎ取り標本に加えて、以前に展示していた地磁気逆転関連の展示物を再展示し、さらに新たに模型や解説パネルを追加して「チバニアン」をより詳しく紹介した。
- キ 主な展示資料 地磁気逆転地層はぎ取り標本、逆転境界付近から発見された化石標本、地磁気模式模型、玄武洞玄武岩標本、砂鉄標本、市原市田淵周辺地形模型、「チバニアン」関連年表、チバニアン期の地層分布図等 計26点
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

7 ミニトピックス展

(1) 『千葉の地層10選』の紹介

- ア 会 期 令和2年5月26日(火)～9月13日(日)〔開催日数：99日間〕
- イ 会 場 地学・生物展示室前廊下
- ウ 主 催 千葉県立中央博物館
- エ 入 場 者 数 12,019名(会期中本館入場者総数)
- オ 担 当 者 高橋直樹

カ 概 要 令和2年1月に「チバニアン」が正式に認められたことを受けて、県教育委員会が千葉県内の代表的な地層を「千葉の地層10選」として選定したことから、これらを紹介するパネルを掲示した。併せて、常設展示室内の関連展示も示した。

キ 主な展示資料 「千葉の地層10選」紹介パネル(A1サイズ) 12点

(2) 疫病退散ーコロナ禍の収束を祈ってー

ア 会 期 令和2年7月7日(火)～10月25日(日)〔開催日数91日間〕

イ 会 場 展示室前廊下

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館

エ 入 場 者 数 13,493名(会期中本館入場者総数)

オ 担 当 者 小林裕美

カ 概 要 新型コロナウイルス感染症の収束を祈願し、疫病退散を祈る民俗(祭礼やまじない等)を館蔵資料と写真から紹介した。
目に見えない力を形にすることで疫病に対する不安を克服し、また祭礼の非日常のパワーで疫病退散を祈ってきた歴史を知っていただきたいと考えた。

キ 主な展示資料 祭礼等写真パネル16枚、厄除け祈願のお札とお守り、厄病神の詫び証文、関尻の大草鞋ほか

(3) 房総の海の遊びー絵はがきを中心にー

ア 会 期 令和2年7月18日(土)～8月31日(月)〔開催日数43日間〕

イ 会 場 第2企画展示室

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館

エ 入 場 者 数 6,655名(会期中本館入場者総数)

オ 担 当 者 島立理子

カ 概 要 房総半島は三方を海に囲まれ、多くの人口を抱える首都からほど近いという立地条件により、古くから海水浴や地引網、潮干狩りや磯遊び等の海の遊び(マリンレジャー)の舞台として人々に親しまれてきた。マリンレジャーの舞台として発展してきた房総半島の海岸の明治期からの変遷を、絵はがきを中心とし、観光チラシや古写真などとともに紹介した。

キ 主な展示資料 絵はがき、しおり、チラシ、写真ほか

(4) 習志野隕石!

ア 会 期 令和2年11月10日(火)～令和3年1月8日(金)〔※実質開催日数:46日間〕
〔当初予定期間:令和2年11月10日(土)～令和3年2月28日(日)〕
〔※臨時休館:令和3年1月9日(日)～〕

イ 会 場 2階ホール

ウ 主 催 千葉県立中央博物館

エ 協 力 国立科学博物館・国立極地研究所

オ 入 場 者 数 6,888名(会期中本館入場者総数)

カ 担 当 者 高橋直樹

キ 概 要 2020年7月2日に火球が観測され、本県習志野市及び船橋市に落下が確認された「習志野隕石」が、正式に国際隕石学会に登録されたことに合わせて、同隕石を展示し、県民の皆様の観覧に供するとともに、千葉県に過去に落下した隕石や当館所蔵の隕石標本も併せて展示した。

ク 主な展示資料 習志野隕石標本(所有者から借用)、芝山隕石標本(ミュージアムパーク茨城県自然博物館から借用)、当館所蔵の各種隕石標本、火球写真(平塚市博物館)、隕石進入経路図・落下地点予測図(SonotaCoネットワーク)、隕石軌道図(日大・阿部新助氏)、隕石分析データ・隕石衝突破損瓦(国立科学博物館)、隕石薄片写真(国立極地研究所) 26点

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(5) 十二支にちなんでー丑年ー

ア 会 期 令和2年12月29日(土)～令和3年1月8日(金)〔開催日数:8日間〕
〔当初予定期間:令和2年12月29日(土)～令和3年1月17日(日)〕
〔※臨時休館:令和3年1月9日(日)～〕

イ 会 場 2階ホール

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館

エ 入 場 者 数 789名(会期中本館入場者総数)

オ 担 当 者 水野大樹

カ 概 要 令和3年の十二支は「丑」(うし)であり、ウシにちなんで命名された様々な生き物や化石、人文資料などを紹介した。

キ 主な展示資料 化石・動物・植物・菌類の標本、絵葉書、マッチラベルなど 計107点

(6) 新鉱物『房総石』の発見

ア 会 期 令和3年3月23日(火)～5月30日(日)〔※令和2年度開催日数:8日間〕
〔当初予定期間:令和3年1月13日(水)～3月21日(日)〕
〔※臨時休館:～令和3年3月21日(日)〕

イ 会 場 地学・生物展示室前廊下

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館

エ 協 力 門馬綱一(国立科学博物館)

オ 入 場 者 数 1,310名(令和2年度:3月23日～3月31日)

カ 担 当 者 高橋直樹
 キ 概 要 「千葉石」に続き、千葉県で2番目の新鉱物「房総石」が発見されたことから、その標本を展示するとともに、鉱物の産状や性質などの解説を行った。
 ク 主な展示資料 房総石標本(千葉石標本)、メラノフロジヤイト標本(房総半島産・アメリカ産)、水晶標本(アメリカ産)、房総石結晶構造模型、石英結晶構造模型 6点
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(7) 研究紹介「国内初記録の外來昆虫オオクロマダラナガカメムシ」

ア 会 期 令和3年3月23日(火)～6月27日(日)〔※実質開催日数：8日間(令和2年度)〕
 [当初予定期間：令和3年1月23日(土)～6月27日(日)]
 [※臨時休館：～令和3年3月21日(日)]
 イ 会 場 「生物の分類」展示室
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
 エ 入 場 者 数 1,310名(令和2年度：3月23日～3月31日)
 オ 担 当 者 伴 光哲
 カ 概 要 国内未記録のカメムシの正体について、県民と中央博職員が協同で調べた結果、外來種であるオオクロマダラナガカメムシという種であることが判明したことを受け、本種の標本および解説パネルを展示し、来館者に紹介を行なった。
 キ 主な展示資料 オオクロマダラナガカメムシ標本：5点、展示パネル1点：計6点
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

8 その他の展示

以下の展示のほか、千葉県教育振興財団ほかが主催の令和2年度出土遺物公開事業「北方交流録一北とつながる五つの物語―」を令和3年1月9日(土)～2月14日(日)に、中央博物館にて開催する準備を進めていたが、1月9日(土)から臨時休館となり、公開されなかった。なお、展示内容については、ホームページ上で公開した。

(1) チバミュージアムフェスタ2020～千葉県立美術館・博物館展覧会～「オリンピック・パラリンピック」と千葉のスポーツ史

ア 会 期 令和2年2月22日(土)～8月31日(日)〔※令和2年度実質開催日数：81日間〕
 [当初予定期間：令和2年2月22日(土)～令和2年5月10日(日)]
 [※臨時休館：令和2年3月3日(火)～5月24日(日)、6月2日(火)展示再開]
 イ 会 場 第1企画展示室
 ウ 主 催 千葉県教育委員会
 エ 入 場 者 数 10,040人(令和2年度：6月2日～8月31日)
 オ 担 当 者 島立理子
 カ 概 要 坪井玄道、秋葉祐之、嘉納治五郎、青木半治など、千葉県ゆかりの人々の活躍を軸に、オリンピック・パラリンピックと千葉のスポーツ史について紹介した。
 キ 主な展示資料 1964年東京オリンピック男子バレーボール 銅メダル、小学普通体操法 巻上、絵はがき、手賀沼漕艇場計画図など実物資料 約300点 解説パネル等 約40点
 ク 関 連 事 業
 (ア) 世界の旗をつくろう！ 5月4日(月・祝)※開催中止、5日(火・祝)※開催中止
 (イ) ミュージアム・トーク、5月10日(日)※開催中止
 ケ 印 刷 物 (ア) ポスター A2版カラー片面/500枚
 (イ) チラシ A4版カラー両面/50,000枚
 (ウ) 解説書 10,000部
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(2) 「生命(いのち)のにぎわい 生命のにぎわい調査団・生物多様性写真展」

ア 会 期 令和3年3月23日(火)～5月9日(日)〔開催日数：8日間(令和2年度)〕
 イ 会 場 「生物」展示室前廊下
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
 エ 入 場 者 数 1,310名(令和2年度：3月23日～3月31日)
 オ 担 当 者 大木淳一・加藤久佳・伴 光哲
 カ 概 要 千葉県生物多様性センターの事業「生命のにぎわい調査団」の団員が撮影した写真を展示し、広く県民に生物の魅力を紹介した。
 キ 主な展示資料 写真パネル31点

9 出前展示

(1) 三島小学校教室博物館

ア 会 期 令和2年8月7日(金)～令和3年3月26日(金)〔※実質開催日数：24日〕
 [※臨時休館：～令和2年7月31日(金)、令和3年1月22日(金)～2月26日(金)]
 イ 会 場 君津市立三島小学校
 ウ 入 場 者 数 50名
 エ 担 当 者 尾崎煙雄、斉藤明子、八木令子、ほか生態環境研究部職員
 オ 概 要 旧君津市立三島小学校の一室を借り、毎週金曜日に開館して房総丘陵の自然に関する展示を行い、来館者と対話した。
 キ 主な展示資料 房総丘陵の動植物、地学資料等
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(2) 君津市清和公民館文化祭

ア 会 期 令和2年10月17日(土)～10月25日(日)〔開催期間：9日〕
イ 会 場 君津市清和公民館
ウ 入 場 者 数 141名
エ 担 当 者 尾崎輝雄、斉藤明子、八木令子
オ 概 要 君津市清和公民館の文化祭において出張展示を行った。
キ 主な展示資料 房総丘陵の動植物、地学資料等

(3) アリオ蘇我出張展示

ア 会 期 令和2年10月9日(金)～10月18日(日)〔開催期間：10日〕
イ 会 場 アリオ蘇我
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館、アリオ蘇我
エ 入 場 者 数 5,000名
オ 担 当 者 渡辺善司、吹春俊光
カ 概 要 NHK テレビドラマ「麒麟が来る」の広報イベントにあわせて、房総ゆかりの武将の体験用甲冑（複製；本多忠勝、徳川家康、武田信玄）を展示した。
キ 主な展示資料 説明パネル3点、体験用甲冑3点

(4) 成田イオン出張展示

ア 会 期 令和2年12月15日(火)～12月24日(木)〔開催期間：10日間〕
イ 会 場 イオンモール成田
ウ 主 催 等 千葉県教育庁教育振興部文化財課、イオンモール成田
エ 入 場 者 数 600名
オ 担 当 者 島立理子、相原康平、小出麻友美
カ 概 要 地域との連携・事業広報を目的に、文化財課、千葉県立博物館・美術館、房総のむら合同事業「イオンモール成田に博物館がやってきた」の中で、「写真でつづる千葉県と鉄道」のパネル展示と実物展示を行った。
キ 主な展示資料 説明パネル32点、実物展示（観光パンフレット、絵はがき等）3点

(5) さわやかちば県民プラザ出張展示

ア 会 期 令和3年2月16日(火)～3月31日(水)〔開催期間：39日間〕
イ 会 場 さわやかちば県民プラザ
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館、さわやかちば県民プラザ
エ 入 場 者 数 962名
オ 担 当 者 林 紀男、相原康平、島立理子
カ 概 要 県施設との連携・中央博物館の事業広報を目的に、令和元年秋の展示で使用した「カミツキガメ展」の吊り下げパネルを貸出し、展示を行った。
キ 主な展示資料 説明パネル20点

第2 大利根分館

1 企画展

今年度の企画展は「ちばらき ー千葉県と茨城県の境ー」として令和2年5月30日(土)～6月28日(日)に開催する準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度に延期して開催することとなった。

2 テーマ展示

(1) トピックス展 振り子が刻んだ時の記憶

ア 会 期 令和2年6月2日(火)～令和2年7月12日(日)〔開催日数：25日間〕
〔当初予定期間：令和2年4月1日(水)～5月6日(水・振休)〕
〔※臨時休館：～令和3年5月31日(日)〕
イ 会 場 企画展示室
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
エ 入 場 者 数 659名
オ 担 当 者 糠谷 隆
カ 概 要 振り子時計や置き時計など、ぜんまいで動く古い時計についての紹介をした。
キ 主な展示資料 坂本時計店、奈良屋寄贈資料など
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(2) 夏休み展示 カミツキガメ ーどのような生きものか？いるとなぜいけないのかー

ア 会 期 令和2年7月18日(土)～令和2年8月30日(日)〔開催日数：38日間〕
イ 会 場 企画展示室
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
エ 入 場 者 数 996名
オ 担 当 者 林 紀男(環境教育研究科)・秋山笑子

- カ 概 要 令和元年秋に本館で開催したカミツキガメ展のダイジェスト展示として、カミツキガメそのものや本種が定着することによって起こる問題などについて紹介した。
- キ 主な展示資料 ニホンイシガメ標本、カミツキガメ捕獲用もんどりなど
- ク 関連事業 夏休み講座
① カミツキガメ 8月8日(土) ※開催中止
② 外来生物 8月29日(土) ※開催中止
- ケ 印刷物 チラシ
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(3) 収蔵資料展 古い道具とむかしのくらし

- ア 会 期 令和2年9月15日(火)～令和3年1月7日(金) [※実質開催日数：38日間]
[当初予定期間：令和2年9月15日(火)～令和3年3月5日(金)]
[※臨時休館：～令和3年1月9日(土)]

- イ 会 場 企画展示室
- ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
- エ 入 場 者 数 532名
- オ 担 当 者 柴山浩恒

- カ 概 要 小学校3年生の学習单元「古い道具と昔のくらし」の調べ学習に対応した展示を行った。
- キ 主な展示資料 行燈、提灯、水冷蔵庫、初期型電話機、竈、羽釜、自在鉤、野良着など
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

3 出前展示

(1) 出張写真展 古写真にみる佐原の大祭

- ア 会 期 令和2年6月30日(火)～令和2年7月31日(金) [開催日数：28日間]
- イ 会 場 道の駅・川の駅 水の郷さわら 佐原ホール
- ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
- エ 入 場 者 数 5,392名
- オ 担 当 者 糠谷 隆
- カ 概 要 昭和初期から昭和30年を中心に、佐原の大祭の写真パネルを展示した。
- キ 主な展示資料 佐原の大祭関係写真パネル

(2) 出張写真展 古写真にみる佐原の大祭

- ア 会 期 令和2年9月16日(水)～令和2年10月15日(木)
[開催日数：26日間]
- イ 会 場 道の駅・川の駅 水の郷さわら 佐原ホール
- ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
- エ 入 場 者 数 4,783名
- オ 担 当 者 糠谷 隆
- カ 概 要 昭和初期から昭和30年を中心に、佐原の大祭の写真パネルを展示した。
- キ 主な展示資料 佐原の大祭関係写真パネル

(3) 出張写真展 水郷の原風景一米づくり・魚とり、そして日々の暮らし

- ア 会 期 令和3年1月8日(金)～令和3年3月23日(火) [開催日数：64日間]
- イ 会 場 道の駅・川の駅 水の郷さわら 佐原ホール
- ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
- エ 入 場 者 数 11,105名
- オ 担 当 者 糠谷 隆
- カ 概 要 昭和初期から昭和30年を中心に、農業や漁撈、当時の生活風景の写真パネルを展示した。
- キ 主な展示資料 農業や漁撈、当時の生活風景関係写真パネル

第3 大多喜城分館

1 常設展示

(1) 常設展示の更新

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
1階ロビー	ロビー展示	刀(坂倉言之進照包/延宝五年二月日)	展示更新
	ロビー展示	刀(佐倉士・細川忠義)	展示更新
	ロビー展示	刀(肥前國住近江大掾藤原忠広)	展示更新
	ロビー展示	刀(備州長船祐(以下切)/八月)	展示更新
	ロビー展示	刀(「菊紋」丹)	展示更新
	ロビー展示	短刀(細川忠義/長寿剣)	展示更新
	ロビー展示	脇差(大慶直胤/文化志知年仲春上旬)	展示更新
	ロビー展示	脇差(法橋藤原来金道)	展示更新
	ロビー展示	脇差(播磨大掾藤原忠国)	展示更新

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
	ロビー展示	脇差(備州長船賀／寛正三年八月)	展示更新
	ロビー展示	脇差(菊刻印・藤原金口)	展示更新
	ロビー展示	薙刀(越中守正俊)	展示更新
	ロビー展示	薙刀(伊賀守源包道)	展示更新
	ロビー展示	紺糸威鎧(本小札腹巻)	展示更新
2階展示室	房総の城と城下町	刀(近江大掾藤原忠広)	展示更新
	房総の城と城下町	刀(荘司直勝)	展示更新
	房総の城と城下町	太刀(近村上)	展示更新
	房総の城と城下町	太刀(佐倉土細川忠義)	展示更新
	房総の城と城下町	脇差(「菊紋」丹波守吉道)	展示更新
	房総の城と城下町	脇差(近江大掾藤原忠広)	展示更新
	房総の城と城下町	十文字槍(山城守國重)	展示更新
	房総の城と城下町	笹穂槍(綱廣)	展示更新
	房総の城と城下町	金梨地葵紋打刀拵	展示更新
	房総の城と城下町	小柄、筭、目貫	展示更新
	房総の城と城下町	紺糸威仏胴具足(小星兜付)	展示更新
	房総の城と城下町	日本刀製作用部材	展示更新
	房総の城と城下町	鉄雲竜蒔絵頭巾形兜	展示更新
	房総の城と城下町	兎耳桃形兜	展示更新
	房総の城と城下町	鎧、鞍	展示更新
	房総の城と城下町	火縄銃3 匁	展示更新
	房総の城と城下町	火縄銃(50 匁・阿波筒)	展示更新
	房総の城と城下町	松平正質筆絵画(鷲図)	展示更新
房総の城と城下町	大河内正敏筆絵画(芥子の図)	展示更新	
3階展示室	房総の城と城下町	刀(播磨大掾藤原重高)	展示更新
	房総の城と城下町	短刀(備州長船則光)	展示更新
	房総の城と城下町	脇差(武蔵大掾是一)	展示更新
	房総の城と城下町	長巻(五拾本内大慶直胤)	展示更新
	房総の城と城下町	権門駕籠	展示更新
	房総の城と城下町	錦絵、芝居絵	展示更新
	房総の城と城下町	行燈、燭台	展示更新
	房総の城と城下町	陣羽織	展示更新
房総の城と城下町	金梨子葵紋散本箱	展示更新	

2 企画展

(1) 企画展 福を呼ぶ小袖と房総の万祝

- ア 会 期 令和2年10月23日(金)～12月6日(日) [開催日数：39日間]
イ 会 場 2階展示室
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大多喜城分館
エ 入 場 者 数 12,118名
オ 担 当 者 大谷弘幸
カ 概 要 日本を代表する服飾「きもの」は、江戸時代から近代にかけて各階層の人々が着用した小袖を祖型とする。小袖は男女とも形態がほぼ同一であるため、染織や刺繍など様々な技法を駆使した模様を施して個性を演出した。また、当時の人々は、縁起の良い意匠やおめでたい文字をあしらった小袖を好んで着用し、互いに贈答して幸運や長寿を願った。今回の展覧会では、江戸時代に製作されたおめでたい文字や意匠をあしらった小袖と、明治期以降房総各地で大漁祝いの引き出物として作成された「万祝」などのめでたい衣服を一堂に集め紹介する。

キ 主な展示資料

(ア) 福を呼ぶ小袖

江戸時代の小袖は、様々な技法によって描かれた模様の特徴で、その構図や色彩は高い評価を得ている。ここでは、様々な図柄の中から吉祥模様と呼ばれる文字や意匠の小袖を紹介した。また、制作見本である雛形本を通じて、当時流行の小袖模様についても紹介した。

(展示資料：白紬地鶴亀芹忍草模様縫小袖、白紬子地松文字模様染織小袖、新雛形曙桜(下巻)など)

(イ) 房総の万祝

房総が発祥とされる万祝は、漁師の晴れ着ともいわれ、大漁の祝いに船主や網元から配られるもので、ハレの日には集団で揃いの万祝をまとい神社参拝などを行っている。また、万祝に描かれた画面には、ハレにふさわしい吉祥模様が染め抜かれている。ここでは、万祝に描かれた様々な吉祥模様を紹介するとともに、錦絵や銅版画などに描かれた万祝、万祝の製作についても併せて紹介した。

(展示資料：万祝、大日本物産図会、萬祝模様雛形、染め道具など)

ク 関連事業

(ア) 講演会「江戸文化の華—小袖の歴史と美—」

日時：令和2年11月7日(土)13:30～15:30

講師：国立歴史民俗博物館准教授 澤田和人氏

	参加者：17名	
ケ 印刷物	(ア) 解説書	400部
	(イ) ポスター	400部
	(ウ) チラシ	15,000部

3 テーマ展示

(1) 収蔵資料展 大多喜城の弓

ア 会 期	令和2年7月9日(木)～10月18日(日) [開催日数：89日間]
イ 会 場	3階展示室
ウ 主 催 等	千葉県立中央博物館大多喜城分館
エ 入 場 者 数	19,957名
オ 担 当 者	渡辺善司
カ 概 要	大多喜藩の武芸「日置流雪荷派弓術」の技を伝える古文書をはじめ、当時使用されていた弓、矢、鏃など多彩な資料を広く県民に公開した。
キ 主な展示資料	日置流弓之目録、日置流射芸指南方、弓之村之大事、景譜、矢籠、熊毛空穂、弓(黒漆塗籐巻)、弓(重籐)、矢之根形図、鏃、鏃目、打根、透平根鏃など

(2) 特別公開 重要文化財 大薙刀

ア 会 期	令和2年12月10日(木)～令和3年1月8日(金) [開催期間：22日間] [当初開館期間：令和2年12月10日(木)～令和3年2月7日(日)] [※臨時休館：令和3年1月9日(土)～]
イ 会 場	2階展示室
ウ 主 催 等	千葉県立中央博物館大多喜城分館
エ 入 場 者 数	3,392名
オ 担 当 者	渡辺善司
カ 概 要	南北朝時代の薙刀の名工法城寺国光により作られたと伝えられる大薙刀を紹介した。
キ 主な展示資料	大薙刀(伝法城寺)、後三年合戦絵巻、赤糸威大鑑、脇差(法城寺但馬守橋国正) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

第4 分館海の博物館

1 常設展示

(1) 常設展示の更新

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
展示室	自然観察エリア(理想郷観察エリア)	理想郷観察エリアで撮影された植物写真等	鶴原理想郷で植物等のモニタリングを行い、最新の情報を更新した(18回)。
	自然観察エリア(磯の観察エリア)	磯の観察エリアで撮影された生きものの写真等	磯の観察エリア(博物館前の岩礁海岸)で見られる生きものと潮汐の情報を更新した(毎日)。
	こんな研究をやっています	研究紹介ポスター	館山湾からドレッジで採集されたイシサンゴ類(～令和2年9月27日、立川浩之) 当館研究員らによる論文が日本動物学会のZoological Science Awardを受賞(令和2年7月23日～9月1日、柳 研介) 偶然見つけた史料からー103年前の高潮災害ー(令和2年9月29日～、本吉正宏)
	こんなのみたよ	ケブカイセエビ、ダイダイウミウシの写真等	博物館利用者等からの提供資料をポスターで随時紹介した(5回)。
	博物館をとりまく自然	季節ユニット展示一式	季節ごとにユニット展示を交換した(4回)。
	さまざまな海の姿・博物館をとりまく自然	ユニット展示一式	常設展示のユニット部分を交換した(1回)。
	体験学習カウンター	アイゴの幼魚、タルマワシの仲間の生体等	トピック展示として、観察会などで見つかった興味深い生きものを水槽などで紹介した(14回)。

2 マリンサイエンスギャラリー (分館海の博物館の研究成果に基づき、海の生きものを深く掘り下げて紹介する企画展示)

(1) 超深海 Hadal World—水深6,000 m以深の世界—

ア 会 期	※令和2年度は公開の機会がなかった。 [当初開催期間：令和2年2月22日(土)～5月10日(日)] [※臨時休館：令和2年3月3日(火)～]
イ 会 場	研修室
ウ 主 催 等	千葉県立中央博物館分館海の博物館
エ 担 当 者	柳 研介
オ 概 要	水深6,000 m以深の生きものを標本や写真パネルで紹介した。
カ 主な展示資料	オオオキノコエビ、シンカイクサウオなど
キ 印刷物	(ア) ポスター 500部 (イ) チラシ 40,000部

(ウ) ワークシート

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(2) ウミカラー—海の生きものの殻の話—

ア 会 期 令和3年3月23日(火)～6月27日(日) [※実質開催日数：8日間(令和2年度)]
[当初開催期間：令和3年2月20日(土)～6月27日(日)]
[※臨時休館：～令和3年3月21日(日)]

イ 会 場 研修室
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館分館海の博物館
エ 入 場 者 数 1,252名(令和2年度：3月23日～3月31日)
オ 担 当 者 立川浩之
カ 概 要 多様性に富んだ殻を持つ海の生きものたちを紹介した。
キ 主な展示資料 オーストンフクロウニ、タスマニアオオガニ、オオシャコガイなど
ク 印 刷 物 (ア) ポスター 500部
(イ) チラシ 40,000部

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

3 収蔵資料展(分館海の博物館の収蔵資料を中心にして海の生きものを紹介する企画展示)

(1) 大収蔵資料展 海博・お宝大集合!

ア 会 期 令和2年7月18日(土)～9月27日(日) [開催日数：68日間]

イ 会 場 研修室

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館分館海の博物館

エ 入 場 者 数 19,276名

オ 担 当 者 菊地則雄

カ 概 要 海の博物館の開館から20年間に収集・保存された海の生きものの資料のうち、話題性の高いものや貴重なものを中心に紹介した。

キ 主な展示資料 ムギワラエビ、ドフライインソギンチャク、ダイオウイカなど

ク 印 刷 物 (ア) ポスター(館内で印刷)

(イ) チラシ 40,000部

ケ 関 連 事 業 (ア) 標本庫ツアー 期間中6回 ※開催中止

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

IV 教育普及

第1 本館（講師・担当者は、特に断らないかぎり、本館職員）

1 展示観覧支援

(1) ミュージアムトーク（展示解説・収蔵庫探検）中止 69日 138回

研究員が、展示室入場者を対象に、展示室や収蔵庫、生態園などで、1日2回（①11:00～11:30、②14:30～15:00）、各回30分程度の解説を行うが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため全ての行事を中止した。

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月4日(土)	地衣類って何？	原田 浩	展示室	中止※
4月11日(土)	展示解説「生態園の外来哺乳類」	下稲葉さやか	展示室・生態園オリエンテーションハウス	中止※
4月18日(土)	春の展示 展示解説	天野 誠	展示室	中止※
4月25日(土)	春の谷津をのぞいてみると	天野 誠	展示室	中止※
4月29日(火)	植物の四季	平田和弘	展示室	中止※
5月2日(土)	春の展示 展示解説	内田龍哉	展示室	中止※
5月4日(月・祝)	展示室古文書ツアー(古代・中世)	小出麻友美	展示室	中止※
5月5日(火・祝)	ウメノキゴケ	坂田歩美	展示室	中止※
5月9日(土)	房総の山に眠るクジラたち	丸山啓志	展示室	中止※
5月10日(日)	オリンピック・パラリンピックと千葉のスポーツ史の解説	島立理子	展示室	中止※
5月17日(日)	春の展示 展示解説	水野大樹	展示室	中止※
5月23日(土)	国際博物館の日・国際植物の日・国際生物多様性の日	林 浩二	展示室	中止※
5月24日(日)	国指定天然記念物「成東・東金食虫植物群落」	古木達郎	展示室	中止※
5月30日(土)	雑木林の恵み	水野大樹	展示室	中止※
5月31日(日)	千葉県野鳥	桑原和之	展示室	中止※
6月6日(土)	チバニアンについて	高橋直樹	展示室	中止※
6月13日(土)	房総丘陵の自然	尾崎煙雄	展示室	中止※
6月14日(日)	6月は環境月間です	林 浩二	展示室	中止※
6月21日(日)	谷津田のむらの景観	白井 豊	展示室	中止※
7月4日(土)	化石で見つかる房総のダイオウグソクムシ	加藤久佳	展示室	中止※
7月11日(土)	夏の清澄山を探索する	天野 誠	展示室	中止※
7月18日(土)	企画展「ちばの縄文」の展示解説	田邊由美子	展示室	中止※
7月23日(木)	深海の生物	駒井智幸	展示室	中止※
7月24日(金)	海の巨大な動物 クジラの話	宮川尚子	展示室	中止※
7月25日(土)	千葉県にもあった恐竜時代	伊左治鎮司	展示室	中止※
7月26日(日)	小さな貝が示す縄文時代の古環境	黒住耐二	展示室	中止※
8月1日(土)	バラの刺(とげ)の話	御巫由紀	展示室	中止※
8月2日(日)	生態園トピックス展「タネの大冒険」解説	西内李佳	展示室	中止※
8月10日(月)	企画展「ちばの縄文」の展示解説	高梨友子・田邊由美子	展示室	中止※
8月15日(土)	葬法と墓地の変遷	小林裕美	展示室	中止※
8月16日(日)	太平記の時代と房総半島	小出麻友美	展示室	中止※
8月22日(土)	葬法と墓地の変遷	小林裕美	展示室	中止※
8月23日(日)	生態園トピックス展「タネの大冒険」解説	西内李佳	展示室	中止※
8月29日(土)	埋もれた種から蘇らせた水草たち	林 紀男	展示室	中止※
8月30日(日)	植物化石からわかること	齋木健一	展示室	中止※
9月5日(土)	企画展「ちばの縄文」の展示解説	高梨友子	展示室	中止※
9月6日(日)	千葉に生息する昆虫あれこれ	伴 光哲	展示室	中止※
9月12日(土)	餌を求めて三千里～オオミズナギドリの不思議な生態～	平田和彦	展示室	中止※
9月13日(日)	埋もれた種から蘇らせた水草たち	林 紀男	展示室	中止※
9月20日(日)	小さな貝が示す縄文時代の製塩	黒住耐二	展示室	中止※
9月26日(土)	幻のクジラ～ツノシマクジラ～	宮川尚子	展示室	中止※
9月27日(日)	収蔵庫できのご探検	吹春俊光	展示室	中止※
10月3日(土)	意外と知らないシダの世界	水野大樹	展示室	中止※
10月11日(日)	ナウマンゾウのお話	伊左治鎮司	展示室	中止※
10月24日(土)	季節展「ノスタルジック・ポストカード」の解説	島立理子	展示室	中止※
10月25日(日)	収蔵庫できのご探検	吹春俊光	展示室	中止※
11月1日(日)	バラの刺(とげ)の話	御巫由紀	展示室	中止※

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
11月3日(火・祝)	展示の中の天然記念物	平田和弘	展示室	中止※
11月7日(土)	季節展「ノスタルジック・ポストカード」の解説	島立理子	展示室	中止※
11月8日(日)	11月10日は世界科学館・科学博物館の日です	林 浩二	展示室	中止※
11月15日(日)	地層と貝化石のお話	千葉友樹	展示室	中止※
11月21日(土)	房総の鍾乳石と鍾乳洞	加藤久佳	展示室	中止※
11月22日(日)	東京湾岸の景観変貌	白井 豊	展示室	中止※
12月13日(日)	地層の模様	岡崎浩子	展示室	中止※
12月20日(日)	12月は地球温暖化防止月間です	林 浩二	展示室	中止※
12月26日(土)	千葉で見つかったウシ・シカ化石	丸山啓志	展示室	中止※
12月27日(日)	植物化石からわかること	斎木健一	展示室	中止※
1月9日(土)	銚子にカモメが集まるワケ	平田和彦	展示室	中止※
1月10日(日)	ウシの仲間のはなし	下稲葉さやか	展示室	中止※
1月16日(土)	千葉県の「県の石」について	高橋直樹	展示室	中止※
1月23日(土)	バックヤードツアー「昆虫標本」	斉藤明子	展示室	中止※
1月30日(土)	千葉に生息する昆虫あれこれ	伴 光哲	展示室	中止※
2月7日(日)	深海の生物	駒井智幸	展示室	中止※
2月11日(木・祝)	ウメノキゴケ	坂田歩美	展示室	中止※
2月23日(火)	バックヤードツアー「昆虫標本」	斉藤明子	展示室	中止※
2月27日(土)	地衣類の標本庫探検	原田 浩	展示室	中止※
2月28日(日)	生態園トピックス展「身近なコケ」展示解説	古木達郎	展示室	中止※
3月7日(日)	地層の模様	岡崎浩子	展示室	中止※
3月21日(日)	九十九里の野鳥	桑原和之	展示室	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(2) 体験プログラム

本館展示では、体験プログラム「中央博調査隊」を学校団体向けに、生態園では、自然体験プログラム「森の調査隊」を学校団体、個人向けにワークシートを使って実施するが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった。

2 講座・観察会等の開催

(1) 講座・観察会

ア 地学 中止13回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月10日(日)	地質の日関連“チバニアン”を見てみよう	岡崎浩子	市原市	中止※
5月31日(日)	街なかの自然観察—東京の旧海岸線を歩く	八木令子	東京都	中止※
6月27日(土)	海岸で化石をさがそう	加藤久佳	富津市	中止※
8月2日(日)	海岸で石ころをひろおう	高橋直樹	富津市	中止※
8月8日(土)	化石の模型をつくってみよう	加藤久佳	1階ホール・研修室	中止※
8月17日(月)	“ジオパッド”砂カードを作ろう	岡崎浩子	1階ホール・研修室	中止※
8月29日(土)	昔と今のホネのある動物の比べ方	丸山啓志	講堂・展示室	中止※
9月19日(土)	浜金谷の化石採集	加藤久佳	富津市	中止※
9月22日(火・祝)	化石発掘たいけん	伊左治鎮司	研修室・1階ホール外	中止※
11月8日(日)	県外岩石観察会13 北関東群馬太田の藪塚石	高橋直樹	群馬県太田市	中止※
12月19日(土)	トドの化石をみつけよう	八木令子	市原市	中止※
2月11日(木・祝)	千葉県の滝	八木令子	研修室	中止※
2月27日(土)	岩石薄片をつくろう	高橋直樹	研修室	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

イ 動物 2回13人 中止9回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月6日(水・休)	収蔵庫で深海生物	駒井智幸	収蔵庫	中止※
7月18日(土)	夏の山の昆虫	尾崎煙雄・斉藤明子	君津市清和	中止※
7月26日(日)	昆虫標本のつくり方を見てみよう	斉藤明子	展示室	中止※
8月1日(土)	夜の公園でセミの羽化を観察しよう	伴 光哲	青葉の森公園	中止※
9月26日(土)	コウモリを観察しよう	下稲葉さやか	研修室・青葉の森公園	中止※
10月4日(日)	フェリーで観察 東京湾の海鳥	平田和彦・由良 浩	金谷～久里浜	中止※
10月25日(日)	“ホネール”(鯨骨)ウォッチング	宮川尚子	研修室	7人
11月15日(日)	土の中の生き物の観察	萩野康則	研修室	6人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
12月27日(日)	どうぶつのホネをさわってみよう	下稲葉さやか・田邊由美子・丸山啓志・宮川尚子	1階ホール	中止※
1月16日(土)	昆虫標本整理たいけん	伴 光哲	研修室	中止※
2月20日(土)	海の生きものをさわってみよう	駒井智幸	研修室	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

ウ 植物・菌類 1回11人 中止22回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月25日(土)	生態園観察会 樹木の芽吹き	林 浩二	生態園	中止※
4月26日(日)	春の植物観察	天野 誠・水野大樹	一宮町	中止※
5月10日(日)	銚子海岸の地衣類	原田 浩・坂田歩美	銚子市	中止※
5月24日(日)	地衣類の分類	原田 浩	研修室	中止※
6月28日(日)	地衣類の分類	原田 浩	研修室	中止※
7月11日(土)	街中のシダ植物の見分け方	水野大樹	研修室・1階ホール	中止※
7月26日(日)	地衣類の分類	原田 浩	研修室	中止※
9月27日(日)	地衣類の分類	原田 浩	研修室	中止※
10月10日(土)	親子でまなぶきのこの観察会	吹春俊光	研修室・生態園・青葉の森公園	中止※
10月17日(土)	秋の植物観察	水野大樹・天野 誠	一宮町	中止※
11月8日(日)	生態園観察会 秋の植物	西内李佳	生態園	中止※
11月14日(土)	バラの歴史	御巫由紀	研修室	11人
11月28日(土)	コケ植物を顕微鏡で観察しよう	古木達郎	研修室	中止※
11月29日(日)	地衣類の分類	原田 浩	研修室	中止※
12月6日(日)	郊外の地衣類	原田 浩・坂田歩美	佐倉市	中止※
12月12日(土)	ハラタケ目きのこの顕微鏡観察	吹春俊光	研修室	中止※
1月17日(日)	地衣類の分類	原田 浩	研修室	中止※
1月17日(日)	生態園観察会 植物の冬越し	由良 浩	生態園	中止※
1月31日(日)	地衣類の顕微鏡観察	坂田歩美	研修室	中止※
2月7日(日)	カバノキ科の分類	天野 誠	研修室	中止※
2月28日(日)	地衣類の分類	原田 浩	研修室	中止※
3月7日(日)	生態園観察会 コケのくらし	古木達郎	生態園	中止※
3月28日(日)	地衣類の分類	原田 浩	研修室	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

エ 歴史・民俗 1回11人 中止3回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
9月13日(日)	企画展開連行 縄文セミナー2020「縄文の魅力に迫る」	田邊由美子	講堂	中止※
11月14日(土)	本佐倉城と酒々井宿を歩く	小林裕美	酒々井町	中止※
12月5日(土)	中世の五節句と正月儀礼	小出麻友美	講堂	11人
1月23日(土)	縄文時代の考古学	田邊由美子・高梨友子	講堂	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

オ 自然と人間 3回28人 中止4回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月4日(月・祝)	プランクトンを顕微鏡で観察	林 紀男	研修室	中止※
7月29日(水)	教員のための博物館の日 持続可能な開発目標(SDGs)を考える	林 浩二・大野将史	研修室	8人
8月6日(木)	教員のための博物館の日 博物館利用研修会	大野将史	1階ホール・研修室・講堂	11人
9月12日(土)	水槽栽培の水草を観察	林 紀男	研修室・生態園	中止※
11月22日(日)	房総の里を歩く 成田山周辺	島立理子	成田市	中止※
11月23日(月・祝)	小糸川流域の地形を訪ねる	八木令子	君津市	9人
12月13日(日)	房総の里を歩く 千葉市周辺3	島立理子	千葉市	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

カ 自然いろいろ 中止 12回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月25日(土)	山の学校 151 春の山の生きもの	尾崎煙雄	君津市立三島小学校	中止※
5月10日(日)	ジュニア自然誌研究クラブ	平田和彦・宮川尚子 齋木健一		中止※
5月30日(土)	山の学校 152 初夏の里の生きもの	尾崎煙雄	君津市立三島小学校	中止※
5月30日(土)	砂浜の生きものを観察しよう	由良 浩・高山順子	白子町	中止※
6月27日(土)	山の学校 153 夏の山の生きもの	尾崎煙雄	君津市立三島小学校	中止※
7月12日(日)	ジュニア自然誌研究クラブ	平田和彦・宮川尚子 齋木健一		中止※
7月25日(土)	山の学校 154 川の生きもの1	平田和彦	君津市清和県民の森	中止※
8月29日(土)	山の学校 155 川の生きもの2	平田和彦	君津市清和県民の森	中止※
9月13日(日)	ジュニア自然誌研究クラブ	平田和彦・宮川尚子		中止※
9月26日(土)	山の学校 156 初秋の里の生きもの	尾崎煙雄	君津市立三島小学校	中止※
1月10日(日)	ジュニア自然誌研究クラブ	平田和彦・宮川尚子 齋木健一		中止※
3月14日(日)	ジュニア自然誌研究クラブ	平田和彦・宮川尚子 齋木健一		中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(2) 企画展「ちばの縄文」関連行事 14回 595人 中止 11回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月23日(木)	土器づくりを見てみよう	高梨友子	1階ホール	中止※
7月30日(木)	土器ッとしおりづくり	高梨友子	展示室	中止※
8月1日(土)	石器づくりを見てみよう	高梨友子	1階ホール	中止※
8月6日(木)	土器ッとしおりづくり	高梨友子	展示室	中止※
8月10日(月)	縄文の日	田邊由美子	企画展示室・たいけんのもり	中止※
8月13日(木)	土器ッとしおりづくり	高梨友子	展示室	中止※
8月16日(日)	じょうもん選手権	田邊由美子	1階ホール・1階入口	中止※
8月20日(木)	土器ッとしおりづくり	高梨友子	展示室	中止※
8月27日(木)	土器ッとしおりづくり	高梨友子	展示室	中止※
8月30日(日)	博物館フィギュアをつくろう×縄文	田邊由美子	1階ホール	中止※
9月19日(土)	縄文ポシェットをつくろう	田邊由美子	研修室	中止※
10月11日(日)	土器ッと古代宅配便「勾玉づくり」	教育振興部文化財課職員	研修室	22人
11月3日(火・祝)	上映会「縄文文化とその魅力」	小林達雄(國學院大學名誉教授) 岡本東三(千葉大学名誉教授)	講堂	20人
11月8日(日)	土器ッと古代宅配便「勾玉づくり」	教育振興部文化財課職員	研修室	23人
11月28日(土)	縄文の日	田邊由美子	展示室	249人
11月28日(土)	ワークシート 家族で挑戦!「縄文お宝はっけんツアー」	藤田雅代	展示室	30人
11月28日(土)	しおりづくり&縄文クイズ	県立中央図書館職員	1階ホール	24人
11月28日(土)	上映会「縄文文化とその魅力」	小林達雄(國學院大學名誉教授) 岡本東三(千葉大学名誉教授)	講堂	34人
11月29日(日)	ワークシート 家族で挑戦!「縄文お宝はっけんツアー」	藤田雅代	展示室	34人
12月5日(土)	ワークシート 家族で挑戦!「縄文お宝はっけんツアー」	川嶋静雄	展示室	21人
12月6日(日)	ワークシート 家族で挑戦!「縄文お宝はっけんツアー」	藤田雅代	展示室	34人
12月6日(日)	土器ッと古代宅配便「勾玉づくり」	教育振興部文化財課職員	研修室	17人
12月10日(木)	上映会「縄文文化とその魅力」	小林達雄(國學院大學名誉教授) 岡本東三(千葉大学名誉教授)	講堂	21人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
12月12日(土)	ワークシート 家族で挑戦!「縄文お宝はっけんツアー」	藤田雅代	展示室	31人
12月13日(日)	ワークシート 家族で挑戦!「縄文お宝はっけんツアー」	藤田雅代	展示室	35人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(3) 春の展示「うめ・もも・さくら」関連行事 中止2回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月29日(水・祝)	うめ・もも・さくらの押し花でしおりをつくらう	水野大樹	2階ホール	中止※
5月6日(水・休)	うめ・もも・さくらクイズ	水野大樹	講堂	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(4) 春の展示「九十九里浜の自然誌」関連行事 3回104人 中止2回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
2月13日(土)	九十九里浜で蜃気楼を観察しよう	大木淳一	九十九里浜	中止※
3月13日(土)	シンポジウム「九十九里浜の侵食を考える」	由良 浩	講堂	中止※
3月27日(土)	ワークシート「九十九里浜ではまくりんを見つけてだせ!」	藤田雅代	展示室	60人
3月28日(日)	ワークシート「九十九里浜ではまくりんを見つけてだせ!」	塩地明子	展示室	30人
3月28日(日)	シンポジウム「九十九里浜の侵食を考える」	宇多高明(なぎさ総合研究所長)	オンライン	14人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(5) 体験イベント・特別企画

ア 体験イベント 中止17回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月2日(土)	和綴じ本をつくらう	小林裕美	1階ホール	中止※
5月3日(日・祝)	キーホルダーをつくらう	平津知宏	1階ホール	中止※
5月4日(月・祝)	世界の旗をつくらう	高山順子	展示室	中止※
5月4日(月・祝)	石を割ってみよう	高橋直樹	1階入口	中止※
5月5日(火・祝)	世界の旗をつくらう	高山順子	展示室	中止※
5月5日(火・祝)	本物の化石にさわってみよう	伊左治鎮司	1階ホール	中止※
5月24日(日)	あなたの発見おしえてください1	林 浩二	生態園	中止※
6月7日(日)	あなたの発見おしえてください2	林 浩二	生態園	中止※
6月7日(日)	貝化石をひろってみよう	千葉友樹	1階ホール・1階入口	中止※
6月15日(月)	押し花でしおりをつくらう	坂田歩美	2階ホール	中止※
6月21日(日)	あなたの発見おしえてください3	林 浩二	生態園	中止※
8月9日(日)	昔の明かり体験	佐山淳史	研修室	中止※
9月22日(火・祝)	生態園スタンプラリー	西内李佳・由良 浩	生態園	中止※
10月17日(土)	貝の化石をしらべよう	伊左治鎮司	1階ホール	中止※
12月6日(日)	クリスマスオーナメントをつくらう	平津知宏	1階ホール	中止※
2月9日(火)	卒園遠足で博物館を知ろうー貝	黒住耐二	展示室	中止※
2月12日(金)	卒園遠足で博物館を知ろうー貝	黒住耐二	展示室	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

イ 夏休み特別企画 中止2回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
8月22日(土)	夏休み自由研究相談会		1階ホール・研修室	中止※
8月23日(日)	夏休み自由研究相談会		1階ホール・研修室	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

ウ 文化の日特別企画 中止1回

月日	タイトル	受付担当者・参加団体	場所	参加者数
11月3日(火・祝)	自然誌フェスタ千葉			中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

3 アウトリーチ支援

(1) 学校対象（館内で実施した博物館学習を含む）

ア 小学校 1回10人

月日	事業名(学校名)	講師・担当者等	場所	参加者数
11月20日(金)	収蔵庫見学(佐倉市立和田小学校)	加藤久佳・斎藤明子	展示室・収蔵庫	10人

イ 中学校 1回39人

月日	事業名(学校名)	講師等	場所	参加者数
1月15日(金)	校内授業研究会(船橋市立宮本中学校)	大野将史	オンライン・地学展示室	39人

ウ 特別支援学校 1回6人

月日	事業名(学校名)	講師等	場所	参加者数
11月18日(水)	どんぐりの観察(千葉県盲学校)	平田和弘	研修室	6人

エ 大学 2回95人

月日	事業名(学校名)	講師等	場所	参加者数
9月25日(金)	収蔵庫見学「博物館資料論B」(千葉大学)	岡崎浩子	収蔵庫	32人
10月21日(水)	園芸学部講義「緑の環境を育む」(千葉大学)	水野大樹	オンライン	63人

(2) 団体・機関等への支援

ア 講座等講師（館内） 1回12人

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
11月18日(水)	きのこアドバイザー講座(林野庁)	吹春俊光	講堂・研修室・第3収蔵庫	12人

イ 講座等講師（館外） 10回285人 中止1回

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
9月15日(火)	令和2年度植物防疫官中級研修(第1班)に関する講義(横浜植物防疫所)	天野 誠	神奈川県 横浜植物防疫所研修センター	14人
10月10日(土)	里山観察会「秋の植物」(房総のむら)	天野 誠	房総のむら	中止※
10月15日(木)	野生きのこ観察会/野生きのこ講座(ホクト生物科学振興財団)	吹春俊光	長野県 ながた自然公園・萱野高原	70人
10月16日(金)				
10月18日(日)	こどものための里山観察会「やさしいきのこ観察会」(房総のむら)	吹春俊光	房総のむら	18人
10月24日(土)	里山観察会「野生のきのこ」(房総のむら)	吹春俊光	房総のむら	10人
11月7日(土)	サイエンスカフェ「過去に学ぶインフルエンザ・パニック」(県立西部図書館)	内田龍哉	県立西部図書館	17人
11月10日(火)	検視実務専科「獣骨学」(千葉県警察学校)	田邊由美子	千葉県警察学校	20人
11月27日(金)	日本温泉科学会第73回大会 特別講演「房総半島南部の地形と地質」(日本温泉科学会)	高橋直樹	城西国際大学	30人
11月29日(日)	里山観察会「コケ植物」(房総のむら)	古木達郎	房総のむら	10人
11月29日(日)	第127回企画展「貝ってすてき！」記念講演会「住み続ける貝、入ってくる貝、そして未来は？」(栃木県立博物館)	黒住耐二	栃木県立博物館	60人
3月24日(水)	きのこ研修会(東葛しぜん観察会)	吹春俊光	パレット柏(オンライン)	36人

※雨天のため

ウ 学会・研究会・会議等の開催（館外を含む） 1回52人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
3月25日(木)	講演会「博物館における資料の増加と収蔵スペース不足の問題について」	萩野康則	オンライン	52人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(3) 専門分野における相談対応

研究員が専門分野の知識を活かし、個人からの質問相談および各種機関等への助言や技術指導を行った。なお、これまで学術情報センターで行っていた来館者対応は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止していたが、8月以降に本館2階案内所で実施した。

相談件数919件

質問分野	官公庁	公的団体	民間団体	小中高校	大学	海外	個人	小計
地学	2	6	5	5	0	0	44	62
動物	38	8	21	2	16	41	157	283

質問分野	官公庁	公的団体	民間団体	小中高校	大学	海外	個人	小計
植物・菌類	31	11	1	0	13	14	94	164
人文	35	0	1	0	7	0	65	108
生態・環境	149	16	68	9	22	0	8	272
博物館一般	2	3	3	3	1	0	18	30
合計	257	44	99	19	59	55	386	919

4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、職場体験、千葉県庁インターンシップは実施しなかった。博物館実習は、研修室等の空調の故障により受け入れを中止した。教員研修については、館主催の教員のための博物館の日、教員研修制度の実施はなかったが、外部団体主催のものについては、オンラインで実施した。

(1) 教員研修

ア 外部団体主催 1回15人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
12月19日(土)	令和2年度千葉県地学教育研究会 基調講演「哺乳類化石の見方：博物館を楽しむためのちょっとした工夫」	丸山啓志	オンライン	15人

5 市民参画

新型コロナウイルス感染拡大防止のため来館者と接するボランティア、中央博サークルの活動を自粛した。

(1) ボランティア

名称	登録者数	活動延べ人数	活動内容
展示室ボランティア	20人	0人	常設展示室での展示解説、案内所での学習サポート
生態園パートナー	6人	0人	生態園での自然観察サポート
資料整理ボランティア	63人	110人	博物館資料(岩石、化石、昆虫、貝、哺乳類、植物、菌類、地衣類、歴史)の整理保存サポート
講座・観覧会・イベントボランティア	54人	58人	当館で開催する講座や観覧会、イベントの運営サポート
調査研究ボランティア	8人	19人	重点調査のサポート
房総の山の観覧会サポーター	3人	0人	「房総の山のフィールド・ミュージアム」での観覧会のサポート
合計	154人	187人	

(2) 中央博サークル

名称	登録者数	名称	登録者数
ヒスイの会	19人	コケサークル(地衣類)	13人
親子科学クラブ	11人	歴史サークル	20人
地学同好会	26人	生きものサークル	56人
コケサークル(蘚苔類)	53人	もりたん	45人

6 外部機関との協定

(1) 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館

タイトル：大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館と千葉県立中央博物館との博物館活動に関する協定

提携期間：令和3年3月25日～令和8年3月31日(平成23年3月29日締結、平成28年3月23日更新)

連携事業内容：研究教育職員の交流並びに共同研究の実施、博物館の展示活動、展示活動、資料の保存及び活動等を共同で行う。

(2) 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館

タイトル：日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画におけるデータベース構築に関する覚書

提携期間：令和3年3月2日～令和6年3月31日

連携事業内容：日本語の歴史的典籍データベースを連携して構築する。

(3) 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林

タイトル：東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林と千葉県立中央博物館との連携協力に関する協定

提携期間：令和3年3月25日(以降1年毎の更新)

連携事業内容：調査研究活動、自然誌資料の収集と整理活動、県民・市民向けの展示や学習機会の提供等を共同で行う。

第2 大利根分館（講師・担当者等は特に断らない限り、大利根分館職員）

1 展示観覧支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展示解説は実施しなかった。

2 講座・観察会等の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講座、体験講座、イベント・特別企画は、全ての行事を中止した。

(1) 講座「水郷の歴史と自然」 中止6回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月4日(土)	古い時計	糠谷 隆	集会室	中止※
5月30日(土)	ちばらき	秋山笑子	集会室	中止※
6月13日(土)	企画展関連	秋山笑子	集会室	中止※
8月8日(土)	カミツキガメ	高山順子	集会室	中止※
8月29日(土)	外来生物	糠谷 隆、秋山笑子	集会室	中止※
3月13日(土)	川のフィールドミュージアム報告会	糠谷 隆、秋山笑子、柴山浩恒	集会室	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(2) 体験講座 中止16回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月29日(水・祝)、5月3日(日・祝)・4日(月・祝)・6日(水・休)、8月9日(日)・10日(月・祝)	かわいいカモとかざぐるまを作ろう	柴山浩恒	集会室	中止※
5月5日(火・祝)	千歯こき体験&お釜でご飯を炊いて食べ比べ!	糠谷 隆	集会室	中止※
6月7日(日)	土器ツとしおりづくり	教育振興部文化財課職員、柴山浩恒	集会室	中止※
7月18日(土)・19日(日)	砂の中のたからものを探そうーけんびきょうにトライー	高橋直樹(地学研究科)、柴山浩恒	集会室	中止※
8月1日(土)・2日(日)	まが玉づくり	教育振興部文化財課職員、柴山浩恒	集会室	中止※
8月16日(日)	気分は武将ー甲冑の試着ー	大多喜城分館職員、柴山浩恒	集会室	中止※
8月22日(土)・23日(日)	鳥凧を作って飛ばそう!	糠谷 隆、柴山浩恒	集会室・水郷佐原あやめパーク	中止※
11月3日(火・祝)	松ぼっくりのミニツリー作り	糠谷 隆、柴山浩恒	集会室	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(3) イベント・特別企画 中止1回

月日	タイトル	担当者	場所	参加者数
11月1日(日)	昭和の名車大集合9	柴山浩恒	前庭・駐車場	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

3 アウトリーチ支援

(1) 学校対象

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、小学校対応は入館者を分散させる方式で実施し、出前展示は学習キットの貸し出しにより実施した。

ア 小学校 10回 280人

月日	学校名(事業名)	場所	延べ参加者数
9月9日(水)	匝瑳市立豊和小学校	展示室	10人
10月9日(金)	香取市立東大戸小学校	展示室	19人
10月16日(金)	香取市立東大戸小学校	展示室	27人
10月22日(木)	香取市立東大戸小学校	展示室	22人
10月28日(水)	香取市立東大戸小学校	展示室	24人
11月6日(金)	香取市立北佐原小学校	展示室	83人
11月19日(木)	栄町立安食小学校	展示室	46人
12月1日(火)	県立飯高特別支援学校	展示室	18人
12月14日(月)	旭市立琴田小学校	展示室	26人
12月15日(火)	香取市立大倉小学校	展示室	5人

イ 出前展示「古い道具とむかしの暮らし」 13回 6,299人

月日	学校名(学年)	場所	参加者数
11月4日(水)~11月11日(水)	柏市立柏の葉小学校(3年生)	柏市立柏の葉小学校	1073人
11月12日(木)~11月19日(木)	柏市立増尾西小学校(3年生)	柏市立増尾西小学校	571人

月日	学校名(学年)	場所	参加者数
12月2日(水)～12月9日(水)	成田市立平成小学校(3年生)	成田市立平成小学校	578人
12月10日(木)～12月17日(木)	佐倉市立根郷小学校(3年生)	佐倉市立根郷小学校	527人
1月13日(水)～1月20日(水)	柏市立柏第六小学校(3年生)	柏市立柏第六小学校	578人
1月21日(木)～1月28日(木)	大網白里市立白里小学校(3年生)	大網白里市立白里小学校	246人
1月27日(水)～2月3日(水)	香取市立山田小学校(3年生)	香取市立山田小学校	370人
2月4日(木)～2月12日(金)	香取市立小見川中央小学校(3年生)	香取市立小見川中央小学校	558人
2月4日(木)～2月10日(水)	旭市立豊畑小学校(3年生)	旭市立豊畑小学校	93人
2月10日(水)～2月17日(水)	柏市立柏第五小学校(3年生)	柏市立柏第五小学校	399人
2月18日(木)～2月25日(木)	栄町立竜角寺台小学校(3年生)	栄町立竜角寺台小学校	600人
2月19日(金)～2月26日(金)	旭市立干潟小学校(3年生)	旭市立干潟小学校	277人

ウ 出張展示

月日	行事名	場所	見学者数
6月30日(火)～7月31日(金)、 9月16日(水)～10月15日(木)	出張写真展「古写真にみる佐原の大祭」	道の駅・川の駅 水の郷さわら (香取市)	10,175人
1月8日(金)～3月23日(火)	出張写真展「水郷の原風景」	道の駅・川の駅 水の郷さわら (香取市)	11,105人

(2) 団体・機関等への支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は行わなかった。

第3 大多喜城分館 (講師・担当者は特に断らない場合、大多喜城分館職員)

1 展示観覧支援

(1) 展示解説(試着体験での解説を含む)

ア ミュージアムトーク

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、個人入館者向け、団体向けともに展示解説は実施しなかった。

2 講座・観察会等の開催

(1) 博物館セミナー「大多喜を学ぶ」 3回17人 中止2回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
10月3日(土)	きのご観察会	吹春俊光	館周辺	7人
10月31日(土)	大多喜街並み探検	大谷弘幸	館外	6人
12月5日(土)	古文書講座	渡辺善司	研修館	4人
1月9日(土)	古文書講座	渡辺善司	研修館	中止※
2月15日(土)	歴史学講座	高橋 覚 (千葉県立房総のむら 事業課商家グループ長)	研修館	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(2) 体験教室「甲冑・小袖・袴の試着」 中止5回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月5日(火・祝)	甲冑・小袖・袴の試着	藤原友里・渡辺善司・大谷弘幸・ボランティア	研修館	中止※
6月15日(月)	甲冑・小袖・袴の試着	藤原友里・渡辺善司・大谷弘幸・ボランティア	研修館	中止※
11月3日(火・祝)	甲冑・小袖・袴の試着	藤原友里・渡辺善司・大谷弘幸・ボランティア	研修館	中止※
2月11日(木・祝)	甲冑・小袖・袴の試着	藤原友里・渡辺善司・大谷弘幸・ボランティア	研修館	中止※
3月6日(日)	甲冑・小袖・袴の試着	藤原友里・渡辺善司・大谷弘幸・ボランティア	研修館	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(3) 企画展「福を呼ぶ小袖と房総の万祝」関連行事 1回17人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
11月7日(土)	講演会「江戸文化の華 -小袖の歴史と美-	澤田和人 (国立歴史民俗博物館准教授)	研修館	17人

3 アウトリーチ支援

(1) 学校対象 「展示解説」は大多喜城の歴史を含む

中学校 1回22人

月日	学校名(事業名)	担当者等	場所	延べ参加者数
11月7日(木)	大多喜町立大多喜中学校(展示解説)	藤原友里	研修館	22人

(2) 団体・機関等への支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は行わなかった。

(3) 専門分野における相談対応

研究員が専門分野の知識を活かし、個人からの質問相談対応および各種機関等への助言や技術指導を行った。
個人からの質問相談件数 14 件

4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等

(1) 教員研修(社会体験) 1回1人

月日	学校名	日数	人数	担当者
10月6日(木)、7日(金)	夷隅郡大多喜町立西小学校 教員	2日	1人	藤原友里

5 市民参画

新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティアの活動を自粛した。

(1) ボランティア

ア ボランティアの受入れ

名称	登録者数	活動内容
体験教室ボランティア	15人	体験教室「甲冑・小袖・袴の試着」、学習キットを活用した体験学習のサポート

第4 分館海の博物館 (講師・担当者は、特に断らないかぎり、分館海の博物館職員)

1 展示観覧支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため全ての行事を中止した。

(1) 展示解説 中止12回

月(回数)	タイトル	講師	場所	参加者数
4月(0回)	展示室の歩き方	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
5月(0回)	展示室の歩き方	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
6月(0回)	展示室の歩き方	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
7月(0回)	展示室の歩き方	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
8月(0回)	展示室の歩き方	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
9月(0回)	展示室の歩き方	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
10月(0回)	展示室の歩き方	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
11月(0回)	展示室の歩き方	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
12月(0回)	展示室の歩き方	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
1月(0回)	展示室の歩き方	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
2月(0回)	展示室の歩き方	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
3月(0回)	展示室の歩き方	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

2 講座・観察会等の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講座・観察会等は、全ての行事を中止した。

(1) 講座 中止3回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月26日(日)	ウミウシを観察しよう	立川浩之・柳 研介	講座実験室	中止※
5月1日(土)	超深海水深6千メートル以深の世界	柳 研介・本吉正宏	講座実験室	中止※
7月5日(日)	磯の生きものを調査しよう	村田明久・吉田真照	研修室、講座実験室	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(2) 観察会 中止7回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月26日(日)	ウミウシを観察しよう	立川浩之・柳 研介	館前の磯	中止※
5月9日(土)	磯でエビ・カニを観察しよう	奥野淳児・吉田真照	館前の磯	中止※
6月21日(日)	親子で磯の生きものを探そう	吉田真照・柳 研介	館前の磯	中止※
8月31日(土)	磯の生きもの調査をしよう	村田明久・吉田真照	館前の磯	中止※
8月10日(土)	水中めがねで海の生きものを観察しよう	柳 研介・川瀬裕司・奥野淳児	館前の磯	中止※
8月3日(土)	親子で磯の魚を探そう	川瀬裕司・本吉正宏	館前の磯	中止※
3月14日(日)	海藻を観察しよう	菊地則雄・本吉正宏	館前の磯	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(3) フィールドトリップ 中止8回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月25日(土)	磯・いそ探検隊1	奥野淳児・吉田真照	館前の磯	中止※
4月29日(水・祝)	磯・いそ探検隊2	奥野淳児・本吉正宏	館前の磯	中止※

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月6日(水・休)	磯・いそ探検隊3	川瀬裕司・奥野淳兒	館前の磯	中止※
7月23日(木・祝)	磯・いそ探検隊4	立川浩之・本吉正宏	館前の磯	中止※
7月24日(金・祝)	磯・いそ探検隊5	川瀬裕司・吉田真照	館前の磯	中止※
8月2日(日)	磯・いそ探検隊6	立川浩之・本吉正宏	館前の磯	中止※
8月18日(火)	磯・いそ探検隊7	川瀬裕司・吉田真照	館前の磯	中止※
8月19日(水)	磯・いそ探検隊8	柳 研介・奥野淳兒	館前の磯	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(4) 博物館探検隊 (バックヤードツアー) 中止 11回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月4日(月・祝)	飼育室ツアー1	吉田真照・立川浩之	展示室、飼育室	中止※
6月15日(月・祝)	飼育室ツアー2	本吉正宏・柳 研介	展示室、飼育室	中止※
8月1日(土)	標本庫ツアー1	菊地則雄・吉田真照	展示室、標本処理室、大型標本収蔵庫	中止※
8月9日(日)	標本庫ツアー2	菊地則雄・奥野淳兒	展示室、標本処理室、大型標本収蔵庫	中止※
8月13日(木)	飼育室ツアー3	本吉正宏・立川浩之	展示室、飼育室	中止※
8月15日(土)	飼育室ツアー4	吉田真照・菊地則雄	展示室、飼育室	中止※
8月16日(日)	標本庫ツアー3	川瀬裕司・吉田真照	展示室、標本処理室、大型標本収蔵庫	中止※
8月23日(日)	標本庫ツアー4	立川浩之・吉田真照	展示室、標本処理室、大型標本収蔵庫	中止※
8月30日(日)	標本庫ツアー5	菊地則雄・本吉正宏	展示室、標本処理室、大型標本収蔵庫	中止※
9月20日(日)	標本庫ツアー6	奥野淳兒・吉田真照	展示室、標本処理室、大型標本収蔵庫	中止※
11月3日(火・祝)	飼育室ツアー5	本吉正宏・柳 研介	展示室、飼育室	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(5) みんなで工作 中止 3回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月26日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	渡邊奈津子・村井ゆかり ・本吉正宏	講座実験室	中止※
8月8日(土)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	渡邊奈津子・村井ゆかり ・吉田真照	講座実験室	中止※
8月22日(土)	海藻おしばを作ろう	渡邊奈津子・村井ゆかり ・菊地則雄	講座実験室	中止※

(6) 海の体験コーナーイベント 中止 20回

月日	講師	場所	参加者数
4月5日(日)	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
4月18日(土)	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
5月17日(日)	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
5月31日(日)	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
6月14日(日)	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
6月27日(土)	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
9月6日(日)	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
9月19日(土)	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
10月3日(土)	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
10月17日(土)	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
11月7日(土)	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
11月22日(日)	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
12月6日(日)	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
12月20日(日)	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
1月10日(日)	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
1月24日(日)	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
2月7日(日)	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
2月21日(日)	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
3月13日(土)	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※
3月27日(土)	渡邊奈津子・村井ゆかり	展示室	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

3 アウトリーチ支援

(1) 学校対象

ア 小学校 1回5人

月日	学校名(事業名)	担当者等	場所	延べ参加者数
11月20日(金)	勝浦市立興津小学校・総合的な学習の時間	吉田真照	海洋生物に関する質問へ 書面での対応	5人

(2) 団体・機関等への支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった

4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等

新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施はなかった。

V 情報発信

1 出版物・印刷物の発行

行事案内やチラシ、ポスターなどの広報印刷物、年報、研究報告書等の印刷物を発行した。

(1) 出版物・印刷物

ア 本館

名称	規格	頁数	部数	年月日
令和2年度企画展・季節展案内	A4	2	10,000	2020.7.10
令和3年度行事案内	A4	2	1,000	2021.3.31
千葉県立中央博物館年報 32 令和元年度版	A4	138	PDF	2021.2.28
千葉県立中央博物館研究報告 第15巻 第2号	A4	163	750	2021.3.31
自然誌資料集 第1号 「千葉県立中央博物館に収蔵されている地衣類タイプ標本」	A4	104	100	2021.1.28
房総の山のフィールドミュージアムニュースレター「しいむじな」 第69号	A4	4	5,000	2020.6.25
房総の山のフィールドミュージアムニュースレター「しいむじな」 第70号	A4	4	5,000	2020.9.25
房総の山のフィールドミュージアムニュースレター「しいむじな」 第71号	A4	4	5,000	2020.12.25
房総の山のフィールドミュージアムニュースレター「しいむじな」 第72号	A4	4	5,000	2021.3.25
企画展「ちばの縄文」				
ポスター	A2	1	300	2020.9.15
車内広告用ポスター	B3	1	800	2020.11.1
チラシ	A4	2	45,000	2020.9.15
小冊子	A5	24	9,000	2020.10.10
クリアファイル	A4	1	3,400	2020.10.10
ワークシート（※館内作成）	A4	2	200	2020.10.10
春の展示「うめ・もも・さくら」解説書	A4	12	PDF	2020.6.2
収蔵資料展「ノスタルジック・ポストカード」				
チラシ	A4	2	10,000	2021.1.8
解説パンフレット	A4	4	8,000	2021.1.8
ポストカード 2種類	ハガキ	2	各 4,000	2021.1.8
春の展示「九十九里の自然誌」				
チラシ	A4	2	30,000	2021.3.6
パンフレット	A4	4	10,000	2021.3.6
ワークシート（※館内作成）	A4	2	120	2021.3.23
千葉県立中央博物館生態園ガイドマップ	A4	2	2,000	2020.7.16
生態園の花と実 2020年改訂版	A4	4	3,000	2020.12.25
令和2年度ミニトピックス展 習志野隕石！	A4	2	20,000	2020.11.10
千葉県のバラ園探訪ガイド スタンプラリー付き	A6	16	12,000	2020.3.20

イ 大利根分館

名称	規格	頁数	部数	年月日
令和3年度行事案内	A4	2	PDF	2021.3.31
夏休み展示「カミツキガメ」チラシ	A4	1	15,000	2020.7.10
大利根 フィールドミュージアムニュースレター「たかっぱ通信」第13号	A4	4	1,500	2021.3.28

ウ 大多喜城分館

名称	規格	頁数	部数	年月日
企画展「福を呼ぶ小袖と房総の万祝」				
チラシ	A4	2	15,000	2020.9.30
ポスター	B2	1	400	2020.9.30
図録	A4	24	400	2020.10.22
利用案内	A4(三折)	6	35,000	2021.3.2

エ 分館海の博物館

名称	規格	頁数	部数	年月日
令和3年度行事案内	A6切	4	11,000	2021.3.26
マリンサイエンスギャラリー「ウミカラ 海の生きものの殻の話」				
ポスター	A2	1	500	2021.2.20
チラシ	A4	2	40,000	2021.2.20
収蔵資料展海博・お宝大集合 チラシ	A4	2	40,000	2020.7.18
海博学校用ポスター	A2	1	100	2021.2.25

名称	規格	頁数	部数	年月日
中央博物館研究報告特別号 11 号	A4	99	750	2021. 3. 25

2 インターネットによる情報発信

ホームページで展示や各種行事案内、研究員紹介等の更新を行ったほか、メールマガジンの配信、行事情報や事業の実施状況のツイート、研究員による研究の成果を紹介するデジタルミュージアムの公開等を行った。

(1) ウェブサイト

ア ウェブサイトの更新

	更新回数	新規追加ファイル数	更新ファイル数
本館	765	433	332
房総の山のフィールドミュージアム	15	162	12
大 利 根 分 館	16	30	47
大多喜城分館	25	14	46
分館海の博物館	78	51	80
合 計	899	690	517

イ ウェブサイトへのアクセス件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本館	4,860	9,195	9,863	10,997	13,646	10,406	9,737	11,410	7,055	7,811	6,574	7,952	109,506
房総の山のフィールド・ミュージアム	179	226	285	296	266	277	191	173	171	173	149	191	2,577
大 利 根 分 館	422	655	989	876	1,106	830	670	781	464	733	909	907	9,342
大多喜城分館	1,479	2,510	2,794	3,075	3,640	2,958	2,693	2,683	1,939	1,972	2,411	3,785	31,939
分館海の博物館	1,745	2,259	2,781	3,843	5,80	3,411	2,684	2,401	1,958	1,647	1,941	2,520	32,997
合 計	8,685	14,845	16,712	19,087	24,465	17,882	15,975	17,448	11,587	12,336	11,984	15,355	186,361

(2) メールマガジン

ア メールマガジンの配信

	メルマガ名	巻次	配信回数	配信日	総配信数
本館					
大 利 根 分 館	ちば中央博メール	164～175	12回	毎月10日	21136
大多喜城分館					
房総の山のフィールド・ミュージアム	しいむじなメール	193～204	12回	毎月10日	7,984
分館海の博物館	海からのたより	182～193	12回	毎月1日	8,717

イ メールマガコラム

(ア) ちば中央博メール「中央博の窓」

回次	記事名	執筆者名	掲載号	掲載月
128	「オリンピック・パラリンピック」と千葉のスポーツ史	島立理子	164	4月
129	食べられるがまずい。	大野将史	165	5月
130	大多喜藩の弓	渡辺善司	166	6月
131	ちばの縄文～貝塚からさぐる縄文人の暮らし～	高梨友子	167	7月
132	カミツキガメのような生きものか？いるとなぜいけないのか？	糠谷 隆	168	8月
133	福を呼ぶ小袖と房総の万祝（まいわい）	大谷弘幸	169	9月
134	収藏品展「古い道具と昔の暮らし」	柴山浩恒	170	10月
135	特別公開 重要文化財 大薙刀	渡辺善司	171	11月
136	収蔵資料展「ノスタルジック・ポストカード」のご紹介	小田島高之	172	12月
137	生態園トピックス展「身近なコケ」のご紹介	古木達郎	173	1月
138	春の展示「九十九里の自然誌」の御紹介	由良 浩	174	2月
139	休館中の教育普及	大野将史	175	3月

(イ) ちば中央博メール「コラム 研究室から」

回次	記事名	執筆者名	掲載号	掲載月
100	環境DNAを使った十脚甲殻類の調査	駒井智幸	164	4月
101	スナモグリ類の研究	駒井智幸	165	5月
102	時の裏側	渡辺善司	166	6月
103	縄文人の‘手’に招かれて (!?)	高梨友子	167	7月
104	大利根分館に持ち込まれた生きものたち	糠谷 隆	168	8月
105	黒焦げのタネから	大谷弘幸	169	9月
106	遊びが学びのはじまり	相原康平	170	10月

回次	記事名	執筆者名	掲載号	掲載月
107	クジラの骨を調べる	宮川尚子	171	11月
108	中央博に生態園があつて良かった	平田和彦	172	12月
109	九十九里浜のスナガニ	高山順子	173	1月
110	環境の変化を調べるために	村田明久	174	2月
111	『房総の地衣類誌』の30年	原田 浩	175	3月

(ウ) 海からのたより「研究員ノート」

記事名	執筆者名	掲載号	掲載月
磯観察シーズンの到来	吉田真照	182	4月
母校にお宝が埋もれていませんか？	斎木健一	183	5月
潮だまりを彩る魚—チョウウオの仲間	川瀬裕司	184	6月
オシアレカクレエビの学名	奥野淳兒	185	7月
大取蔵資料展 海博・お宝大集合！	菊地則雄	186	8月
キノコギンチャクは新種だった	柳 研介	187	9月
ウニの殻はどのように成長する？	立川浩之	188	10月
鶴原理想郷 岬の突端に神社（大杉神社）	本吉正宏	189	11月
コロナ禍における学校教育支援の一方策として	吉田真照	190	12月
鶴原理想郷で植物散策	斎木健一	191	1月
「いわし」ってどんな魚？	川瀬裕司	192	2月
正確な名前調べのために	奥野淳兒	193	3月

(3) ツイッター

	アカウント名	フォロワー数	ツイート数	開始年月日
本館	@chiba_chuohaku	2,915	469	平成25年3月26日
大根分館				
大多喜城分館				
分館海の博物館	@umihaku	1,378	42	平成25年4月18日
合計	—	4,293	511	—

(4) デジタルミュージアムの公開

ア 本館

コンテンツ名
ノスタルジック・ポストカード【新規コンテンツ】
タネの大冒険【新規コンテンツ】
地衣類のタイプ標本【新規コンテンツ】
下総台地と周辺の貝化石【更新コンテンツ】
海岸生地衣類【新規コンテンツ】
房総の海の遊び【新規コンテンツ】
生態園の外來哺乳類【新規コンテンツ】
梵天にみる房総の出羽三山信仰
地衣類って何？
房総(千葉県)の地衣類誌
館蔵美術品紹介(絵画)
百年前の千葉県『日本博覧図』
中央博資料百選
樹木検索図鑑
房総ジオツアー
昆虫標本のつくり方
地域の音が出る地図
維管束植物標本百選
ネパールと東南アジアの蛾

コンテンツ名
おばあちゃんの畑プロジェクト
ききみみコレクション
耳をたよりにプロジェクト
音の標本箱
野草・雑草検索図鑑
房総の山のケモノ
花の植物画集
房総の植物誌づくりと中央博物館
千葉県の毒きのこ
空からみた千葉県(1987・88年)
千葉県の滝—所在と成因
故・林辰雄氏撮影写真集
生態園植物歳時記
カラス大調査
カエル教室
浮世絵にみる江戸時代の園芸
房総のハチ世界のハチ
環境教育と千葉県
旅する地球の水

イ 大根分館

コンテンツ名
水郷の原風景
むかしの道具

ウ 大多喜城分館

コンテンツ名
甲冑展
武具のデザイン

コンテンツ名
火縄銃

エ 分館海の博物館

コンテンツ名
磯の生きもの図鑑
館山の海底

コンテンツ名
理想郷生きもの図鑑
勝浦探訪

3 マスコミ等を通じた情報発信

マスコミ等を通じて、行事や新発見など専門的な話題の発信、情報提供を行ったほか、取材への対応を行った。

(1) 本館

ア 記者発表

区分	発表日	内容
資料提供	7月10日(金)	トピックス展「房総の海の遊び 絵はがきを中心に」の開催について
	9月15日(火)	令和2年度企画展「ちばの縄文―貝塚からさぐる縄文人のくらし―」の開催について
	10月30日(金)	ミニトピックス展「習志野隕石！」の開催について
	12月8日(金)	ミニトピックス展「十二支にちなんで―丑年―」の開催について
	12月8日(金)	令和2年度収蔵資料展「ノスタルジック・ポストカード」の開催について
	1月8日(金)	ミニトピックス展「新鉱物『房総石(ぼうそうせき)』の発見」の開催について
	2月12日(金)	令和3年春の展示「九十九里浜の自然誌」の開催について
知事定例会見	11月12日(木)	ミニトピックス展「習志野隕石！」について

イ 行事情報の発信 130件

ウ メディア掲載

(ア) 職員の取材対応

①新聞・雑誌等

取材日	取材機関等	内容	対応者
4月2日(木)	(株)地域新聞社	野菜行商人のカゴ置き用の台について	小林裕美
5月22日(金)	(株)読売新聞千葉支局	中央博物館の開館について	島立理子
7月1日(水)	(株)毎日新聞千葉支局	中央博物館の開館について	島立理子
7月14日(火)	(株)共同通信社千葉支局	習志野隕石について	高橋直樹
7月20日(月)	(株)読売新聞東京本社	養老川流域の川廻しやチバニアン露頭について	八木令子
7月23日(木)	(株)地域新聞社	習志野隕石について	高橋直樹
8月3日(月)	(株)レマン	『大人の休日倶楽部』会員誌巻頭特集「房総の穴 不思議ミステリー」について	植野英夫・高橋直樹・田邊由美子・八木令子
9月8日(火)	(株)朝日新聞柏支局	野菜行商の現状について	小林裕美
9月12日(火)	(株)読売新聞千葉支局	ミニトピックス展「疫病退散～コロナ禍の収束を折って」について	小林裕美
10月9日(金)	(株)千葉日報社	企画展「ちばの縄文―貝塚からさぐる縄文人のくらし―」について	高梨友子・田邊由美子
10月23日(金)	(株)共同通信社	企画展「ちばの縄文―貝塚からさぐる縄文人のくらし―」について	田邊由美子
10月25日(日)	(株)千葉日報社	西大原藩大岡家の奥方・若殿の島野村への避難について	内田龍哉
11月5日(木)	(株)読売新聞東京本社	ため池の管理手法「かいぼり」について	林 紀男
11月6日(金)	(株)読売新聞気仙沼通信部	左巻きの「つづ貝」の珍しさについて	黒住耐二
11月9日(月)	NHK千葉放送局、千葉テレビ、ジェイコム千葉、東京新聞千葉支局、産経新聞千葉総局、船橋よみうり	ミニトピックス展「習志野隕石！」内覧会について	高橋直樹
11月11日(水)	習志野市役所広報課	ミニトピックス展「習志野隕石！」について	高橋直樹
12月3日(木)	(株)地域新聞社	ミニトピックス展「習志野隕石！」及び千葉石について	高橋直樹
12月11日(金)	(株)花組(テレビ東京)	オニドコロについて	平田和弘
12月18日(金)	(株)産経新聞千葉総局	「房総石」について	高橋直樹
12月19日(土)	(株)読売新聞千葉支局	ミニトピックス展「十二支にちなんで―丑年―」について	水野大樹
1月14日(木)	(株)地域新聞社	岩石について	高橋直樹

取材日	取材機関等	内容	対応者
3月27日(土)	(株)読売新聞東京本社	収蔵資料展「ノスタルジック・ポストカード」について	島立理子・小田島高之

②テレビ・ラジオ等

取材日	取材機関等	内容	対応者
5月15日(金)	(株)ジェイコム千葉	「おうちで中央博」について	小出麻友美
5月15日(金)	NHK千葉放送局	NHKラジオ「花ラジ千葉」「おうちで中央博」及び「デジタルミュージアム」について	小出麻友美
5月31日(日)	NHKラジオ第1	「マイあさ！」内のコーナー「いきもの☆いろいろ」のレギュラーゲストとしてアナウンサーと対話	尾崎煙雄
6月3日(水)	(株)テレビ東京	カタツムリについて(再放送の可否)	黒住耐二
6月11日(木)	(株)TBSテレビ	高岩山自然動物園のニホンザルについて	伴 光哲
6月11日(木)	NHK報道局映像センター	館山市波左間の定置網に混獲されたメガマウスザメについて	宮 正樹
6月23日(火)	千葉テレビ放送(株)	チバミュージアムフェスタ2020「オリンピック・パラリンピックと千葉のスポーツ史」の展示風景の撮影について	伴 光哲
7月14日(火)	千葉テレビ放送(株)、NHK千葉放送局	習志野隕石について	高橋直樹
7月15日(水)	(株)TBSテレビ	習志野隕石について	高橋直樹
7月18日(土)	(株)TBSテレビ	「あいあむ冒険少年」クロタイラギの写真同定	黒住耐二
8月23日(日)	(株)ジェイコム千葉	ミニトピックス展「疫病退散～コロナ禍の収束を祈って」について	小林裕美
9月1日(火)	千葉テレビ放送(株)	ミニトピックス展「疫病退散～コロナ禍の収束を祈って」について	小林裕美
9月8日(火)	CATV296	ミニトピックス展「疫病退散～コロナ禍の収束を祈って」について	小林裕美
9月25日(金)	NHKラジオ第1	「マイあさ！」内のコーナー「いきもの☆いろいろ」のレギュラーゲストとしてアナウンサーと対話	尾崎煙雄
10月2日(金)	制作会社コモエスタ	キノコについて	吹春俊光
10月12日(月)	(株)テレビ朝日	「野生キノコ/毒キノコ」について	吹春俊光
10月13日(火)	制作会社コモエスタ	キノコについて	吹春俊光
10月21日(水)	制作会社コモエスタ	キノコについて	吹春俊光
10月21日(水)	(株)ジェイコム千葉	企画展「ちばの縄文-貝塚からさぐる縄文人のくらし-」について	田邊由美子
10月30日(金)	NHKラジオ第1	「マイあさ！」内のコーナー「いきもの☆いろいろ」のレギュラーゲストとしてアナウンサーと対話	尾崎煙雄
10月30日(金)	NHK千葉放送局	ミニトピックス展「習志野隕石！」について	高橋直樹
11月17日(火)	(株)フジテレビジョン	九十九里におけるチョウセンハマグリの大量打上げについて	黒住耐二
11月18日(水)	NHK千葉報道局	九十九里におけるチョウセンハマグリの大量打上げについて	黒住耐二
11月18日(水)	NHK千葉放送局	九十九里におけるチョウセンハマグリの大量打上げについて	黒住耐二
11月18日(水)	(株)テレビ朝日	九十九里におけるチョウセンハマグリの大量打上げについて	黒住耐二
11月18日(水)	(株)テレビ朝日	九十九里におけるチョウセンハマグリの大量打上げについて	黒住耐二
11月18日(水)	(株)日本テレビ	九十九里におけるチョウセンハマグリの大量打上げについて	黒住耐二
11月19日(木)	(株)TBSテレビ	九十九里におけるチョウセンハマグリの大量打上げについて	黒住耐二
12月2日(水)	NHKラジオ第1	「マイあさ！」内のコーナー「いきもの☆いろいろ」のレギュラーゲストとしてアナウンサーと対話	尾崎煙雄
1月6日(水)	NHKラジオ第1	「マイあさ！」内のコーナー「いきもの☆いろいろ」のレギュラーゲストとしてアナウンサーと対話	尾崎煙雄
1月19日(火)	(株)あお(BS朝日)	シロマダラについて	大木淳一
2月10日(水)	NHK千葉放送局	四街道市のコブハクチョウの保護について	平田和彦

取材日	取材機関等	内容	対応者
2月11日(木)	NHK ラジオ第1	「マイあさ！」内のコーナー「いきもの☆いろいろ」のレギュラーゲストとしてアナウンサーと対話	尾崎煙雄
2月17日(水)	(株)ジェイコム千葉	ミニトピックス展「習志野隕石！」について	高橋直樹
2月21日(水)	(株)テレビ朝日	巻貝について	黒住耐二
2月27日(土)	(株)アマゾンラテルナ (NHK 番組『リップル』)	ミニトピックス展「習志野隕石！」について	高橋直樹
2月28日(日)	ウェザーニュース編集部	ヤドリギについて	尾崎煙雄
3月17日(水)	NHK ラジオ第1	「マイあさ！」内のコーナー「いきもの☆いろいろ」のレギュラーゲストとしてアナウンサーと対話	尾崎煙雄

(イ) メディア掲載実績

①新聞・雑誌等

掲載日	媒体名	内容
5月27日(水)	千葉日報	元の生活へ手探り：緊急自体解除 一夜明け 文化施設 検温呼びかけ
5月30日(土)	産経新聞	施設の再開
6月3日(水)	ふれあい毎日 VOL. 234	来て！見て！感じて 歴史が切り拓く未来・歴博 第2回「可耶の興亡の歴史や華麗な文化に光」
6月5日(金)	ちば県民だより	オリンピック・パラリンピックと千葉のスポーツ史 vol.1 日本初の「体操教師」 坪井玄道
6月23日(火)	読売新聞	中央博物館に機能集約 県教委が再編案 来月15日まで意見募る
7月13日(月)	PR TIMES	国立科学博物館 速報！各地で観測された火球が隕石であることを確認！
7月20日(月)	AGARA 紀伊民報	串本沿岸で新種のエビ 海中公園学芸員が発見
7月21日(火)	朝日新聞 digital	半透明のエビ、紀伊半島で発見 新種と判明、学術誌に
7月26日(日)	読売新聞	日曜版ニッポン探景 養老溪谷の川廻し 耕作増やす情熱
7月28日(火)	PR TIMES	国立科学博物館 貴重な標本を救え！！全国の自然史系博物館・大学による「令和2年7月豪雨」植物標本レスキュー支援活動について
7月28日(火)	Current Awareness Portal	全国の自然史系博物館・大学による令和2年7月豪雨の被害を受けた人吉城歴史館（熊本県）所蔵の植物標本レスキュー支援活動が開始
7月29日(水)	科学技術振興機構プレスリリース	ヘビが顎をノコギリのように使うことを発見～ボルネオ島での爬虫両生類の生態調査で～（東邦大学/京都大学/科学技術振興機構（JST））
8月3日(月)	デジタル毎日	絵はがきに「トウチャンノトコロヘ タヨリヲ」 中国で戦死した父の形見
8月3日(月)	PR TIMES	国立科学博物館：続報！！あの火球由来の隕石の2つ目を千葉県船橋市で発見！
8月4日(火)	毎日新聞	戦地からの絵はがき 父の体験に思いはせ
8月4日(火)	ちば県民だより	オリンピック・パラリンピックと千葉のスポーツ史 vol.3 日本屈指のランナー 秋葉祐之
8月10日(月)	千葉日報	船橋でも隕石発見 国立科学博分析「習志野」と同一
8月13日(木)	毎日新聞	物に残された記憶 千葉戦後75年 勤労学徒の腕章 1ミリの誤差も許されず
8月14日(金)	毎日新聞	江戸時代の弓矢 指南書など展示 県立中央博物館大多喜城分館
8月20日(木)	千葉日報	栄・房総のむら 千葉のスポーツ史紹介 五輪パラとのつながりも
8月28日(金)	千葉経済新聞	千葉県立中央博物館で疫病退散展 資料で厄除けの歴史を紹介
8月28日(金)	ちいき新聞 千葉NT版	7月2日未明に出現した大火球 習志野市に国内53番目の隕石が落下
9月1日(火)	夢シティちば9月号	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらしー」について
9月5日(土)	ちば県民だより	オリンピック・パラリンピックと千葉のスポーツ史 vol.4 1964年東京オリンピックと千葉県
9月12日(土)	読売新聞	中央博物館 機能強化へ 県教委
9月21日(月)	ぐるっと千葉10月号	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらしー」について
9月25日(金)	朝日 digital	沈没船の宝探しにヒント 独自装置で新種のエビ2種発見
9月25日(金)	大人の休日倶楽部	巻頭特集「房総の穴、不思議ミステリー」について
9月27日(日)	読売新聞	大草鞋にびっくり 感染収束祈る展示 県立中央博物館
9月30日(水)	国立文化財機構文化財活用センタープレスリリース (Web)	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらしー」について
10月1日(木)	レッツエンジョイ東京(Web)	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらしー」について
10月1日(木)	まるごとe！ちば(Web)	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらしー」について
10月1日(木)	NAGARA 新聞	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらしー」について
10月1日(木)	広報ふつつ	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらしー」について
10月1日(木)	夢シティちば10月号	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらしー」について
10月3日(土)	船橋よみうり	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらしー」について

掲載日	媒体名	内容
10月3日(土)	朝日新聞 DIGITAL	第127回企画展「貝ってすてき！」開催 栃木県立博物館
10月5日(月)	朝日新聞夕刊	消えゆく野菜行商について
10月5日(月)	ちば県民だより 10月号	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
10月5日(月)	ちば県民だより 10月号	オリンピック・パラリンピックと千葉のスポーツ史 vol.5 1964年東京パラリンピックと高橋春人
10月5日(月)	朝日新聞 DIGITAL	消えゆく行商のおばちゃん 新鮮な野菜80キロ担ぎ60年 83歳、コロナ禍で引退
10月9日(金)	県教委ニュース 10月号 (Web)	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
10月10日(土)	千葉県 HP	令和2年8月における観光客の入込状況について
10月15日(木)	千葉県庁国際課 英語版 メールマガジン (Web)	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
10月16日(金)	ピックアップちば	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
10月16日(金)	東京新聞	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
10月19日(月)	千葉日報	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
10月19日(月)	千葉日報	「貝塚王国」から縄文探る 中央博企画展 100年ぶり里帰り土偶も
10月20日(火)	縄文 ZINE_note (Web)	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
10月21日(水)	美術手帖 (Web)	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
10月21日(水)	ぐるっと千葉 11月号	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
10月23日(金)	ちいき新聞 若葉版、曾我版、千葉中央版、市原版	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
10月25日(日)	あでは 11・12月号	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
10月27日(火)	ピックアップちば	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
10月29日(木)	千葉教育 令和2年度菊号	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
11月1日(日)	読売新聞	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
11月1日(日)	夢シティちば 11月号	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
11月5日(木)	ちば県民だより	オリンピックとパラリンピック 千葉のスポーツ史 vol.6 聖火リレーと千葉県
11月7日(土)	日本経済新聞	何でもランキング 家族で楽しむユニーク事典
11月7日(土)・8日(日)	読売新聞	左巻きの「つぶ貝」の珍しさについて
11月9日(月)	博物月報 (Web)	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
11月10日(火)	千葉日報	幕末の市原 名主が詳述 貴重資料「日記諸用留」 戊辰戦争で領主妻子避難
11月10日(火)	読売新聞	習志野隕石 宇宙を実感 県立中央博物館 きょうから実物公開
11月12日(木)	読売新聞	そもそもですが…池の水なぜ全部抜くの？ 水質浄化や外来魚駆除
11月20日(金)	美術の窓	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
11月21日(土)	ぐるっと千葉 12月号	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
11月24日(火)	県教委ニュース 11月号 (Web)	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
11月27日(金)	リビング千葉 (Web)	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
11月27日(金)	毎日新聞	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
11月30日(月)	朝日新聞	どんぐり森の実力者 栄養豊かなブナ科の実 クマの出没にも影響
12月10日(木)	県教委ニュース 12月号 (Web)	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
12月11日(金)	教育フォトニュース (Web)	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
12月22日(火)	縄文 ZINE_note (Web)	企画展「ちばの縄文－貝塚からさぐる縄文人のくらし－」について
1月1日(金)	広報習志野	ミニトビックス展「習志野隕石！」について
1月6日(水)	読売新聞	「丑」にちなんだ 標本や化石展示 県立中央博物館
1月13日(水)	千葉日報	「習志野隕石3号」確認 船橋市スーパー屋上に14グラム
1月15日(金)	ちいき新聞	ミニトビックス展「習志野隕石！」及び千葉石について
1月21日(木)	千葉日報	児童にわいせつで免職 県教委 相次ぐ処分9件目
2月12日(金)	ちいき新聞	岩石について
2月28日(日)	読売新聞	千葉市の100年 写真集に 大正から平成 600枚
3月5日(金)	読売新聞	トキ、ライチョウ、ニホンカワウソ…希少な剥製 校内から続々 統廃合で廃棄も
3月28日(日)	読売新聞	県内にぎわい「想像以上」宣言解除後初の週末

②テレビ・ラジオ等

取材日	媒体名	内容
5月15日(金)	NHK ラジオ「花ラジ千葉」	「おうちで中央博」及び「デジタルミュージアム」について

取材日	媒体名	内容
6月6日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ!」	ダンゴムシについて
6月11日(木)	TBS テレビ「Nスタ」	高宕山自然動物園のニホンザルについて
6月11日(木)	NHK 「シブ5時」 「首都圏ネットワーク」	館山市波左間の定置網に混獲されたメガマウスザメについて
7月15日(水)	TBS テレビ「まるっと!サタデー」	習志野隕石について
7月23日(水)	テレビ東京「なぜそこ?日本人」	カタツムリについて
9月1日(火)	千葉テレビ放送 NEWSチバ600・NEWSチバ930	ミニトピックス展「疫病退散〜コロナ禍の収束を祈って」について
9月26日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ!」	カキについて
10月17日	サタディ・ブレッシング・モーニング	企画展「ちばの縄文ー貝塚からさぐる縄文人のくらしー」について
10月20日(火)	テレビ朝日「羽鳥慎一モーニングショー」	「野生キノコ/毒キノコ」について
10月21日	(株)ジェイコム千葉	企画展「ちばの縄文ー貝塚からさぐる縄文人のくらしー」について
10月31日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ!」	イチョウについて
11月9日(月)	NHK 首都圏ネットワーク	ミニトピックス展「習志野隕石!」内覧会について
11月9日(月)	千葉テレビ「ニュースちば」	ミニトピックス展「習志野隕石!」内覧会について
11月18日(水)	フジテレビ「めざましテレビ」	九十九里におけるチョウセンハマグリの大量打上げについて
11月18日(水)	フジテレビ「とくダネ!」	九十九里におけるチョウセンハマグリの大量打上げについて
11月18日(水)	NHK 「ニュースウォッチ9」	九十九里におけるチョウセンハマグリの大量打上げについて
11月18日(水)	NHK 「首都圏ネットワーク」	九十九里におけるチョウセンハマグリの大量打上げについて
11月19日(木)	テレビ朝日「グッド!モーニング」	九十九里におけるチョウセンハマグリの大量打上げについて
11月19日(木)	テレビ朝日「羽鳥慎一モーニングショー」	九十九里におけるチョウセンハマグリの大量打上げについて
11月20日(金)	NHK BS プレミアム 「美の壺」	キノコについて
12月5日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ!」	ヒマラヤスギについて
12月23日	テレビ東京「ソレダメ!」	自然薯とオニドコロの違いについて
1月9日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ!」	ヤドリギについて
1月28日(木)	BS朝日「オトナの楽園 昇太秘密基地」	シロマダラについて
2月10日(水)	NHK 「首都圏ネットワーク」	四街道市のコブハクチョウの保護について
2月13日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ!」	アオキについて
3月2日(火)	ウェザーニュース	ヤドリギについて
3月18日(木)	テレビ朝日「超人女子戦士ガリベンガーV」	巻貝について
3月20日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ!」	アケビについて

(2) 大利根分館

ア 記者発表 該当なし

イ 行事情報の発信 16件

ウ メディア掲載

(ア) 職員の取材対応

①新聞・雑誌等

取材日	取材機関等	内容	対応者
8月10日(月)	千葉日報	旧日本軍の弾薬等について	糠谷 隆

②テレビ・ラジオ等

取材日	取材機関等	内容	対応者
2月2日(火)	ベイエフエム	神崎町寺田本家受託資料「寺田家文学資料」について	糠谷 隆

(イ) メディア掲載実績

①新聞・雑誌等

掲載日	媒体名	内容
8月15日(土)	千葉日報	弾薬庫 後世に: 海洋投棄の歴史示す 銚子の山田さん 陸沢資料館に寄贈

②テレビ・ラジオ等

取材日	取材機関等	内容
2月25日(木)	ベイエフエム	神崎町寺田本家受託資料「寺田家文学資料」について

(3) 大多喜城分館

ア 記者発表

区分	発表日	内容
資料提供	10月13日(火)	企画展「福を呼ぶ小袖と房総の万祝」の開催について
資料提供	12月8日(火)	特別公開「重要文化財 大薙刀」の公開について

イ 行事情報の発信 42件

ウ メディア掲載

(ア) 職員の取材対応

①新聞・雑誌等

取材日	取材機関等	内容	対応者
4月28日(火)	(株)エディキューブ	大多喜城分館に展示してある刀剣類について	渡辺善司
5月11日(木)	(株)毎日新聞社	大多喜小学校の掛時計について	渡辺善司
6月11日(木)	(株)毎日新聞社	大多喜小学校の掛時計(大河内正質寄贈)について	渡辺善司
6月19日(木)	(株)朝日新聞社	大多喜城の魅力について	渡辺善司
7月29日(水)	(株)毎日新聞千葉支局	収蔵資料展 大多喜城の弓について	渡辺善司
9月18日(金)	(株)読売新聞千葉支局	収蔵資料展 大多喜城の弓について	渡辺善司
10月23日(金)	(株)房日新聞	企画展「福を呼ぶ小袖と房総の万祝」について	渡辺善司

②テレビ・ラジオ等

取材日	取材機関等	内容	対応者
8月20日(木)	(株)千葉テレビ放送	収蔵資料展 大多喜城の弓 について	大谷弘幸
9月20日(日)	(株)テレビ東京	水パラ「陣取り合戦」の取材(ロケ)について	渡辺善司
10月6日(火)	(株)テレビ東京	「よじごじDays」の撮影について	渡辺善司
10月27日(火)	(株)ベイエフエム	大多喜城分館について	渡辺善司
12月17日(木)	(株)チバテレビ	「特別公開 大薙刀」について	渡辺善司

(イ) メディア掲載実績

①新聞・雑誌等

掲載日	媒体名	内容
7月11日(土)	Nabana 通信	県立中央博物館大多喜城分館「収蔵資料展 大多喜城の弓」
8月24日(月)	千葉日報	県からお知らせ 73：県立中央博物館大多喜城分館収蔵資料展「大多喜城の弓」
9月25日(金)	読売新聞	Friday ちば：県立中央博物館大多喜城分館収蔵資料展「大多喜城の弓」
10月29日(木)	房日新聞	県立中央博物館大多喜城分館企画展「福を呼ぶ小袖と房総の万祝」
11月2日(月)	千葉日報	県からお知らせ 107：県立中央博物館大多喜城分館企画展「福を呼ぶ小袖と房総の万祝」

②テレビ・ラジオ等

取材日	媒体名	内容
9月20日(日)	テレビ東京「水パラ」陣取り合戦	タレントと共に大多喜城の外観の撮影
10月6日(火)	テレビ東京「よじごじDays」	タレントによる大多喜城のスケッチ
10月27日(火)	ベイエフエム「ミンナノチカラ」	大多喜町と大多喜城の紹介

(4) 分館海の博物館

ア 記者発表

区分	発表日	内容
資料提供	7月10日(金)	令和2年度収蔵資料展「大収蔵資料展 海博・お宝大集合！」について
資料提供	2月12日(金) ※中止	令和2年度マリンサイエンスギャラリー「ウミカラ ー海の生きものの殻の話ー」の開催について

イ 行事情報の発信

- ①行政、民間への定期広報 5媒体×12か月 60回
 - ②行政、民間への随時広報 広報かつうら 2回
市町村広報 2回
民間 3回(雑誌2、新聞1)
- 合計 67回

ウ 職員の取材対応

- ①新聞・雑誌等 4回
- ②テレビ・ラジオ等 16回

(ア) メディア掲載実績

①新聞・雑誌等

掲載日	媒体名	記事名・内容・対応
5月27日(水)	とうかつ毎日	東葛沿線さんぽ 番外編2 初心者でも楽しめる植物図鑑2冊 街中の雑草とそれを調べる図鑑について コメント提供・斎木健一
6月9日(火)	Web版 Walkerplus	千葉県のスポット 海の博物館についての紹介 原稿確認・吉田真照
6月12日(金)	カー&レジャー	ECO ツアーに行こう!! 海の博物館についての紹介 原稿確認・吉田真照
6月18日(木)	まっふる 関東・首都圏発 家族 でおでかけ夏休み号	自由研究のアイデアが見つかるミュージアム特集 海の博物館についての紹介 原稿確認・吉田真照
7月14日(土)	いすみライフ7月号	情報広場 収蔵資料展「大収蔵資料展 海博・お宝大集合！」について 原稿確認・吉田真照
8月15日(土)	産経新聞	イベント情報 収蔵資料展「大収蔵資料展 海博・お宝大集合！」について 原稿確認・吉田真照
9月4日(金)	東京新聞 千葉版	情報コーナー 収蔵資料展「大収蔵資料展 海博・お宝大集合！」について 原稿確認・吉田真照
11月6日(金)	まっふる 千葉・房総	県内観光施設情報 海の博物館についての紹介 原稿確認・吉田真照
11月7日(土)	日本経済新聞	「日経プラスワン」1面「何でもランキング」 人に教えたくないユニークな事典・辞書を紹介 コメント提供・斎木健一
12月9日(水)	JTB るるぶ 千葉房総 '22	千葉県おすすめ!絶対行きたいおすすめ博物館 海の博物館についての紹介 原稿確認・吉田真照
2月19日(金)	NHK ウィークリーステラ 2/26号	鑑定!どうぶつ不動産 島へ アマミホシゾラフグが海底につくるミステリーサークルについて 映像提供・川瀬裕司
3月5日(金)	読売新聞	希少な剥製 校内から続々 高等学校に保存されている自然誌標本の重要性について コメントおよび画像提供・斎木健一

②テレビ・ラジオ等

放映日	媒体名	番組名・内容・対応
7月8日(火)	千葉テレビ放送	ウィークリー千葉県「ちばコンシェルジュ」 職員が受賞した Zoological Science Award (日本動物学会論文賞) を展示で紹介 出演・映像提供: 柳 研介
7月21日(火)	MBC 毎日放送	教えてもらう前と後 アマミホシゾラフグが海底につくるミステリーサークルの役割について解説 出演・映像提供: 川瀬裕司
7月28日(火)	千葉テレビ放送	ニュース Chiba930 海の博物館前の磯で生物を採集し、調査研究する様子を紹介 出演: 奥野淳兒
7月29日(水)	千葉テレビ放送	朝の情報番組 磯で生物を観察する時の服装や持ち物、探し方の紹介 出演: 奥野淳兒
8月18日(火)	ABC 朝日放送	そんなコト考えた事なかったクイズ! トリニクって何の肉? アマミホシゾラフグが海底につくるミステリーサークルについて 映像提供: 川瀬裕司
11月21日(木)	釣りビジョン	熱愛! サカナ図鑑 カワハギ カワハギの求愛行動や産卵行動など海中での生態を解説 出演・映像提供: 川瀬裕司
2月19日(金)	NHK 総合	B S コンシェルジュ「鑑定! どうぶつ不動産 島へ〜壇蜜〜」 アマミホシゾラフグが海底につくるミステリーサークルについて 映像提供: 川瀬裕司

放映日	媒体名	番組名・内容・対応
2月23日(火)	NHK BS プレミアム	鑑定！どうぶつ不動産 島へ～ アマミホシゾラフグが海底につくるミステリーサークルを実物大模型で解説 出演・映像提供：川瀬裕司

4 郵メンバー

郵メンバーとは、館内で無料配布される刊行物を、事前申込みにより着払いで入手できる制度で、令和2年度は33名の申込者を得た。（着払い「ゆうメール」を利用し、料金はゆうメール215円と着払い手数料21円で計236円）

VI 施設維持保守

1 施設維持保守工事

来館者の安全で快適な環境の提供、および博物館施設の維持保守のため修繕、改修、更新工事を行った。

工事 4 件 43,856 千円

	工 事 名	費用 (千円)	実施月
1	中央博物館直流電源装置外蓄電池交換工事	9,653	7~11
2	中央博物館外壁改修工事	16,500	6~10
3	中央博物館空調設備改修工事	15,323	7~12
4	中央博物館西門門扉改修工事	2,380	2~3

Ⅶ 千葉県立博物館ネットワーク

1 千葉県立博物館情報システム

千葉県立博物館情報システムは、博物館収蔵資料の管理を目的として平成4年度に供用開始した。これまで平成9年度、平成13年度、平成18年度、平成23年度、平成29年度にそれぞれシステムリプレースがあり、時代に応じた機能の追加や機器の更新等が行われてきた。平成9年度からは公式ウェブサイト「千葉の県立博物館」も公開している。

当館は千葉県立博物館ネットワークのセンター館として、情報システムの運営統括を行っている。令和2年度は、システム全般の管理運営をはじめ、旧システム機器の廃棄について調査を行ったほか、次期システムリプレースに向けた準備を行った。

令和2年度末の収蔵資料のシステム総登録件数は458,793件、インターネット公開件数は365,870件である。

2 千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」

千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」は、新型コロナの影響により講座開催が困難となったため、動画配信によるウェブ開催とし、千葉県立博物館ネットワークのセンター館である中央博が中心となり動画番組を作成し配信した。

「不思議ミステリー 房総丘陵の穴をさぐる」

(1) 房総の川廻トンネル(講師：八木令子)

(2) 歴史秘話「印旛」ー龍角寺岩屋古墳の謎を探るー(講師：白井久美子)(配信は令和3年度)

(3) 鋸山の房州石(講師：高橋直樹)(配信は令和3年度)

Ⅷ 入館者状況

1 月別入館者数

※20名以上のグループを団体とした。

(1) 本館

ア 個人（生態園入園者含む）

	開館 日数	総入館者数	個人計	個人（有料）			個人（無料）			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	6	1,961	1,961	278	270	8	1,683	1,463	0	220
6月	25	4,924	4,924	1,069	1,012	57	3,855	3,148	11	696
7月	26	5,322	5,322	1,356	1,305	51	3,966	2,964	1	1,001
8月	30	7,005	7,005	2,327	2,153	147	4,678	2,945	6	1,727
9月	24	6,243	6,187	1,557	1,501	56	4,630	3,419	9	1,202
10月	25	7,105	7,073	1,472	1,406	66	5,601	4,675	5	921
11月	25	11,614	11,379	2,012	1,892	120	9,367	8,068	30	1,269
12月	24	5,659	5,602	1,146	1,081	65	4,456	3,971	15	470
1月	4	459	459	57	47	10	402	365	0	37
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	8	3,573	3,573	517	479	38	3,056	2,658	0	398
合計	197	53,865	53,485	11,791	11,146	618	41,694	33,676	77	7,941
通算	9,579	5,094,384	4,457,522							

イ 団体（生態園入園者含む）

	開館 日数	団体数	団体計	団体（有料）			団体（無料）			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	0									
5月	6									
6月	25									
7月	26									
8月	30									
9月	24	2	56	2	0	2	54	10	26	18
10月	25	1	32	0	0	0	32	3	0	29
11月	25	8	235	43	20	23	192	47	35	110
12月	24	2	57	2	2	0	55	30	0	25
1月	4									
2月	0									
3月	8									
合計	197	13	380	47	22	25	329	90	61	182
通算	9,576		636,862							

ウ 生態園（個人）

月	開館日数	計
4月	0	0
5月	6	1,327
6月	25	2,559
7月	26	2,456
8月	30	2,164
9月	24	2,881
10月	25	3,572
11月	25	5,543
12月	24	2,975
1月	4	273
2月	0	0
3月	8	2,253
合計	197	26,003
通算	9,576	3,261,202

(2) 大利根分館

ア 個人

	開館 日数	総入館者数	個人計	個人(有料)			個人(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月										
5月										
6月	25	659	659	236	236		423	387		36
7月	27	455	455	206	203	3	249	100	1	148
8月	26	619	619	285	276	9	334	112		222
9月	26	214	214	110	107	3	104	59		45
10月	12	111	111				111	29		82
11月	5	212	212				212	91		121
12月	7	65	65				65	28		37
1月										
2月										
3月										
合計	128	2,335	2,335	837	822	15	1,498	806	1	691
通算	2567	255,839	158,761							

イ 団体

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体の受け入れは行わなかった。

(3) 大多喜城分館

ア 個人

	開館 日数	総入館者数	個人計	個人(有料)			個人(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	25	2,853	2,853	1,246	1,213	33	1,607	1,277	1	329
7月	25	3,947	3,947	1,960	1,919	41	1,987	1,373	0	614
8月	27	8,200	8,200	4,307	4,067	240	3,893	2,287	0	1,606
9月	26	5,744	5,744	2,978	2,881	97	2,766	1,969	0	797
10月	24	4,895	4,895	2,194	2,146	48	2,701	2,282	0	419
11月	25	8,639	8,639	3,627	3,524	103	5,012	4,125	11	876
12月	22	3,493	3,493	1,619	1,569	50	1,874	1,562	0	312
1月	6	1,039	1,039	417	398	19	622	510	0	112
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	8	4,318	4,318	1,352	1,274	78	2,966	2,499	0	467
合計	188	43,128	43,128	19,700	18,991	709	23,428	17,884	12	5,532
通算	4,351	1,187,782	1,092,400							

イ 団体

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体の受け入れは行わなかった。

(4) 分館海の博物館

ア 個人

	開館 日数	総入館者数	個人計	個人(有料)			個人(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	0									
5月	0									
6月	25	1,682	1,682	979	936	43	703	256	4	443
7月	28	3,744	3,719	2,304	2,205	99	1,415	379	0	1,036
8月	31	11,731	11,710	6,904	6,417	486	4,806	903	14	3,889
9月	26	4,877	4,877	2,981	2,817	164	1,896	526	0	1,370
10月	23	2,607	2,607	1,515	1,468	47	1,092	501	0	591
11月	25	3,871	3,787	1,939	1,850	89	1,848	850	16	982
12月	23	2,126	2,126	1,228	1,164	64	898	355	0	543
1月	4	139	139	74	71	3	65	33	0	32
2月	0									
3月	9	1,252	1,252	645	579	66	607	173	0	434
合計	194	32,029	31,899	18,569	17,508	1,061	13,330	3,976	34	9,320
通算	6,624	2,308,126	2,128,971							

イ 団体

	開館 日数	団体数	団体計	団体（有料）			団体（無料）				
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下	
4月	0										
5月	0										
6月	25	0									
7月	28	1	25	9	9	0	16	2	0	14	
8月	31	1	21	2	2	0	19	0	0	19	
9月	26	0									
10月	23	0									
11月	25	1	84	5	5	0	79	0	0	79	
12月	23	0									
1月	4	0									
2月	0										
3月	9	0									
合計	194	3	130	16	16	0	114	2	0	112	
通算	6,624		179,155								

2 団体入館状況

※20名以上のグループを団体とした。

(1) 本館（生態園を含む）

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援 学校	各種 学校	保育園	幼稚園	子ども 団体	身障者 施設	老人介護 施設	一般団体	合計	割合
千葉市	1	1					3						5	38.5%
葛南	1											1	2	15.4%
東葛飾														0.0%
北総				1									1	7.7%
東上総									1				1	7.7%
南房総							1						1	7.7%
県外												3	3	23.1%
海外														0.0%
合計	2	1		1			4		1			4	13	100%
割合	15.4%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	30.8%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	100%	

(2) 大利根分館（来館者のみ）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体の受け入れは行わなかった。

(3) 大多喜城分館

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体の受け入れは行わなかった。

(4) 分館海の博物館

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援 学校	各種 学校	保育園	幼稚園	子ども 団体	身障者 施設	老人介護 施設	一般団体	合計	割合
千葉市														
葛南														
東葛飾														
北総														
東上総														
南房総				1					2				3	
県外														
海外														
合計				1					2				3	
割合														

3 団体の種類・地域内訳

(1) 本館（生態園を含む）

地域	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
	千葉市	1	1					3						5
葛南	市川市	1												1
	船橋市													
	習志野市												1	1
	八千代市													
	浦安市													
東葛飾	松戸市													
	野田市													
	柏市													
	流山市													
	我孫子市													
	鎌ヶ谷市													
北総	銚子市													
	成田市				1									1
	佐倉市													
	旭市													
	四街道市													
	八街市													
	印西市													
	白井市													
	富里市													
	匝瑳市													
	香取市													
	栄町													
	酒々井町													
	神崎町													
	多古町													
	東庄町													
	東上総	茂原市									1			
東金市														
勝浦市														
山武市														
いすみ市														
横芝光町														
芝山町														
九十九里町														
大網白里市														
白子町														
長柄町														
長南町														
睦沢町														
一宮町														
御宿町														
大多喜町														
長生村														
南房総	館山市													
	木更津市													
	市原市													
	鴨川市													
	君津市													
	富津市							1						1
	袖ヶ浦市													
	南房総市													
鋸南町														
県外												3	3	
海外														
合計		2	1		1			4		1		4	13	

都県名	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
東京都												3	3

(2) 大利根分館

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体の受け入れは行わなかった。

(3) 大多喜城分館

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体の受け入れは行わなかった。

(4) 分館海の博物館

地域	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	
葛南	千葉市														
	市川市														
	船橋市														
	習志野市														
	八千代市														
東葛飾	浦安市														
	松戸市														
	野田市														
	柏市														
	流山市														
	我孫子市														
北総	鎌ヶ谷市														
	銚子市														
	成田市														
	佐倉市														
	旭市														
	四街道市														
	八街市														
	印西市														
	白井市														
	富里市														
	匝瑳市														
	香取市														
	栄町														
	酒々井町														
	神崎町														
	東上総	多古町													
		東庄町													
茂原市															
東金市															
勝浦市															
山武市															
いすみ市															
横芝光町															
芝山町															
九十九里町															
大網白里市															
白子町															
長柄町															
長南町															
南房総		睦沢町													
	一宮町														
	御宿町														
	大多喜町														
	長生村														
	館山市														
	木更津市														
	市原市									2					
	鴨川市														
	君津市					1									
南房総	富津市														
	袖ヶ浦市														
	南房総市														
	鋸南町														
県外															
海外															
合計					1					2					

IX 組織・運営

1 千葉県博物館協議会

(1) 協議会委員（任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日）

分野	氏名	役職等
学校教育	前林 典子	佐倉市立佐倉東小学校校長
学校教育	由利 知子	千葉市立幸町第一中学校校長
社会教育	篠崎 道成	市川市幸公民館館長
家庭教育	細井 和美	千葉県子ども会育成連合会専門委員
学識経験者	柴田 良貴	筑波大学名誉教授
学識経験者	関沢 まゆみ	国立歴史民俗博物館教授
学識経験者	高橋 正	東邦大学教授
学識経験者	西田 治文	中央大学教授
学識経験者	湯浅 治久	専修大学文学部教授
学識経験者	米本 信	一般財団法人 NHK サービスセンター 元理事長

※分野ごとに五十音順

(2) 議題

月日	議題	場所	参加者数
8月28日(金)	(1) 県立博物館・美術館の現状について (2) コロナ時代の県立博物館・美術館の新しい姿	中央博物館・講堂	26人
2月25日(木)	(1) 県立博物館・美術館資料の収蔵状況について (2) 今後の県立博物館・美術館における収蔵資料・収蔵庫等について	中央博物館・講堂	25人
3月23日(火)	(1) 県立博物館・美術館資料の収蔵状況について (2) 今後の県立博物館・美術館における収蔵資料・収蔵庫等について	中央博物館・講堂	22人

2 職員

() 内は研究分野／〔兼〕は教育庁教育振興部文化財課学芸振興室兼務、〔併〕は環境生活部自然保護課生物多様性センター併任

館長	古泉 弘志	自然誌・歴史研究部	
副館長	柳原 清一	自然誌・歴史研究部長	萩野 康則（土壌動物学）
副館長	植野 英夫	地学研究科	
		地学研究科長	加藤 久佳（古生物学）
庶務部		主任上席研究員	伊左治 鎮司〔併〕（古生物学）
庶務部長	小川 豊	主任上席研究員	岡崎 浩子（堆積学）
庶務課		上席研究員	高橋 直樹（地質学・岩石学）
庶務課長	中澤 力生	動物学研究科	
副主査	鎌田 操	動物学研究科長	駒井 智幸（動物分類学-甲殻類）
主査	本橋 晶子	主任上席研究員	高山 順子（海洋生態学）
副主査	長谷 久夫	上席研究員	黒住 耐二（貝類学）
副主査	伊東 亜希子	植物学研究科	
主事	松森 貴史	植物学研究科長	原田 浩（地衣類分類学）
会計年度任用職員(その他)	宮田 良介	研究員	水野 大樹（植物生態学）
教育普及課		研究員	坂田 歩美（地衣類分類学）
主席研究員(兼)		歴史学研究科	
教育普及課長	平田 和弘（森林生態学）	歴史学研究科長	小林 裕美（民俗学）
主任上席研究員	古木 達郎（植物分類学）	主任上席研究員	高梨 友子（日本考古学）
主任上席研究員	白井 豊（歴史地理学）	上席研究員	田邊 由美子（動物考古学）
主任上席研究員	桑原 和之（鳥類学）	大利根分館	
上席研究員	大野 将史（教育）	主席研究員	秋山 笑子（日本民俗学）
研究員	下稲葉 さやか（哺乳類学）	主任上席研究員	柴山 浩恒（教育）
研究員	丸山 啓志（古生物学）	主任上席研究員	糠谷 隆（水産学）
研究員	千葉 友樹（古生態学・堆積学）	主査	篠原 憲一
会計年度任用職員(体験交流員)	川嶋 静雄	大多喜城分館	
会計年度任用職員(体験交流員)	塩地 明子	主任上席研究員	渡辺 善司（日本近世史・近代史）
会計年度任用職員(体験交流員)	藤田 雅代	主任上席研究員	大谷 弘幸（日本考古学）
企画調整課		主任上席研究員	藤原 友里（博学連携）
企画調整課長	島立 理子（民俗学・日本近代史）	主査	坂間 政之
主査	神田 美智子〔兼〕	資料管理研究科	
上席研究員	相原 康平（教育）	資料管理研究科長	御巫 由紀（植物分類学）
上席研究員	吹春 俊光（菌学）	主任上席研究員	友田 暁子（図書資料論）
研究員	小出 麻友美（日本中世史）	主任上席研究員	奥田 昌明（第四紀地質学）
研究員	伴 光哲（昆虫分類学）	主任上席研究員	村田 明久（海洋生態学）

主任上席研究員	宮 正樹 (分子生態学・系統学)	上 席 研 究 員	天野 誠 (植物細胞分類学)
主任上席研究員	内田 龍哉 (日本近世史)	研 究 員	平田 和彦 (海洋生態・行動生態学)
副 主 幹	森田 利仁 (古生物学)	分館海の博物館	
生態・環境研究部		分 館 長	齋木 健一 (植物学・理科教育)
生態・環境研究部長	小田島 高之 (地理学)	主任上席研究員	川瀬 裕司 (魚類生態学)
生態学・環境研究科		主任上席研究員	奥野 淳兒 (動物分類学-甲殻類)
生態学・環境研究科長	尾崎 煙雄 (森林生態学)	主任上席研究員	菊地 則雄 (藻類学)
主任上席研究員	大木 淳一〔併〕 (地質学)	主任上席研究員	柳 研介 (動物分類学)
主任上席研究員	由良 浩 (植物生理生態学)	主任上席研究員	立川 浩之 (海洋生物学)
主任上席研究員	斉藤 明子 (昆虫分類学)	主任上席研究員	本吉 正宏 (文化財保存)
上 席 研 究 員	林 浩二 (植物生態学・環境教育)	上 席 研 究 員	吉田 真照 (博学連携)
上 席 研 究 員	八木 令子 (地形学)	主 査	近藤 佳純
研 究 員	栗田 隆気 (爬虫・両生類学)	副 主 査	高木 慎哉
研 究 員	宮川 尚子 (鯨類・機能形態学)	主 事	角田 竜太郎
研 究 員	西内 李佳 (植生史学)	会計年度任用職員(体験交流員)	渡邊 奈津子
環境教育研究科		会計年度任用職員(体験交流員)	村井 ゆかり
環境教育研究科長	林 紀男 (微生物生態学)	会計年度任用職員(その他)	渡邊 竜次

3 分掌

(1) 庶務部

- | | |
|-------|----------------------------------------|
| 庶務課 | ・庶務、会計、施設管理に関すること |
| 教育普及課 | ・教育普及、本館来館者対応に関すること |
| | ・「体験学習室」の維持管理に関すること |
| 企画調整課 | ・館事業の企画運営、評価事業、博物館協議会の運営、他館との調整等に関すること |
| | ・報道、広報に関すること |

(2) 自然誌・歴史研究部

- | | |
|---------|---------------------------------------------|
| 地学研究科 | ・地学分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること |
| | ・「房総の地学」展示室の維持管理に関すること |
| 動物学研究科 | ・動物分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること |
| | ・「生物の分類」「海洋」展示室の維持管理に関すること |
| 植物学研究科 | ・植物分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること |
| | ・「房総の生物」展示室の維持管理に関すること |
| 歴史学研究科 | ・歴史分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること |
| | ・「房総の歴史」展示室の維持管理に関すること |
| 大利根分館 | ・大利根分館の維持管理、博物館事業に関すること |
| 大多喜城分館 | ・大多喜城分館の維持管理、博物館事業に関すること |
| 資料管理研究科 | ・博物館資料に関する研究、収蔵資料の統括、収蔵庫の維持管理、図書資料の管理に関すること |

(3) 生態・環境研究部

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 生態学・環境研究科 | ・生態環境分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること |
| | ・生態園の運営、維持管理に関すること |
| | ・房総の山のフィールド・ミュージアムに関すること |
| 環境教育研究科 | ・環境教育分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること |
| | ・「自然と人間のかかわり」展示室の維持管理に関すること |

(4) 分館海の博物館

- ・分館海の博物館の庶務、会計、施設管理に関すること
- ・分館海の博物館の博物館事業に関すること

4 運営推進チーム・委員会・専門グループ・プロジェクトチーム

複数の組織にまたがる業務は、各課科職員により構成された以下のチーム、委員会及びグループにより、企画運営を行った。

- | | |
|------------|-------------------------------|
| ・運営推進チーム | 展示チーム／調査研究チーム |
| ・委員会 | 資料管理委員会／資料審査委員会／安全管理委員会／ |
| ・専門グループ | 地学／動物／植物／人文 |
| ・プロジェクトチーム | リニューアルチーム／若手の会／特別展・企画展、季節展チーム |

5 利用方法

■開館時間・休館日

(1) 本館

- ア 開館時間 午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
 イ 休館日 毎週月曜日（月曜日が休日の場合は開館し、翌火曜日が休館）
 年末年始（令和2年12月28日～令和3年1月4日）

※令和2年度実施

- 開館時間 午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
 （新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
 臨時開館日 令和2年6月15日（月）※、7月27日（月）、8月3日（月）・11日（火）・17日（月）・24日（月）・31日（月）
 （本館のみ開館、生態園は休園、※6月15日は生態園も開園）
 臨時休館日 令和2年4月28日（火）、5月8日（金）、6月16日（火）、7月16日（木）、17日（金）、9月28日（月）～10月2日（金）
 （メンテナンス作業のため、本館・生態園とも）
 臨時休館日 令和2年3月3日（火）～5月24日（日）、令和3年1月9日（火）～3月21日（日）
 （新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

(2) 大利根分館

- ア 開館時間 午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
 イ 休館日 毎週月曜日（月曜日が休日の場合は開館し、翌火曜日が休館）
 年末年始（令和2年12月28日～令和3年1月4日）
 10月1日～3月31日（予約の場合のみ見学可）

※令和2年度実施

- 臨時開館日 令和2年6月15日（月）、11月3日（火）
 臨時休館日 令和2年3月3日（火）～5月31日（日）、令和3年1月9日（火）～3月21日（日）
 （新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

(3) 大多喜城分館

- ア 開館時間 午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
 イ 休館日 毎週月曜日（月曜日が休日の場合は開館し、翌火曜日が休館）
 年末年始（令和2年12月28日～令和3年1月1日）

※令和2年度実施

- 臨時開館日 令和2年6月15日（月）、8月11日（火）、令和3年1月2日（土）・3日（日）
 臨時休館日 令和2年6月16日（火）・7月7日（火）・8日（水）、10月20日（火）～22日（木）、12月8日（火）・9日（水）
 臨時休館日 令和2年3月3日（火）～5月31日（日）、令和3年1月9日（火）～3月21日（日）
 （新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

(4) 分館海の博物館

- ア 開館時間 午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
 イ 休館日 毎週月曜日（月曜日が休日の場合は開館し、翌火曜日が休館）
 年末年始（令和2年12月28日～令和3年1月3日）

※令和2年度実施

- 臨時開館日 令和2年6月15日（月）、7月27日（月）、8月3日（月）・11日（火）・17日（月）・24日（月）・31日（月）
 臨時休館日 令和2年9月29日（火）・30日（水）、10月20日（火）～23日（金）、12月15日（火）
 臨時休館日 令和2年3月3日（火）～5月31日（日）、令和3年1月9日（火）～3月21日（日）
 （新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

■入場料

	本 館				大利根分館・大多喜城分館・分館海の博物館			
	通常期間		企画展期間		通常期間		企画展期間*	
	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体
一 般	300 円	240 円	500 円	400 円	200 円	160 円	300 円	240 円
高校生・大学生	150 円	120 円	250 円	200 円	100 円	80 円	150 円	120 円

※団体は20名以上

※65歳以上の者、小・中学生以下の者、障害者（身体障害者、知的障害者又は精神障害者をいい、これらの者を介護する者を含む）は無料

※6月15日（県民の日）、11月3日（文化の日）は入場無料

※生態園は入場無料

*分館海の博物館の企画展期間中の入場料は通常期間に同じ

■年間パスポート

	本 館		大利根分館・大多喜城分館・分館海の博物館	
	料 金	企画展追加料金	料 金	企画展追加料金※
一 般	1,500 円	200 円	1,000 円	100 円
高校生・大学生	750 円	100 円	500 円	50 円

※分館海の博物館の企画展期間中の入場料は通常期間中に同じ。

■所在地

千葉県立中央博物館（本館・生態園、房総の山のフィールド・ミュージアム連絡先）

〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2

電話 043-265-3111 FAX 043-266-2481

千葉県立中央博物館大利根分館

〒287-0816 香取市佐原ハ4500

電話 0478-56-0101 FAX 0478-56-1456

千葉県立中央博物館大多喜城分館

〒298-0216 夷隅郡大多喜町大多喜481

電話 0470-82-3007 FAX 0470-82-4959

千葉県立中央博物館分館海の博物館

〒299-5242 勝浦市吉尾123

電話 0470-76-1133 FAX 0470-76-1821

千葉県立中央博物館年報33 (令和2年度版)

編集・発行 千葉県立中央博物館©
〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2
電 話 043-265-3111 FAX 043-266-2481
<http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

発 行 日 令和 3年 8月27日